P

CASSIOPEIA

CASSIOPEIA E-700
ユーザーズガイド
保証書別添

- ご使用前に、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

J

本機はOS（オペレーティングシステム）にWindows CEが使われています。
長時間使用すると、性能が低下したり、動作がおかしくなることがあります。その場合は、リセットを行うと動作は正常に戻ります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスBの情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は日本専用機で、海外での使用は考慮されておりません。したがって、海外での使用はお薦めできません。国によっては、持ち込み禁止になったり使用禁止になることが考えられます。

安全上のご注意

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。ここで説明されている内容をよくお読みになり、本機を正しくご利用ください。

絵表示の例

⦸記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

●健康上ご留意いただきたいこと

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 疲れた状態で、連続して長時間にわたるご使用は、健康上好ましくありませんので、避けてください。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 長時間操作をするときは、適度に休憩してください。
  目安として1時間ごとに10分から15分の小休止をとってください。

●本機の使用上ご留意頂きたいこと

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常な状態にご注意ください

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き電池を外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

●本機の使用上ご留意頂きたいこと（つづき）

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水、異物はさけてください

- 万一異物（金属片、水、液体）が製品内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き、電池を取り外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

本機を落とさないでください

- 万一、本機を落としたり、強い衝撃を与え、本機を破壊した場合は、電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き、電池を外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

分解しないでください

- 本機を分解・改造しないでください。火災・けがの原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

メモリ保護

- 本機に記憶させた内容は、パソコン等に常に記憶させ、本機とは別に控えを残してください。電池消耗などにより、記憶内容が変化したり、消えることがあります。また、本機の故障、修理などのときに記憶内容が失われます。

設置場所について

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かないでください

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●ACアダプタに関するご注意

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 指定された電源電圧(日本国内では交流100V)以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破壊したりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱しないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷ついたら(芯線の露出，断線など)、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプタは必ず専用の物をお使いください。専用以外のACアダプタを使用すると、充電池パックが破裂することがあり、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
- 製品本体を移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●充電池パックに関するご注意

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。

- 充電池パックを分解したり、改造をしないでください。充電池パックには、危険を防止するための機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、火災や、発熱・破裂によるけがの原因となります。
- (+)と(−)をショートさせないでください。また，金属製のネックレスやヘヤピンなど、金属製の物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。充電池パックがショート状態になり、火災や発熱・破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックを火のそば・ストーブのそばなどの高温の場所(80℃以上)で使用したり、放置しないでください。火災や破裂によるけがの原因となります。
- ストーブのそばや直射日光の当たる場所や炎天下の車中などでの充電はしないでください。高温になると、安全装置が働き、充電できなくなったり、異常な化学反応が起こり、火災や破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックを釘で刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、投げつけたりしないでください。充電池が内部でショートし、火災や破壊の原因となります。
- 外傷・変形の著しい充電池パックは使用しないでください。
  火災や、発熱・破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックは本機以外では使わないでください。
  異常な電流が流れたりし、充電池パックの破損や破裂・火災の原因となります。
- 万一充電池パックから異臭や液もれがするときは、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、火災・破裂によるけがの原因となります。

●充電池パックに関するご注意(つづき)

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 充電池パックを加熱したり、火の中や水・海水の中へ投入したりしないでください。安全機構を損傷したり、保護装置を破壊したり、電解液に引火したりし、火災や破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 充電の際に所定時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。火災や、発熱・破裂によるけがの原因となります。
- 充電には必ず指定のACアダプタまたは専用充電器をご使用ください。

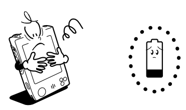
⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 充電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の破壊や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性(+と−の向き)に注意して正しく入れてください。
  - 長時間使用しないときは、本体から充電池を取り外しておいてください。
  - 本機で指定されている充電池以外は使用しないでください。

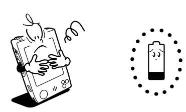
ご使用上の注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

● 充電池が消耗した状態で使い続けないでください。
データが消えたり変化することがあります。充電池が消耗したら、すぐに充電してください。



● 消耗した充電池を取り付けたまま、長時間放置しないでください。
充電池が液もれすることがあります。液もれは本機の故障・破損の原因になることがあります。

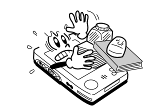


● 次のような条件でご使用ください。
- 温度0℃〜40℃
- 結露しないこと

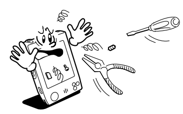
上記の範囲外で使用すると故障の原因となります。

● 次のような場所での使用は避けてください。
本機の故障・破損の原因になります。
- 静電気が発生しやすいところ
- 極端に高温または低温のところ
- 湿度の高いところ
- 急激な温度変化が起こるところ
- ほこりの多いところ

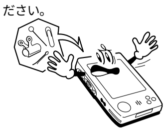
● 本機の上には重いものをのせないようにしてください。



● 本機を分解しないでください(故障の原因になります)。



● コネクタやスロットなどに異物を入れたり差し込まないでください。



● 本機に飲み物や水などをこぼさないでください。



- ● タッチスクリーンやリセットボタンは、必ず専用のスタイラス(ペン)で操作してください。
- ● スタイラス(ペン)以外でのタッチスクリーン操作はお避けください。タッチスクリーンがキズついたり、動作上の障害が発生することがあります。
- ● 本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。
- ● 持ち運ぶときはタッチスクリーンや表示部の保護のためソフトケースに正しく入れてお使いください。

MEMO

- 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- 動画や音楽の再生など大きな電力が必要な動作を長く行うと、本機が暖かくなりますが、これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 本機をパソコンに接続してデータを転送し、パソコン内蔵の記憶装置(ハードディスクなど)や外部記憶装置(フロッピーディスクなど)にデータを保存することができます。また、メモリカードにデータを保存することもできます。特に重要なデータは複数の記憶装置に保存することをおすすめします。
- 故障、修理、電池消耗等に起因するデータの消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。特に重要なデータは複数の記憶装置に保存することをおすすめします。
  なお、当社はいかなる理由においても本機の記憶内容の保護ならびに損害についての責任は一切負いません。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。
- 市場ニーズの変化に応じて仕様・周辺機器等は随時変更されるものであり、本書の内容と合致しない部分が発生することがあります。

目　次

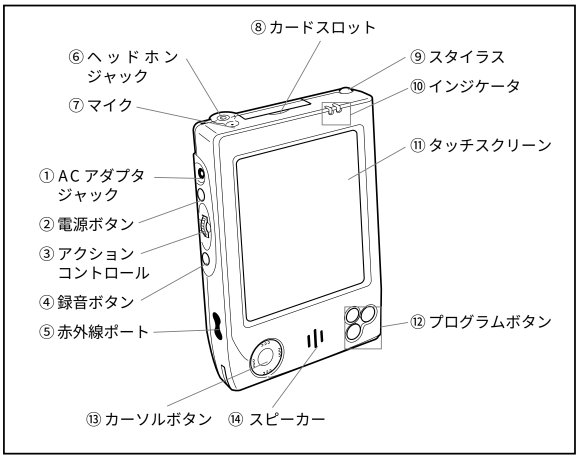
第 1 章

使用前の準備

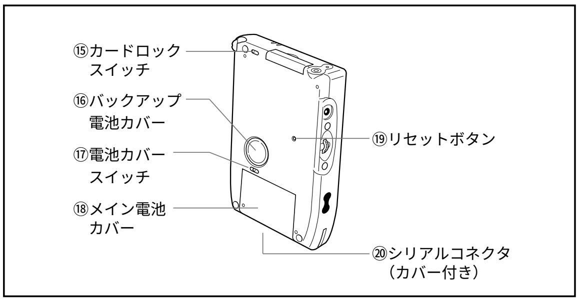
1-1 各部の名称と機能

各部の名称

表面



裏面



各部の主な機能

以下の番号は、前ページのイラストと対応しています。

表面

① AC アダプタジャック
付属の AC アダプタを接続します（18 ページ参照）。

② 電源ボタン
電源を入れたり切ったりするためのボタンです。

③ アクションコントロール
画面上の選択項目の移動や選択などを行います。「アクションコントロールについて」（5 ページ）をご覧ください。

④ 録音ボタン
ボタンを押している間、内蔵のマイクからの録音を行うことができます。録音したデータは単独の音声ファイルとして保存できるほか、PIM 機能（第 4 章参照）の各プログラム内の個別のデータに貼り付けることもできます。

⑤ 赤外線ポート
本機同士で赤外線通信を行うことができます（165 ページ参照）。

⑥ ヘッドホンジャック
市販のヘッドホン、別売のリモコンイヤホンを接続することができます。

⑦マイク
録音を行う際は、ここに向かって発声します。

⑧ カードスロット（カバー内）
マルチメディアカード／SDメモリカードを差して利用することができます（57 ページ参照）。

⑨ スタイラス
本機のタッチスクリーン上の操作を行うための専用のペンです。「スタイラスについて」（5 ページ）をご覧ください。

⑩ インジケーター（左側：オレンジ／緑、右側：赤）
右側のインジケーター（赤色）は、アラーム時刻に点滅するなど、情報の告知に利用されます。また左側のインジケーターは AC アダプタの接続中に点灯し、充電中はオレンジ色、充電完了時は緑色になります。

⑪ タッチスクリーン
情報の表示画面であると同時に、付属のスタイラスを使った本機の操作や、データの入力などを行います。

⑫ プログラムボタン
押したボタンに割り当てられているプログラムが起動します。初期設定では、Menu、予定表、連絡先の各プログラムが割り当ててあります。
- 「プログラムボタンの設定」を使うと、カシオ独自の PIM ソフト「モバイルスケジュール」、および「モバイル住所録」を、簡単にプログラムボタンに割り当てることができます。「プログラムボタンの設定」については、10ページをご覧ください。
- 各ボタンへのプログラムの割り当て方については、第 8 章をご覧ください。

⑬ カーソルボタン
パソコンの上下、左右カーソルキーと同等の働きをするボタンです。

⑭ スピーカー
アラーム音など各種音声が出力されます。ヘッドホンジャックにイヤホンやヘッドホンなどを接続してある場合は、ここからの音声出力は行われません。

裏面

⑮ カードロックスイッチ
カードをロックする（抜けないようにする）ことができます。

⑯ バックアップ電池カバー
カバー内にバックアップ電池が収納されています。

⑰ 電池カバースイッチ
メイン電池、バックアップ電池の取り外し／取り付け時に操作します（14～15 ページ参照）。

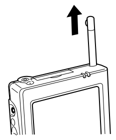
⑱ メイン電池カバー
カバー内にメイン電池が収納されています。

⑲ リセットボタン
本機を再起動（リセット）したり、本機のメモリを初期化（フルリセット）する際に利用します。詳しくは 190 ページをご覧ください。

⑳ シリアルコネクタ（カバー付き）
本機を携帯電話やパソコンなどと接続するためのコネクタです（21～27ページ参照）。

スタイラスについて

本機へのデータの入力など、ほとんどの操作は、スタイラスを使って行います。スタイラスは、本体右上のスタイラスホルダーに収納されています。



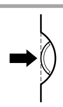
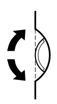
スタイラスを使うには、スタイラスホルダーから引き出して、普通のペンや鉛筆などと同じ要領で手に握ってください。スタイラスを使った本機の基本操作については、次ページをご覧ください。

◆ご注意◆
- スタイラスをなくさないようご注意ください。スタイラスを使わないときは、必ずスタイラスホルダーに収納するようにしてください。
- スタイラスの先を破損しないようにご注意ください。破損したスタイラスで本機のタッチスクリーンの操作を行うと、タッチスクリーンを傷つけることがあります。
- 本機のタッチスクリーンの操作には、付属のスタイラス（または同等品）をご利用ください。ペンや鉛筆などの筆記具は使わないでください。

本機の操作について

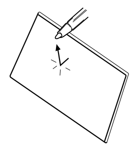
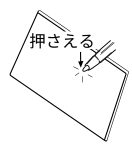
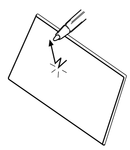
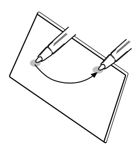
アクションコントロールについて

本機のアクションコントロールでは、次のような操作が可能です。

「押す」	パソコンの ENTER キーと同様の働きをします。例えばメニューの中の選択項目を確定する場合などには、アクションコントロールを押します。	
「上下に倒す」	パソコンの上下カーソルキーと同様の働きをします。例えば画面を下にスクロールさせる場合などにはアクションコントロールを下に倒します。	

タッチスクリーンの操作について

タッチスクリーン上では、表示されているボタンやメニューなどを、付属のスタイラスで直接操作します。パソコン上のマウス操作の「クリック」や「ドラッグ」に相当する操作を、本機上ではすべてスタイラスを使って行うことができます。

タップ	タッチスクリーンを軽く１回つつく操作です。スタートメニュー（33ページ参照）などのメニューを表示させたり、画面上のボタンを押すときには、タッチスクリーンを「タップ」します。	
タップしたまま押さえる	タッチスクリーン上のアイコンや項目などを、タップしたまま押さえ続ける操作です。押さえている項目に応じたポップアップメニュー（40ページ参照）が表示され、様々な操作を実行できます。	
ダブルタップ	タッチスクリーンを、２回続けて軽くつつく操作です。マウスのダブルクリックの操作に相当します。本機のほとんどの操作は上記の「タップ」で行うことができますが、使用するプログラムによってはこの操作を利用する場合もあります。	
ドラッグ	タッチスクリーン上をスタイラスを使って「引きずる」操作です。画面上のツマミやアイコンなどを移動したり、図を描いたりする際には、この操作を行います。マウスのドラッグ操作と同様です。	

1-2　初期セットアップ

初期セットアップの手順

本機をはじめて使う際には、次の手順で初期セットアップを行います。

1. 本機にメイン電池を取り付けます（15 ページ参照）。

> **◆ご注意◆**
> 最初に必ずメイン電池を取り付け、充電してください。バックアップ電池を先に取り付けると、本機は正常に起動しません。

2. AC アダプタを接続し、充電します。

3. 充電完了後、バックアップ電池を取り付けます（14 ページ参照）。

4. 電源ボタンを押して、電源を入れます。
- 起動画面が表示された後、「ようこそ」というタイトルの画面が表示されます。

5. 画面の指示に従って、本機の初期設定を順次行います。
- 設定が終了すると、「Today画面」が表示されます。Today画面について詳しくは、第 2 章をご覧ください。

以上で最初のセットアップ作業は終了です。

- この後本機をすぐに使いたい場合は、本書の必要な部分をお読みになり、操作を行ってください。次ページの「初期セットアップが済んだら...」には、したいことに応じて本書のどこを見れば良いかがまとめてあります。
- 操作を終了したら、電源ボタンを押して、本機の電源を切ってください。

> **◆ご注意◆**
> - もし画面をタップしても反応しなかったり、画面に何も表示されない場合は、まず「フルリセット（メモリの初期化）」を実行してください（192ページ参照）。フルリセットを実行しても正しく動作しない場合は、メイン電池とバックアップ電池をともに取り外し、約5分間放置した後、メイン電池→バックアップ電池の順に取り付け、5秒間以上放置してから、上記の手順4からやり直してください。
> - 電池を取り付ける際には、常に電池の向きにご注意ください。
> - 「メモリの内容の一部に不正な状態を検出しました...」というメッセージが表示された場合は、フルリセットを実行してください（192 ページ参照）。

初期セットアップが済んだら...

初期セットアップの作業が済んだら、次は以下の各パートをお読みください。本機をお使いになる上での、重要な情報が含まれています。

- 「1-3 電源について」（12 ページ）。本機のメモリに保存される大切なデータを不用意に消失しないようにするための、本機のメイン電池／バックアップ電池に関する情報が掲載されています。
- 「第 2 章 基本操作」（29 ページ）。本機のさまざまな機能をご利用になるための、もっとも基本的な情報（画面の見方やプログラムの起動方法、文字入力のしかたなど）が掲載されています。

これらの基本操作をよく理解したら、本機の「使いこなし」に入りましょう。したいことに応じて本書のどこを読めば良いかを、以下にまとめました。

ネットサーフィンをしたい

本機をインターネットに接続して、インターネット上のホームページを閲覧したり、情報を検索することができます。

①「1-5 携帯電話／ PHS の接続について」（27 ページ）

各社製の携帯電話 /PHS には、オプションのケーブルを使って接続できます。

↓

②「3-2 ネットサーフィンするには」（64 ページ）

ネットサーフィンに必要な設定のしかたと、ホームページの閲覧に利用するブラウザソフト「Pocket Internet Explorer」の使い方を解説します。

電子メールの送受信を行いたい

内蔵の電子メールソフト「受信トレイ」または付属の CD-ROM に含まれている「Mobile E-Mailer」を利用して、電子メールの送受信を行うことができます。

①「1-5 携帯電話／ PHS の接続について」（27 ページ）

↓

②「3-3 メールの送受信を行うには」（84 ページ）

メールの送受信を行うために必要な各種設定と、「受信トレイ」を使った実際のメールの送受信のしかたを解説します。

音楽再生に利用したい

本機のヘッドホンジャックに市販のヘッドホンを接続して、本機をオーディオ再生機（MP3 プレーヤー）として利用できます。

●「5-4 Windows Media Player」（139 ページ）

Windows メディアプレーヤーは、MP3 形式または Windows Media Audio形式のオーディオファイルを再生できるプログラムです。オーディオファイルの入手／作成方法や、Media Playerの操作について説明します。

個人情報やビジネス情報を管理したい

個人情報を管理するためのプログラムとして、「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」の 4 つが内蔵されています。「予定表」と「住所録」の代わりに、情報の表示／入力機能をより強化した「モバイルスケジュール」、「モバイル住所録」を利用することもできます。また、ビジネスにも活用できるMicrosoft Officeのポケット版「Pocket Word」、「Pocket Excel」が含まれています。

●「第 4 章 PIM 機能の利用」（101 ページ）

「予定表」、「モバイルスケジュール」、「連絡先」、「モバイル住所録」、「仕事」、「メモ」の各プログラムの操作例や、パソコンとの連携利用について説明します。

●「5-2 Pocket Word」（128 ページ）

パソコン用ワープロソフト「Microsoft Word」のポケット版です。操作例や、パソコンとのデータ交換について説明します。

●「5-3 Pocket Excel」（134 ページ）

パソコン用の表計算ソフト「Microsoft Excel」のポケット版です。操作例や、パソコンとのデータ交換について説明します。

自分に使いやすいように設定したい

日付／時刻の設定やToday画面への表示項目の設定、パワーマネジメントからメモリ管理まで、本機を利用する上でのさまざまな設定や調節が行えます。

●「第 8 章 使用環境の設定」（173 ページ）

オーナー情報やパスワード設定などの「個人」設定、画面の補正やメモリ設定など本機の「システム」設定、パソコン接続やモデム接続（電話回線への接続）などの「接続」設定について、それぞれ説明します。

パソコンにつないで活用したい

本機をパソコンに接続すると、本機とパソコンの間で様々な個人情報データ、ファイルなどを同期したり、パソコンと本機の間で相互にファイルのやりとりをすることなどが可能となります。パソコンに本機の全データをバックアップすることもできます。

●「1-4 パソコンとの接続について」（19 ページ）

付属のクレードルを利用して本機とパソコンを接続する方法をはじめ、各種の接続方法について説明します。

MEMO

本機をパソコンに接続すると、付属の CASSIOPEA CD-ROM から「JR トラベルナビゲータ」、「携帯ほいほい」などの実用的なプログラムを本機に追加することができます。詳しくは、CD-ROM に含まれている ReadMe.txt などをご覧ください。

プログラムボタンの設定について

「プログラムボタンの設定」ユーティリティ（Button Assignment）を使うと、本機前面のプログラムボタンに、カシオ独自の PIM ソフト「モバイルスケジュール」、および「モバイル住所録」を、簡単に割り当てることができます。

→［プログラム］→［ユーティリティ］→［プログラムボタンの設定］をタップし、画面の説明に従って操作を行ってください。

MEMO

各ボタンに対して、個別にプログラムを割り当てる方法については、第 8 章をご覧ください。

画面（タッチスクリーン）の各種調整について

初期セットアップ後、画面が見にくかったり、操作しにくいような場合は、以下の各種の調節を行ってください。

コントラストの調節

画面上の表示が薄すぎたり濃すぎたりして見にくい場合は、アクションコントロールを押しながら、カーソルボタンの上側／下側を押してください。上側を押すとコントラストが濃くなり、下側を押すとコントラストが淡くなります。

画面の明るさ調節

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調節することができます。アクションコントロールを押しながら、カーソルボタンの右側／左側を押します。右側を押すと画面がより明るくなり、左側を押すと画面がより暗くなります。

タッチスクリーンの補正

タッチスクリーンの反応が悪かったり、タッチスクリーン上でタップした位置と動作との間にずれがある場合は、タッチスクリーンの補正を行ってください。
電源ボタンを押しながらアクションコントロールを押すと、タッチスクリーンの補正を行うための画面を表示することができます。
補正画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

MEMO

画面のコントラストや明るさの調節をはじめ、本機の各種の設定について詳しくは、第８章をご覧ください。

1-3　電源について

本機は、動作用のメイン電池と、メモリ保護用のバックアップ電池の２種類の電池を使用しています。

⚠ 注意

電池は使い方を誤ると、液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災、けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 極性（＋／－の向き）に注意して正しく入れてください。
- 本機で指定されている電池以外は絶対に使用しないでください。

メイン電池とバックアップ電池について

本機は動作用のメイン電池として交換可能な充電池パックを、またメモリ保護用のバックアップ電池としてリチウム電池を使用しています。本機を取り扱う上では、これらの電池に関して以下の点にご注意ください。

◆ 重要！必ずお読みください！◆

- 電池が一定以上消耗すると、消耗している電池に応じて、「メインバッテリ残量警告」または「バックアップバッテリ残量警告」メッセージが表示されます。いずれかのメッセージが画面に表示された場合は、すみやかに充電または電池の交換を行ってください。
- 電池が消耗したまま本機を放置したり、メイン電池の交換時の取り扱いを誤ったりすると、メモリ内のデータが消去されてしまうことがあります。メモリ内のデータは、パソコンのハードディスクやメモリカードなど、他の記憶装置にバックアップしておくことをお勧めします。パソコンへのバックアップ方法についてはActiveSyncのヘルプを、メモリカードへのバックアップ方法については59ページをそれぞれご覧ください。
- メイン電池とバックアップ電池を同時に取り外さないでください。同時に取り外すと、メモリ内のデータが消えてしまいます。
- メイン電池の残り容量が無い状態でバックアップ電池を交換しないでください。
- メイン電池とバックアップ電池の両方を交換する際は、必ずメイン電池を先に交換してください。
- メイン電池には指定の充電池パックを、バックアップ電池にはリチウム電池CR2032をお使いください。指定以外の電池は使わないでください。

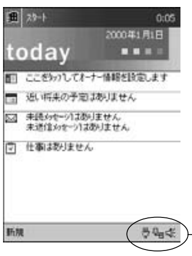
電池の残量チェックについて

- それぞれの電池の消耗状態は、「パワーマネジメント」画面で確認することができます。ときどき電池の状態を確認することをお勧めします。



- [スタート] → [設定] → [システム] タブ→[パワーマネジメント]アイコンの順にタップすると、左の画面が表示されます。
- この画面について詳しくは、183ページをご覧ください。

- 電池が一定以上消耗すると、Today画面の右下に、各電池の消耗を示すアイコン（ステータスアイコン）が表示されます。



ステータスアイコン

- Today画面は、[スタート] → [Today] の順にタップすると表示されます。
- この画面について詳しくは、30ページをご覧ください。
- ステータスアイコンについては、31ページをご覧ください。

MEMO

- 充電は、＋10℃～35℃で行ってください。極端な低温下や直射日光下で充電を行うと、充電池パックの劣化や液もれの原因となります。
- 充電池パックの劣化や液もれを防止するため、充電時期にならない場合、また本機を使わない場合でも、3ヶ月に一度は充電をしてください。
- 正しく充電しても、本機を使用できる時間が著しく短い場合は、充電池パックの寿命が考えられます。このときは、新しい充電池パックをお買い求めください。

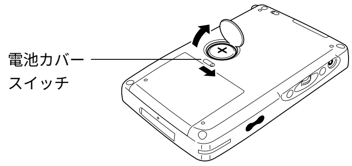
バックアップ電池の交換

◆ご注意◆

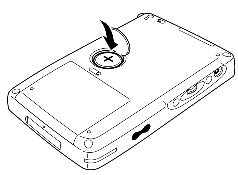
- メイン電池とバックアップ電池を同時に取り外さないでください。同時に取り外すと、メモリ内のデータが消えてしまいます。
- メイン電池とバックアップ電池の両方を交換する際は、必ずメイン電池を先に交換してください。
- メイン電池の残り容量が無い状態でバックアップ電池を交換しないでください。

バックアップ電池を交換するには

1. 本機の電源を切ります。
2. 本機の裏側の電池カバースイッチを「BACK UP」の位置にスライドさせ、バックアップ電池カバーを取り外します。



3. 古い電池を取り外します。
4. 新品のリチウム電池（CR2032）の表面を乾いた布でよく拭いてから、元の位置に装着します。
   - 電池の向きを間違えないように注意してください。



5. バックアップ電池カバーを元に戻し、電池カバースイッチを「LOCK」の位置に戻します。

メイン電池（充電池パック）の交換

◆ご注意◆

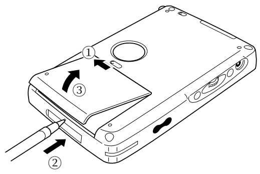
- メイン電池とバックアップ電池を同時に取り外さないでください。同時に取り外すと、メモリ内のデータが消えてしまいます。
- メイン電池とバックアップ電池の両方を交換する際は、必ずメイン電池を先に交換してください。

メイン電池を交換するには

1. 本機の電源を切ります。

2. メイン電池カバーを下図の要領で取り外します。

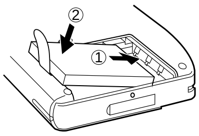
① 電池カバースイッチを「MAIN」の位置にスライドさせる
② スタイラスの先を差し込む
③ メイン電池カバーを持ち上げる



3. 電池パックの横のテープを持ち上げ、電池パックを取り出します。

4. 新品の電池パックを装着します。

- 電池の向きを間違えないように注意してください。



電池の端子側から先に入れてください。

5. メイン電池カバーを元に戻し、電池カバースイッチを「LOCK」の位置に戻します。

充電池の廃棄について

Li-ion

本機の充電池は、埋蔵量の少ない高価な稀少資源（コバルト、銅など）を使用していますが、この貴重な金属はリサイクルして再利用できます。またリサイクルすることによってゴミを減らし、環境を守ることができます。ご使用済みの節は捨てないで、最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお返しください。

使用済み電池のお届け先（リサイクル協力店）については、以下にお問い合わせください。

社団法人　電池工業会
TEL　03-3434-0261
ホームページ　http://www.baj.or.jp

使用済み充電池をリサイクル協力店に備え付けのリサイクル箱に入れる際は、以下のことにご注意ください。

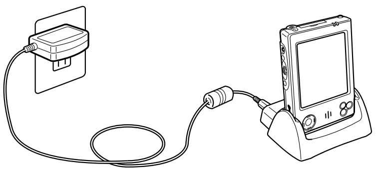
- 充電池の＋端子、－端子は、セロテープなどを貼り付けて覆い、絶縁した状態でリサイクル箱へお入れください。
- 充電池の被覆は剥がさないでください。
- 充電池を分解しないでください。

メイン電池の充電

本機のメイン電池（充電池パック）は、以下の要領で充電してください。

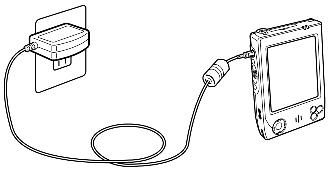
1. 充電池パックを本機に取り付けます。

2. ACアダプタとクレードルを以下のように接続し、本機をクレードルに差し込みます。自動的に充電が開始されます。



- 充電中はオレンジ色のインジケーターが点灯し、充電が完了すると緑色に変わります。充電が完了したら、本機をクレードルから抜きます。

クレードルを使わずに、本機に直接 AC アダプタを接続して充電することもできます。この場合は、充電が完了したら、AC アダプタを本機から抜いてください。



MEMO

- 付属の充電池パックのフル充電には、4～5 時間かかります（本体電源を切った状態で充電を行った場合）。
- 充電中でも本機を利用することができます。ただし、充電時間は、本機の動作状態（および温度など）によって、大きく変わることがあります。
- 本機をご購入直後の初期セットアップのときや、新しくご購入された充電池パックをはじめて充電する場合は、通常よりも長時間の充電が必要です。

AC アダプタの利用について

本機にACアダプタを接続すると、本機に取り付けてある充電池パックの充電が行われます。充電を行う以外の場合でも、以下のような使い方をする場合は、本機に AC アダプタを接続することをお勧めします。

- 本機とパソコンを接続して利用する場合。
- 本機にマルチメディアカード／SD メモリカードを挿入して利用する場合（特に、カードに本機のデータをバックアップする場合）。

⚠ 警告

ACアダプタは必ず専用品をご使用ください。指定以外のACアダプタの使用は絶対におやめください。本機の故障、電池の破裂などのおそれがあり危険です。

◆ご注意◆

- ACアダプタを接続しても、メイン電池を装着していないと、本機を動作させることはできません。
- メイン電池が消耗しているときは、充電が一定以上になるまで本機を動作させることができません。
- ACアダプタを長時間ご使用になると、ACアダプタ本体が若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機を長時間ご使用にならないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- AC アダプタは屋内でのみご使用ください。

1-4　パソコンとの接続について

本機とパソコンを接続すると、本機とパソコンとの間で各種のデータを同期したり、本機とパソコンの間でファイルの転送を行ったり、本機のデータをパソコンにバックアップしたりすることが可能となります。また、付属のCD-ROMなどから、本機にアプリケーションプログラムを追加することも可能となります。

接続の可能なパソコンについて

本機と接続して、本機との間でデータのやりとりを行うために利用するパソコンは、少なくとも以下の条件を満たしている必要があります。以下の条件は、本機に付属のMicrosoft社のCD-ROM（ActiveSync CD-ROM）に含まれているインストーラや、ActiveSync（本機とパソコンの間でデータのやりとりを行うためのパソコン用のプログラム）を利用するために必要な動作環境条件です。

コンピュータ最小必要システム

- Microsoft® Windows® 2000、Windows NT® Workstation 4.0 Service Pack 3 以降、Microsoft® Windows® Me、または Windows 95/98 の各日本語版
- Windows NT の場合は Pentium プロセッサを搭載したデスクトップ コンピュータ (Windows 2000 の場合は 166 MHz が必要)
- Windows Me の場合は Pentium プロセッサを搭載したデスクトップ コンピュータ (Pentium 150 MHz が必要)
- Windows 95/98 の場合は 486/66DX 以上のプロセッサ (Pentium 90 MHz 以上を推奨) を搭載したデスクトップ コンピュータ
- Windows 95/98 または Windows NT Workstation 4.0 の場合は 16 MB のメモリ (メモリが多いほどパフォーマンスが向上)。Windows NT の場合は 32 MB を推奨。Windows 98 SE の場合は 24 MB を推奨。Windows 2000 の場合は 64 MB を推奨。Windows Me の場合は 32MB のメモリ。
- 10 ～ 50 MB のハード ディスク空き容量 (実際に必要な容量は、選択する機能と使用されるシステム構成によって異なります)
- RS232Cケーブルで接続する場合、9または25ピンのシリアル通信ポート（25ピン通信ポートには市販の変換アダプタが必要）
  市販の RS-232C ケーブル（ストレートタイプ）が必要です。
  変換アダプタをご購入の際は、結線が適合しているものをお求めください（202 ページ参照）
- USB ケーブルで接続する場合、USB ポート（Windows 98, Windows 2000 または Windows Me のみ利用可能）
- 赤外線で接続する場合、赤外線ポート

- CD-ROM ドライブ
- 256 色以上の VGA グラフィックス カードまたは互換のあるビデオ グラフィックス アダプタ
- キーボード
- Microsoft Mouse または互換のあるポインティング デバイス

Windows 2000、Windows NT Workstation 4.0、Windows Me、Windows 95/98 用の各オプション

- サウンド用のオーディオ カード / スピーカー
- Microsoft® Office 97 または、Microsoft® Office 2000
- リモート同期のためのモデム
- リモート同期のためのイーサネット LAN 接続

モバイル チャンネル / モバイルのお気に入り サポート用に必要なシステム

- Microsoft® Internet Explorer 5.01 以降のバージョン。Internet Explorer 5.01 には 56 ～ 98 MB の空きディスク容量が必要です。

MEMO

- 付属のCD-ROMに含まれるソフトの利用条件は、上記の環境とは異なる場合があります。詳しくは、CD-ROM内に含まれるドキュメント（ReadMe.txtなど）を参照してください。
- 本機をご使用になるときは、Internet Explorer 4.0 以上をご使用ください。

◆ご注意◆

- 赤外線ポートやモデムの付いたノートパソコンなどでは、シリアル通信ポートが通常のシリアルインターフェースとして使えるようになっていないものがあります。本機とパソコンをシリアルケーブルで接続する場合は、接続するシリアル通信ポートを、通常のシリアルインターフェースとして使用できる状態に設定してください。また、デスクトップパソコンでも、使用可能なシリアル通信ポートのポート番号（COM1、COM2など）を確認してから、ActiveSyncのインストールを始めてください。シリアル通信ポートの設定について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。
- 赤外線ポートを使って本機とパソコンを接続する方法については、AvtiveSyncのヘルプをご覧ください。

パソコンと接続するには

本機とパソコンの接続には、次の方法があります。

- クレードルを経由して接続する場合
  クレードルとパソコンを USB ケーブルまたはシリアルケーブルで接続したうえで、本機をクレードルに取り付けます。クレードルとパソコンを接続したままにしておくと、必要なときに本機とパソコンをさっと接続することができ便利です。
- CASSIOPEIA USB ケーブルを使って接続する
  専用のCASSIOPEIA USBケーブル（オプション）を使って、本機とパソコンを直接接続します。
- RS-232C ケーブルを使って接続する
  専用の CASSIOPEIA RS-232C ケーブル（オプション）を使って、本機とパソコンを直接接続します。

MEMO

本機とパソコンの接続を行う際は、→［設定］→［接続］タブ→［PC］アイコンの順にタップすると表示される画面で、パソコンとの接続設定をご確認ください。詳しくは本機のヘルプをご覧ください。

クレードルを使って接続するには

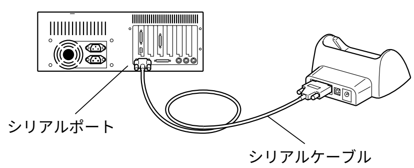
クレードルを使って本機とパソコンを接続する場合は、まずはじめにクレードルをパソコンと接続した上で、クレードルに本機を取り付けます。クレードルとパソコンの接続は、シリアルケーブルまたはUSBケーブルのいずれかを使って行うことができます。

◆ご注意◆

- 接続を行う前に、「接続の可能なパソコンについて」（19ページ）をご覧になり、接続が可能なパソコンかどうかをご確認ください。
- 実際にパソコンと本機の間でデータのやりとりを行うためには、パソコン側にActiveSyncをインストールする必要があります。ActiveSyncのインストール方法については、ActiveSync CD-ROM に付属の小冊子をご覧ください。
- ActiveSync の使い方については、ActiveSync のヘルプをご覧ください。
- 以下の説明中の接続図は一般的な例です。パソコンのシリアルポートや USB ポートの位置は、パソコンの機種によって異なります。お持ちのパソコンに付属の説明書をご参照のうえ、正しく接続を行ってください。

●クレードルとパソコンをシリアルケーブルで接続するには

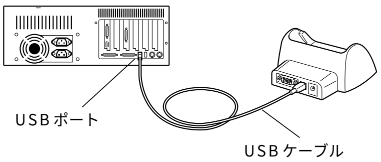
市販のシリアルケーブルを使って、下図のように接続します。



- 必ずパソコンの電源を切った状態で、クレードルをパソコンと接続してください。
- クレードルは 9 ピンタイプのシリアルコネクタを備えており、市販のシリアルケーブル（ストレートタイプ）を使ってパソコンのシリアルポートと接続することができます。パソコンの機種によって、パソコン側のシリアルポートは25ピンの場合もありますので、ご注意ください。
- クレードルにシリアルケーブルとUSBケーブルの両方を同時に接続しないようにしてください。

●クレードルとパソコンを USB ケーブルで接続するには

付属の USB ケーブルを使って、下図のように接続します。



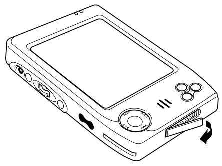
●本機をクレードルに取り付けるには

本機のクレードルへの取り付けは、以下の手順で行います。

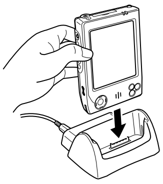
1. クレードルを、机の上など水平で安定した場所に置きます。

2. 本機の電源を切ります。

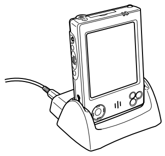
3. 本機のシリアルコネクタカバーを取り外します。



4. 本機をクレードルに対して以下の図のような向きに合わせます。



5. 下図のように本機をクレードルに差し込みます。

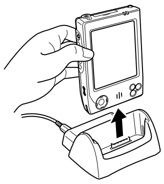


◆ご注意◆

溝の位置を合わせ、本機を最後まで確実に差し込んでください。

●本機をクレードルから取り外すには

下図のように、本機をまっすぐ上に引き抜いて取り外してください。



CASSIOPEIA USBケーブルを使って接続するには

専用の CASSIOPEIA USB ケーブル（JK-582CA オプション）を使って、本機とパソコンの USB ポートを直接接続することができます。

◆ご注意◆

- 接続を行う前に、「接続の可能なパソコンについて」（19 ページ）をご覧になり、接続が可能なパソコンかどうかをご確認ください。
- 実際にパソコンと本機の間でデータのやりとりを行うためには、パソコン側に ActiveSync をインストールする必要があります。ActiveSync のインストール方法については、ActiveSync CD-ROM に付属の冊子をご覧ください。
- ActiveSync の使い方については、ActiveSync のヘルプをご覧ください。
- 以下の接続図はひとつの例です。パソコンのUSBポートの位置は、パソコンの機種によって異なります。お持ちのパソコンに付属の説明書をご参照のうえ、正しく接続を行ってください。

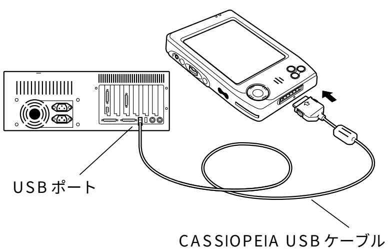
接続は、以下の手順で行います。

1. パソコンの USB ポートに、CASSIOPEIA USB ケーブルを接続します。

2. 本機の電源を切ります。

3. 本機のシリアルコネクタカバーを取り外します。

4. USBケーブルのもう片側を、下図のように本機のシリアルコネクタに差し込みます。



CASSIOPEIA RS-232C ケーブルを使って接続するには

専用の CASSIOPEIA RS-232C ケーブル（JK-580CA オプション）を使って、本機とパソコンのシリアルポートを直接接続することができます。

◆ご注意◆

- 接続を行う前に、「接続の可能なパソコンについて」（19 ページ）をご覧になり、接続が可能なパソコンかどうかをご確認ください。
- 実際にパソコンと本機の間でデータのやりとりを行うためには、パソコン側に ActiveSync をインストールする必要があります。ActiveSync のインストール方法については、ActiveSync CD-ROM に付属の冊子をご覧ください。、
- ActiveSync の使い方については、ActiveSync のヘルプをご覧ください。
- 以下の接続図はひとつの例です。パソコンのシリアルポートの位置は、パソコンの機種によって異なります。お持ちのパソコンに付属の説明書をご参照のうえ、正しく接続を行ってください。

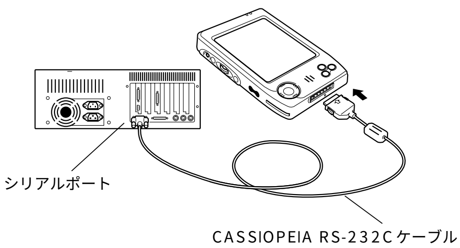
接続は、以下の手順で行います。

1. 本機とパソコンの電源を切ります。

2. パソコンのシリアルポートに、CASSIOPEIA RS-232C ケーブルを接続します。

3. 本機のシリアルコネクタカバーを取り外します。

4. RS-232C ケーブルのもう片側を、下図のように本機のシリアルコネクタに差し込みます。



1-5 携帯電話 /PHS の接続について

本機をインターネットに接続し、ネットサーフィンや電子メールの送受信などを行うためには、本機を携帯電話または PHS と接続することが必要です。

接続用ケーブルについて

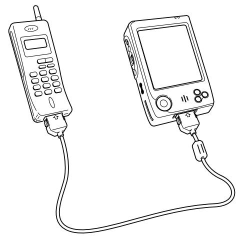
接続したい携帯電話 /PHS に応じて、以下の接続用ケーブルを使ってください。

デジタル携帯電話接続用ケーブル	：	JK-530CA（PDC 対応）
		JK-540CA（cdmaOne 対応）*
PHS 接続用ケーブル**	：	JK-520CA（NTT ドコモ、アステル対応）
PHS 接続用ケーブル**	：	JK-521CA（DDI ポケット対応）

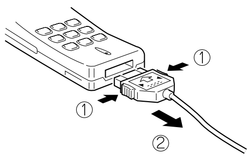
* cdmaOneでデータ通信を行う場合には、通信ソフトウェアのインストールが必要です。サポートする通信方式、ソフトウェアのご提供に関しましては、Pocket PC カシオペアホームページ（http://www.casio.co.jp/pocketpc/）にて最新情報をご案内しております。

** NTT ドコモ、アステルの PHS は PIAFS（32kbps）のみ通信可能です。DDI ポケットの H"（エッジ）および α -DATA32 対応電話機は PIAFS（32kbps）のみ通信可能です。（2000年9月現在）。サポートする通信方式に関しましては、Pocket PC カシオペアホームページ（http://www.casio.co.jp/pocketpc/）にて最新情報をご案内しております。

接続は、本機と携帯電話の電源を切った状態で、以下のように行います。



取り外すときは、プラグの両側の解除レバーを押しながら、まっすぐに引き抜いてください。

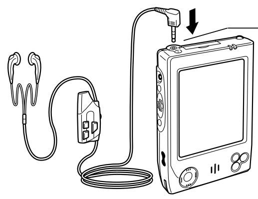


◆ご注意◆
- 本機を使ったインターネットへの接続については、第３章「インターネットの利用」をご覧ください。
- 電波の状態の良好な場所でご使用ください。
  サービスエリア内でも電波の状態が悪いと、正しく通信できないことがあります。また、電波の状態が良好でも、ノイズなどの影響で通信できないことやエラーになることがあります。そのときはもう一度やり直してください。
- 通信中にケーブルを抜いたり、デジタル携帯電話，PHS の電源を切らないでください。
- デジタル携帯電話同士のパソコン通信の場合、接続できないことがあります。
- 接続ケーブルの素早い抜き差しはしないでください。素早い抜き差し（約１秒以内)を行うと通信できなくなることがあります。接続ケーブルを再度接続するときは、３秒以上間をあけてください。
- 接続ケーブルは、通信が終了したら必ず抜いてください。
- デジタル携帯電話、PHS は必ず各社の認定品をご使用ください。
- お使いのデジタル携帯電話、PHS の取扱説明書もご覧ください。

1-6 リモコンイヤホンの接続について

別売のリモコンイヤホンを本機に接続して、本機からの音声をイヤホンで聞くことができます。

リモコンイヤホンは、下図のようにヘッドホンジャックに接続してください。



◆ご注意◆
- リモコンイヤホンは、JK-840HE 以外はご使用にならないでください。JK-840HE 以外をご使用になると、故障の原因となります。

第 2 章

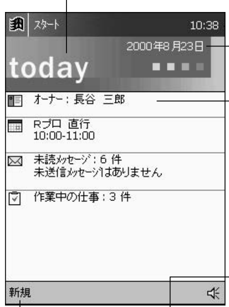
基本操作

2-1 画面の見方と操作

Today 画面について

毎日、はじめて本機の電源を入れると、まずはじめに表示されるのが「Today画面」です。本機を４時間以上使用しなかった後で電源を入れたときも、Today画面が表示されます（初期設定状態の場合）。Today画面には、表示したその日の予定や作業などの情報が、一覧で表示されます。

タップすると、Today 画面への表示項目などをを設定できます（177 ページ「Today」を参照）。



タップすると、日付／時刻設定を行うことができます（181 ページ「時計」を参照）。

タップすると、オーナー情報の入力を行うことができます（177ページ「オーナー情報」を参照）。

今日の予定などが一覧表示されます。タップすると、それぞれのデータが入っているプログラムが起動します。
- ....「予定表」（104 ページ）
- ....「受信トレイ」（86 ページ）
- ....「仕事」（119 ページ）

ステータスアイコン ... 本機の各種の状態がアイコンで表示されます（31 ページ）。

タップすると表示されるメニューから、各プログラムの新規ファイル、または新規アイテムを作成することができます（32 ページ）。

MEMO
Today画面以外が表示されているときに、Today画面を表示したい場合は、画面左上のボタンをタップして表示されるメニュー上の［Today］をタップしてください。

ステータスアイコンについて

Today 画面の右下部分には、本機の現在の各種状態を表す「ステータスアイコン」が表示されます。ステータスアイコンをタップすると、関連する設定画面を表示したり、設定の切り替えを行うことができます。

ステータスアイコンには、それぞれ以下のような意味があります。

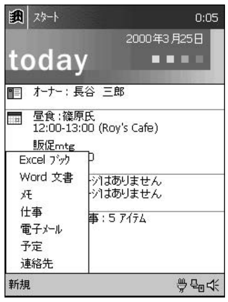
アイコン	意味
	設定した音声出力（画面タップ時の音やアラーム音など）がオンになっています。このアイコンをタップすると、すべての音声出力をオフに切り替えることができます。
	すべての音声出力がオフになっています。このアイコンをタップすると、すべての音声出力をオンに切り替えることができます。
	バックアップ電池が非常に消耗しているか、または入っていません。
	メイン電池の充電中です。
	メイン電池が消耗しています。
	メイン電池が非常に消耗しています。
	AC 電源の使用中を表します。このアイコンをタップすると、「パワーマネジメント」の設定画面が表示されます（183 ページ「パワーマネジメント」を参照）。
	携帯電話などを使って、インターネットに接続中です。
	シリアルケーブルなどを使って、パソコンに接続中です。

2

基本操作

新規アイテムの作成について

Today画面左下の［新規］をタップすると、以下のようなメニューが表示されます。メニュー上の各項目をタップすることで、各プログラムを使った新規ファイル、または新規アイテムを作成することができます。



［新規］をタップすると、このメニューが表示されます。

Excel ブック . 新規の Excel ファイルを開きます。
Word 文書...... 新規の Word ファイルを開きます。
メモ .... 新規のメモファイルを開きます。
仕事 .... 新規の仕事アイテムの入力画面が表示されます。
電子メール ..... 新規の送信メールの作成画面が表示されます。
予定 .... 新規の予定アイテムの入力画面が表示されます。
連絡先............. 新規の連絡先アイテムの入力画面が表示されます。

- Excel、Word の各プログラムについては、第 5 章をご覧ください。
- メモ、仕事、予定、連絡先の各プログラムについては、第 4 章をご覧ください。
- 電子メールについては、「3-2 メールの送受信を行うには」（84 ページ）をご覧ください。

プログラムの起動／切り替え

ボタン（スタートボタン）をタップすると表示される「スタートメニュー」を使って、いつでもプログラムの起動や切り替えを行うことができます。



最近起動したプログラムが5つまでアイコンで表示されます。アイコンをタップすると、そのプログラムに切り替えることができます。

タップすると Today 画面が表示されます。

タップすると各プログラムが起動します。

タップすると、「プログラム」画面が表示されます（下の画面を参照）。

タップすると、「設定」画面が表示されます（第 8 章を参照）。

スタートメニューに表示されていないプログラムの起動

スタートメニューに表示されていないプログラムを起動したい場合は、→［プログラム］の順にタップすると表示される「プログラム」画面を利用します。



- 「ゲーム」、「ユーティリティ」はフォルダです。タップすると、フォルダの中身を見ることができます。フォルダを開いた後で元の画面に戻るには、画面右上の OK をタップします。
- アイコンをタップすると、アイコンに対応したプログラムが起動します。

MEMO

スタートメニューに表示するプログラムは、自由に設定することができます。設定のしかたについては、180 ページの「メニュー」を参照してください。

2

基本操作

内蔵プログラムについて

本機にあらかじめ内蔵されているプログラムについて、簡単に説明します。

アイコン	プログラム名	主な機能と概要	参照先
	Pocket Internet Explorer	ネットサーフィン（インターネット上のホームページを見て回ること）したり、本機のメインメモリ／メモリカード上にある HTML ファイルなどを開くことができます。	75 ページ
	受信トレイ	電子メールの送受信や、送受信したメールの整理を行うことができます。	86 ページ
	Mobile E-mailer	「受信トレイ」を強化した、カシオ独自のメーラーです。使い勝手の良い独自の機能を備えています。	87 ページ
	メール接続設定	メールの送受信を行うために必要なプロバイダへの接続設定とメールサービス設定を簡単に行うことができます。	91 ページ
	mopera mopera クイックスタート	ドコモのインターネットサービス「モペラ」に接続するための設定を、簡単に行うことができます。	69 ページ 92 ページ
	@nifty でインターネット	@nifty へのオンラインサインアップや接続設定を簡単に行うことができます。	71 ページ
	予定表	予定を入力して予定の時刻にアラームを鳴らしたり、カレンダーを表示できます。	104 ページ
	モバイルスケジュール	カシオ独自の予定表プログラムです。より使い勝手の良い表示・入力機能を備えています。	108 ページ

アイコン	プログラム名	主な機能と概要	参照先
	連絡先	アドレス帳を管理することができます。	112 ページ
	モバイル住所録	「連絡先」を強化した、カシオ独自のアドレス帳です。	115 ページ
	仕事	仕事（しなければならないこと）を管理することができます。	119 ページ
	メモ	手書きのメモや図、文字入力を行うことができます。録音を行うことも可能です。	121 ページ
	Pocket Excel	パソコン用表計算ソフト「Microsoft Excel」のポケット版です。	134 ページ
	Pocket Word	パソコン用ワープロソフト「Microsoft Word」のポケット版です。	128 ページ
	Windows Media Player	音楽再生を行うプログラムです。MP3 形式、または Windows Media Audio 形式のオーディオファイルを再生できます。	139 ページ
	Mobile Picture & Video Player	静止画や動画ファイルのサムネールによるインデックス表示、個々のファイルの表示／再生、静止画／動画をフォルダ単位で管理するアルバム機能などを備えた高機能ビューワです。	146 ページ
	モバイルビデオプレーヤー	動画ファイル（CMF）の再生を行うためのプログラムです。	142 ページ
	辞書	国語・漢和・英和・和英の辞書です。	148 ページ
	Menu	画面上のボタンにプログラムやファイルを自由に割り当てておき、ボタンをタップしてプログラムを起動したり、ファイルを開くことができます。	37 ページ

アイコン	プログラム名	主な機能と概要	参照先
	ファイルエクスプローラ	本機のメインメモリ（またはメモリカード）上のファイルを管理するためのプログラムです。ファイル名の変更やファイルの削除、コピーなどを行うことができます。	160 ページ
	カードバックアップ	本機のメインメモリ上のすべてのデータを、メモリカードにバックアップするためのプログラムです。	59 ページ
	リモコンイヤホンユーティリティ	オプションのリモコンイヤホンによる Windows Media Player の操作を可能にします。	ヘルプを参照
	Button Assignment	本体前面のプログラムボタンに「モバイルスケジュール」と「モバイル住所録」を割り当てます。	10 ページ
	電卓	9 桁の計算ができる電卓です。	ヘルプを参照
	ソリティア	カードゲームです。	ヘルプを参照

Menu について

「Menu」は、本機が内蔵しているプログラムの一つです。Menu を使うと、画面上のボタンをタップして各種のプログラムを起動したり、ファイルを開くことができます。プログラムやファイルは、自分で自由に各ボタンに割り当てることができます。

本機が内蔵しているプログラムは、あらかじめMenuに割り当てられているので、自分で割り当てを行わなくてもすぐに利用することができます。ここでは、Menu の基本的な使い方を説明します。

MEMO
Menuの操作や各種設定についての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

Menu の構成

- Menu の 1 画面を「ページ」と呼びます。Menu では、最大で 10 のページを作成することができます。1 画面につき 12 個のボタンが配置されているので、数多くのプログラムやファイルを、種類ごとに分類して管理することができます。
- 各ボタンには、プログラム等を割り当てる代わりに「サブメニュー」を割り当てることも可能です。サブメニューをタッチすると表示される「サブメニュー画面」上には、6 つまでのプログラムやファイルを割り当てることができます。これは、1 ページ上により多くのプログラムやファイルを登録したり、1 ページ内でグループ分けしたい場合などに便利です。



Menu を起動するには

本機の前面の（Menu）ボタンを押します。電源が入り、Menu が起動します。

Menu からプログラムを起動するには

Menu は最大 10 個までの「ページ」を持つことができ、CASSIOPEIA の初期状態では「メイン 1」「メイン 2」の 2 ページが用意されています。
別のページを表示するには、ページ名右側の▼をタップして表示したいページを選択するか、▲▼ ボタンをタップして前後のページに移動します。
Menu 上のボタンに割り当てられているプログラムは、そのボタンをタップすれば起動できます。サブメニュー上のボタンに割り当てられているプログラムを起動する場合は、まずサブメニューボタンをタップしてサブメニュー画面を表示した上で、プログラムボタンをタップします。

アプリケーションをボタンに割り当てるには

［設定］をタップすると表示される「設定画面」で行います。設定画面でプログラムを登録したい空白ボタンをタップし、表示される画面で［アプリケーション］をタップします。［登録］画面が出るので、以下の操作を行います。

- ［アプリケーション（スタートメニュー項目選択）］のボックスをタップしてリストの中から登録したいアプリケーションを選択するか、［ファイル参照］ボタンをタップして直接アプリケーションを指定します。
- ［ボタン名称］欄をタップし、ボタン名称を入力します。

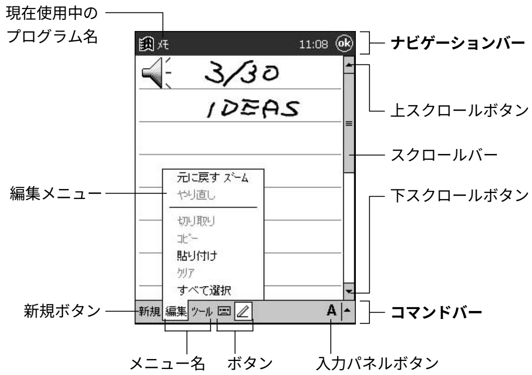
以上を設定したら ok をタップします。登録が実行され、設定画面に戻ります。
メニュー画面に戻るには、設定画面右上の ok ボタンをタップしてください。

プログラム上での基本操作

ここでは、本機が内蔵しているプログラムに共通の基本操作について説明します。

プログラムの画面構成（ナビゲーションバーとコマンドバー）

- どのプログラムを利用しているときでも、常に画面の一番上に表示されている青い帯状の部分を、「ナビゲーションバー」と呼びます。ナビゲーションバーには、現在使用中のプログラムの名前や現在時間、プログラムを切り替えるための ボタン、表示中の画面を閉じるための ok ボタンが配置されています。

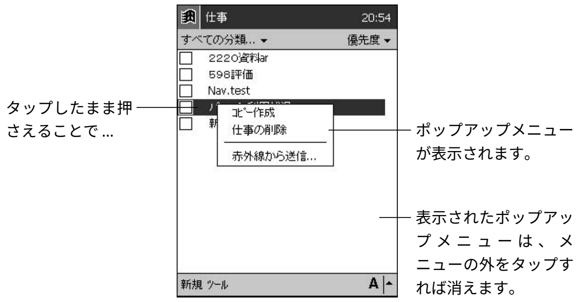


- 一方、画面の一番下には「コマンドバー」が表示されます。コマンドバーには、各プログラムに特有のメニューやボタンが配置されています。メニュー名をタップすると、メニュー名に対応したメニューが表示され、メニュー内の項目をタップしてその機能を実行することができます。
- コマンドバーの右端部分には、文字の入力時に利用する「入力パネルボタン」が常に表示されています。文字入力については、「2-2 文字入力について」（41 ページ）をご覧ください。
- また、プログラムによっては、画面の右側（および下側）に「スクロールバー」と「スクロールボタン」が表示されることがあります。スクロールボタンをタップしたり、スクロールバーをドラッグすることで、画面上に表示されていない領域を表示することができます。

2 基本操作

ポップアップメニューについて

画面上に表示されている特定の項目などをタップしたまま押さえると、その項目に対して実行することができる機能がメニューとして表示されます。このメニューのことを「ポップアップメニュー」と呼びます。

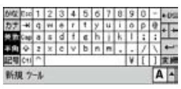
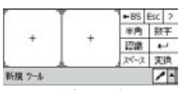


初期セットアップ（7 ページ）の際の手順でも練習したように、ポップアップメニューを使うと、入力したデータの編集などの操作をすばやく、簡単に行うことができます。本機の多くのプログラムでは、このポップアップメニューが利用可能です。

2-2　文字入力について

文字入力の概要

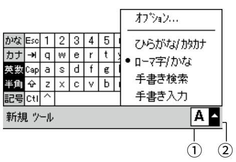
本機での文字入力は、画面上に表示される「入力パネル」を使って行います。入力パネルには、タッチスクリーン上に表示されるキーボードのキーをタップして使うタイプ2種類と、所定の枠内に直接文字を「手書き」して使うタイプ2種類があります。これら 4 種類の入力パネルは、文字入力を行う場面ではいつでも表示して使うことができます。

キーボードタイプ	 ひらがな／カタカナ	 ローマ字／かな
手書きタイプ	 手書き検索	 手書き入力

2 基本操作

入力パネルの切り替え

文字の入力が必要な状態になると、入力パネルが自動的に表示されて、入力が可能な状態になります。入力パネルの表示／非表示や、入力パネルの種類の切り替えは、以下の各ボタンを使って行うことができます。



①入力パネル表示ボタン
このボタンをタップするたびに、入力パネルの表示／非表示が切り替わります。

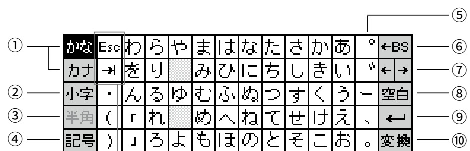
②入力パネル切り替えボタン
このボタンをタップすると、利用可能な入力パネルのリストが表示されるので、リストの中から入力パネル名をタップして選択します。

キーボードタイプの入力パネル

「キーボードタイプ」の入力パネルは、パソコンなどのキーボードを画面上に再現したものです。本物のキーボードのキーを指で押すのと同じように、画面上のキーをタップすることで文字が入力できます。

ひらがな／カタカナキーボードを使う

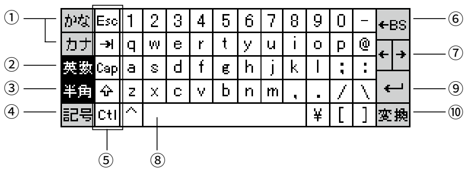
「ひらがな／カタカナ」キーボードは、ひらがなとカタカナの入力を直接行うことができるキーボードです。入力後のひらがな／カタカナを、漢字などに変換することもできます。



① ひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。
② タップするとキーが反転表示となり、「ゃ」「ゅ」「ょ」などの小文字を入力できます。小文字を１文字入力すると、元に戻ります。
③ カタカナ入力時の場合のみ有効なキーです。タップして反転表示の状態にすると、半角カタカナを入力することができます。
④ 記号キーボードに切り替えます。44 ページの「記号キーボードについて」をご覧ください。
⑤ 「が」「ざ」「だ」「ば」行を入力する際は、濁点なしのキーをタップした上で、゛キーをタップします（例：か ゛→「が」)。また「ぱ」行を入力する際は、「は」行のキーをタップしてから ゜キーをタップします。
⑥ バックスペースキーです。タップすると、入力済みの文字のうち手前の１文字を削除します。変換中にタップすると、変換を解除します。
⑦ タップすると、カーソルの位置を前後に移動できます。変換中の場合は、変換対象の文節間の移動を行うことができます。
⑧ タップすると、空白が入力されます。
⑨ タップすると、改行が入力されます。変換中は、変換中の文字を確定します。
⑩ タップすると、確定前の入力文字を漢字などに変換します。２回続けてタップすると変換候補のリストが表示され、リストから変換する漢字などを選択できます。

ローマ字／かなキーボードを使う

「ローマ字／かな」キーボードを使うと、英数字の入力や、ひらがなやカタカナのローマ字入力を行うことができます。また、各種の記号の入力も、このキーボードで行うことができます。



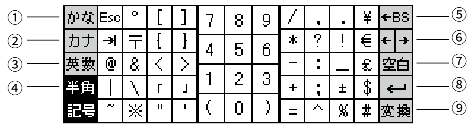
① ローマ字入力でひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。
② 英数字を入力する場合にタップします。
③ 英数字入力時、またはカタカナ入力時の場合のみ有効なキーです。タップして反転表示の状態にすると、半角文字を入力することができます。英数字入力時でこのキーが反転表示になっていない場合は、全角の英数字が入力されます。
④ 記号キーボードに切り替えます。44 ページの「記号キーボードについて」をご覧ください。
⑤ これらのキーには、それぞれ以下のような働きがあります。

[Esc] ..「エスケープ」キーです。ひらがな、またはカタカナの入力中、変換前の文字をすべて消去したい場合には、このキーをタップします。
[⇥] ....「タブ」キーです。このキーをタップするとタブが入力されます。
[Cap] ..「キャップスロック」キーです。英数字の入力時にこのキーをタップして反転表示の状態にすると、キートップのアルファベットが大文字に変わり、大文字を続けて入力することができます。
[⇧] ....「シフト」キーです。タップするとキーが反転表示となり、大文字および記号（!"#$%&'()_=`+*<>?|~¥{}）を入力できます。1 文字入力すると、元に戻ります。
[Ctl] ....「コントロール」キーです。このキーをタップした後に特定のキーを押すことで、文字編集操作などのコマンドを実行できます。詳しくは「文字の編集について」（50 ページ）をご覧ください。

※ ⑥〜⑩の各キーは、「ひらがな／カタカナ」キーボードの⑥〜⑩と同じ働きです。

記号キーボードについて

ひらがな／カタカナキーボード、またはローマ字 / かなキーボードで［記号］キーをタップすると、以下のような記号キーボードに切り替わります。記号キーボードを使うと、ひらがな／カタカナキーボードやローマ字 / かなキーボード上にはない、各種の記号を入力することができます。



① ひらがな入力モードに戻ります。
② カタカナ入力モードに戻ります。
③ 英数字入力モードに戻ります（元がローマ字 / かなキーボードの場合のみ）。
④ タップして反転表示の状態にすると、半角文字を入力することができます。

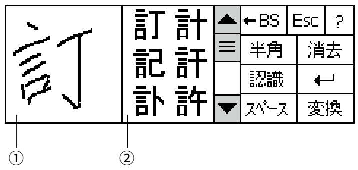
※ ⑤〜⑨の各キーは、「ひらがな／カタカナ」キーボードの⑥〜⑩と同じ働きです。

手書きタイプの入力パネル

「手書きタイプ」の入力パネルを使うと、入力パネル上の枠の中に直接文字を書き込むことで、文字が入力できます。

手書き検索を使う

①の枠内に書き込んだ文字の認識候補が②の部分に一覧表示され、一覧の中から実際に入力したい文字をタップして選ぶことができます。はっきりと覚えていない漢字などを入力する際に便利な機能です。

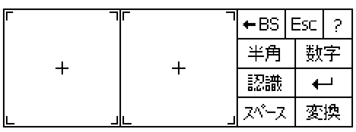


各キーの説明

[← BS] ...... バックスペースキーです。タップすると、入力済みの文字のうち手前の 1 文字を削除します。変換中にタップすると、変換を解除します。
[Esc] ....「エスケープ」キーです。ひらがな、またはカタカナの入力中、変換前の文字をすべて消去したい場合には、このキーをタップします。
[?] .... タップすると、ヘルプ画面が表示されます。
[半角] .... タップして反転表示の状態にしておくと、認識した文字が英数字、カタカナ、または記号の場合は、その文字を半角で入力することができます。
[消去] .... ①の枠内に書き込んだ文字と②の部分の一覧をクリアします。
[認識] .... ①の枠内に文字を書き込んでから認識が遅い場合は、このキーをタップすることですぐに認識を実行させることができます。
[↵] .... タップすると、改行が入力されます。変換中は、変換中の文字を確定します。
[ｽﾍﾟｰｽ] .... タップすると、空白が入力されます。
[変換] .... タップすると、確定前のひらがな（またはカタカナ）を漢字などに変換します。2 回続けてタップすると変換候補のリストが表示され、リストから変換する漢字などを選択できます。なお、最初から漢字や記号などを入力した場合は、このキーは無効です。

手書き入力を使う

2 つの枠内に手書きした文字が次々と認識され、連続的に入力することができます。入力をすばやく行いたい場合に向いています。



各キーの説明

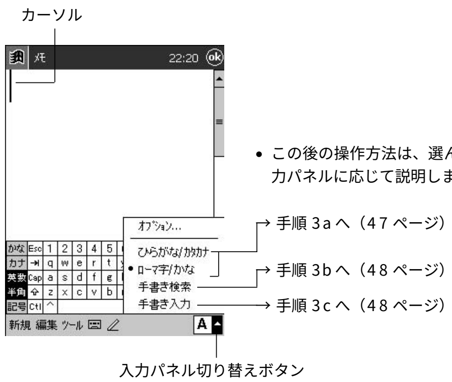
[半角] .... タップして反転表示の状態にしておくと、枠に書き込んだ文字を半角で入力することができます（英数字、カタカナ、記号の場合）。
[数字] .... タップして反転表示の状態にしておくと、枠に書き込んだ文字が数字（または記号）として認識されます。数字を連続して入力したい場合には便利です。
[認識] .... タップすると、枠に書き込んだ文字がすぐに認識されます。
※その他の各キーは、「手書き検索」と同様です。

文字入力の流れ（文字の変換と確定）

実際の文字入力の操作例を示します。ここでは、Today 画面（30 ページ参照）から新規のメモを開いて、文字を入力するという操作を行ってみましょう。

1. Today 画面で［新規］をタップし、続いて［メモ］をタップします。
- 新規メモの画面が表示されます。

2. 入力パネル切り替えボタンをタップして、入力に使いたい入力パネルを選びます。
- 選んだ入力パネルが画面下部に表示されます。
- 画面上にカーソル（|）が点滅表示され、カーソルの位置から文字入力を開始できる状態となります。



- この後の操作方法は、選んだ入力パネルに応じて説明します。

●キーボードタイプの入力パネルを選んだ場合
「あきがきた」と入力して、「秋が来た」と変換してみましょう。

3a. キーボードから「あきがきた」と入力します。

- ローマ字／かなキーボードの場合：[かな] キーを反転表示にした状態で、[a] [k] [i] [g] [a] [k] [i] [t] [a] の順にタップします。
- ひらがな／カタカナキーボードの場合：[かな] キーを反転表示にした状態で、[あ] [き] [か] [゛] [き] [た] の順にタップします。

あきがきた ..... 文字の入力時（確定前）は、このように文字の下に破線が表示されます。

4a. 以下の①～④の手順で、変換を行います。

- ②、④では、表示されたリストの中から変換したいものをタップします。③では、右カーソルキーを押しても構いません。

① [変換] をタップ	② [変換] をタップ	③ [→] を タップ	④ [変換] をタップ
空きがきた 前回変換したときの候補が最初に出てきます。	秋がきた 空きが 秋が あきが 開きが 安芸が 2/14	秋がきた 変換の対象となる文節が移動します。[←]をタップして戻ることもできます。	秋が来た きた 来た 着た 北 喜多 2/9

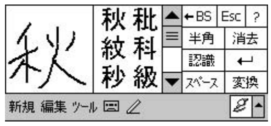
5a. [↵] をタップすると、入力内容が確定します。

秋が来た ...... 確定前に表示されていた破線が消えます。

●「手書き検索」を選んだ場合
手書き検索では、漢字やひらがなを直接入力できます。
「秋が来た」と直接入力してみましょう。

3b. 入力パネルの左側の枠内に「秋」と手書きします。

- 枠の右側に、文字の候補が一覧表示されます。



4b. 一覧の中の該当する文字をタップします。

- カーソルの位置に、タップした文字が入力されます。

5b. 同じ要領で、「が」、「来」、「た」を一文字ずつ順次入力します。

秋が来た ..... 文字の入力時（確定前）は、このように文字の下に破線が表示されます。

6b. [↵] をタップすると、入力内容が確定します。

秋が来た ..... 確定前に表示されていた破線が消えます。

MEMO
- 「手書き検索」パネル上の各ボタンの操作については、44 ページの「手書き検索を使う」をご覧ください。

●「手書き入力」を選んだ場合
手書き入力では、漢字やひらがなを直接、連続的に入力できます。
「秋が来た」と直接入力してみましょう。

3c. 2 つの入力パネルに、続けて「秋」「が」と手書きします。



- すぐに認識が行われ、カーソルの位置に文字が入力されます。
- 実際の画面上では、右側の枠に文字を書いている間に文字が入力され、左側の枠は空白になります。このため、左右の枠に次々と文字を書き込んでいくことができます。

4c. 同様に「来」「た」と手書きします。

秋が来た ..... 文字の入力時（確定前）は、このように文字の下に破線が表示されます。

5c. [↵] をタップすると、入力内容が確定します。

秋が来た ..... 確定前に表示されていた破線が消えます。

MEMO
- 手書き入力を使った場合、手順5cで入力内容を確定する前（文字の下に破線がある状態）は、入力した各文字の手前をタップすることで、認識の別候補を表示することができます。以下は「が」の手前をタップした場合の表示例です。



表示されたリストの中から選択したいものをタップすれば、タップした文字に変更することができます。

- 手書き入力を使ってひらがなを入力した上で、漢字などに変換することもできます。変換～確定の操作は、47 ページの手順 4a ～ 5a と同様です。
- 「手書き入力」パネル上の各ボタンの操作については、45 ページの「手書き入力を使う」をご覧ください。

文字の編集について

入力済みの文字列に対しては、文字の追加や削除を行ったり、特定の範囲を選んでコピーして他の位置に挿入する（貼り付ける）など、後からさまざまな編集操作を行うことができます。

文字を削除するには

1. 削除したい文字の直後をタップします。タップした位置でカーソルが点滅します。

文字の|編集のしかた

- カーソルの位置が違う場合は、[←] または [→] キーをタップしてカーソルを移動します。

2. 削除したい文字の直後にカーソルがある状態で、[←BS] をタップします。

文字|編集のしかた

- [←BS] を 1 回タップするごとに、1 文字ずつ削除できます。

複数の文字を一度に削除するには

1. 削除したい範囲をドラッグして選択します。

文字の編集のしかた

- 選択範囲が反転表示となります。

2. [←BS] をタップします。

|編集のしかた

- 選択範囲が一括して削除されます。
- [←BS] をタップする代わりに、[編集] → [切り取り]（または [クリア]）をタップしても、選択範囲を削除できます。

特定の位置に文字を追加入力するには

1. 文字を追加入力したい位置をタップします。タップした位置でカーソルが点滅します。

文字の編集のしかた

- カーソルの位置が違う場合は、[←] または [→] キーをタップしてカーソルを移動します。

2. 追加したい文字を入力します。

文字の編集やへんこうのしかた

特定の文字を変更するには

1. 変更したい範囲をドラッグして選択します。

文字の編集のしかた

- 選択範囲が反転表示となります。

2. 新しい文字を入力します。

文字のさくじょのしかた

文字の削除のしかた

文字をコピーして他の位置に貼り付けるには

1. コピーしたい範囲をドラッグして選択した上で、[編集] → [コピー] をタップします。

文字編集のしかた
端末の利用法

2. コピーした内容を挿入したい位置をタップします。タップした位置でカーソルが点滅します。

文字編集のしかた
端末の利用法

3. ［編集］→［貼り付け］をタップします。

文字編集のしかた
端末の文字編集の利用法

MEMO
- 手順 1 で［編集］→［コピー］をタップする代わりに、ローマ字／かなキーボード上で［Ctl］→［c］の順でキーをタップしても、選択範囲がコピーされます。
- 手順 2 で［編集］→［貼り付け］をタップする代わりに、ローマ字／かなキーボード上で［Ctl］→［v］の順でキーをタップしても、貼り付けが行われます。

文字を切り取って他の位置に貼り付けるには

「文字をコピーして他の位置に貼り付けるには」の手順 1 で［編集］→［コピー］の代わりに［編集］→［切り取り］をタップすると、選択範囲の文字列が切り取られます（見かけ上は削除されます）。切り取った文字列は、［編集］→［貼り付け］をタップすることで、現在のカーソル位置に貼り付けることができます。

MEMO
- ［編集］→［切り取り］をタップする代わりに、ローマ字／かなキーボード上で［Ctl］→［x］の順でキーをタップしても、選択範囲を切り取ることができます。

編集した後で編集前の状態に戻すには

文字列に対して何らかの編集操作を行った場合、直前の操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

操作例：選択範囲を削除した後で、削除を取り消す

1. 削除したい範囲をドラッグして選択します。

文字の編集のしかた

2. ［← BS］をタップします。

- 選択範囲が削除されます。

編集のしかた

3. 直前の削除の操作を取り消すには、[編集] → [元に戻す] をタップします。

- 削除を行う前の状態に復帰します。

文字の編集のしかた

MEMO
- 手順 3 で［編集］→［元に戻す］をタップする代わりに、ローマ字／かなキーボード上で［Ctl］→［z］の順でキーをタップしても、元に戻すことができます。
- 手順 3 の後で［編集］→［やり直し］をタップすると、編集を再実行することができます。上記の例では、選択範囲が削除された手順 2 の状態に戻ります。
- 使用中のプログラムによって、実際に使うことができる機能や動作は異なります。

2-3　検索とヘルプの活用

検索するには

本機が内蔵している各種プログラムに登録したデータの中から、自分が必要としているデータを、すばやく検索することができます。ファイル名や、ファイル内に含まれている文字列による検索が可能です。
検索は、以下の手順で行います。

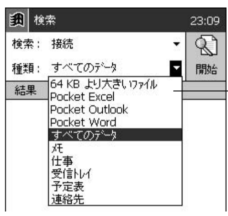
1. ボタンをタップして表示されるメニュー上の［検索］をタップします。
- 以下のような画面が表示されます。



- 「検索」の欄に、検索したい語を入力できる状態になります。（はじめは、前回検索時の文字が表示されています。）
- 以前に検索したことがある語句で再度検索する場合は、▼をタップして表示されるリストから、語句を選ぶことができます。

2. 「検索」欄に、検索したい語を入力します。

3. 検索する範囲を絞りたい場合は、「種類」の欄をタップします。

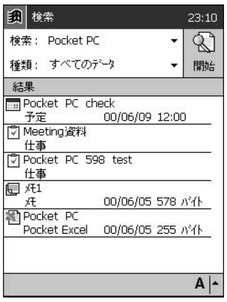


検索の種類のリストが表示されます。リストから、検索対象としたい項目をタップしてください。

- 検索範囲を絞り込まない場合は、「すべてのデータ」を選択しておいてください。

4. 検索を開始するには、［開始］ボタンをタップします。

- 検索結果が一覧表示されます。



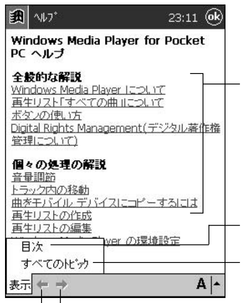
MEMO

- Pocket Outlook（予定表、連絡先、仕事、受信トレイ、メモ）のデータ以外では、検索対象となるのは、「My Documents」フォルダ内のファイル（サブフォルダ内を含む）に限られます。
- 本機のメインメモリ（または本機のカードスロットに挿入してあるメモリカード）上のファイルは、「ファイルエクスプローラ」を使って確認することも可能です。ファイルエクスプローラについては、第6章をご覧ください。

オンラインヘルプを見るには

「オンラインヘルプ」（ヘルプ）は、本機を利用する上での強い味方です。本機が内蔵しているプログラムの基本的な操作は、ヘルプを参照することでたいていわかります。出先で手元に本書がないときなどには、ヘルプを利用すると良いでしょう。

ヘルプは、ボタンをタップして表示されるメニュー上の［ヘルプ］をタップすれば、いつでも表示させることができます。現在使用中のプログラムや画面に対応したヘルプ画面が、最初に表示されます。



2-4 マルチメディアカード /SD メモリカードについて

マルチメディアカード /SD メモリカードの利用について

本機はマルチメディアカード/SDメモリカードに対応しています。マルチメディアカード仕様のメモリカード/SDメモリカードを本機のカードスロットに挿入して、カード上にファイルを保存したり、データのバックアップを行う、などの使い方ができます。

MEMO

本機で利用可能なマルチメディアカード /SD メモリカードについては、カシオのホームページへの掲載を予定しております。

カードの取り付け／取り外し

◆ご注意◆

- ご使用のカードによっては、カードカバーが閉まらないことがあります。
- カードを奥まで差し込めないときは、無理に押し込まないでください。破損する場合があります。奥まで差し込めないときは、一度引き抜いてカードの向きを確かめ、再度挿入してください。
- 本機で入力中または編集中で、まだ保存していない状態のデータがある場合は、カードの取り付け／取り外しを行う前に、そのデータを本体のメインメモリに保存しておくことをお勧めします。
- カードを正しく認識できない場合があります（通常の操作でプログラムが起動できなくなります）。このような場合は、マルチメディアカードを再度挿入し、リセットボタンを押してください。

メモリカード上のファイルの利用について

本機に内蔵されている各種のプログラムからメモリカード上のファイルを利用するには、メモリカード上に「My Documents」という名前のフォルダを作成した上で、そのフォルダ内に利用したいファイルを保存しておくことが必要です。以下のことにご留意ください。

- 「My Documents」フォルダは、メモリカード上に直に作成してください（別のフォルダの中に作成しないでください）。また、「My Documents」というフォルダ名は半角で入力し、「My」と「Documents」の間に必ず半角スペースを入れてください。
- 「My Documents」フォルダ内にファイルを置いておくことで、ファイルを扱う各種プログラム（メモ、Pocket Word、Pocket Excel、Windows Media Player、モバイルビデオプレーヤー、Mobile Picture & Video Player）から、ファイルを開くことが可能となります。ファイルが「My Documents」フォルダ外に置かれている場合は、開くことができません。

MEMO

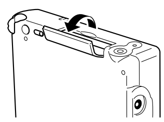
フォルダの作成は「ファイルエクスプローラ」を使って行います。フォルダの作成のしかたについては、第 6 章をご覧ください。

マルチメディアカード /SD メモリカードの装着（交換）は、次の手順で行ってください。

1. 本機の電源が切ってあるのを確認します。

- 電源が入っていたら、電源ボタンを押して電源を切ってください。

2. カードカバーを開きます。



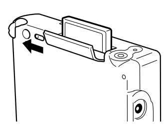
- カードロックスイッチを「FREE」の位置へスライドさせます。

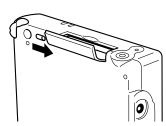
3. すでにカードが挿入されている場合は、カードを抜きます。

- カードを一度押すと、カードが出てきます。

4. カードのスロットに正しく合わせて、使用したいカードをスロットに差し込みます。

- カードの表側が本機の表側に向くように差し込んでください。向きを間違うと、スロットに奥まで差し込むことはできません。
- カードを斜めに差さないでください。
- カードは奥まで確実に差し込んでください。





5. カードカバーを閉じます。

- カードのはずれ防止のため、カードロックスイッチを「FREE」とは逆の位置へスライドし、カードをロックします。

カードバックアップツールの利用

カードバックアップツールを使うと、本機のメインメモリ上のユーザデータを、メモリカードにバックアップすることができます。具体的には、以下の３種類のデータです 。

- ファイル
  メモや Pocket Word、Pocket Excel などで作成したファイルや、追加インストールしたプログラムなどです。パソコンから本機に転送したファイルなども含まれます。
- レジストリ
  Windows CE の各種設定や、内蔵プログラムの設定情報などが含まれます。
- データベース
  Microsoft 社の PIM データベースの情報です。予定表／モバイルスケジュール、連絡先／モバイル住所録、仕事、受信トレイのデータなどが含まれます。

◆ご注意◆
モバイルスケジュールのデータのうち「予定の色分け」情報は、Microsoft社のPIMデータベースの範囲外であるため、バックアップの対象となりません。「予定の色分け」情報はリストアしても元の状態には戻りませんのでご注意ください。「予定の色分け」について詳しくは、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるモバイルスケジュールのドキュメントをご覧ください。

MEMO
カードバックアップツールについての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

◆操作前のご注意◆
カードバックアップツールを使ったデータのバックアップ、およびリストアの操作を行う際には、以下の点にご注意ください。

- バックアップ／リストアを行う前に、実行中のプログラムをすべて終了してから、必ず本機のリセットの操作を行ってください。（「フルリセット」ではなく「リセット」です。ご注意ください。）実行中のプログラムの終了のしかたについては、185 ページをご覧ください。またリセットの操作方法については、190 ページをご覧ください。
- メイン電池、およびバックアップ電池が消耗している場合は、バックアップ／リストアの作業の開始前に警告メッセージが表示され、バックアップ／リストアを実行することができません。電池が消耗している場合は、作業の開始前に、必ず充電を行ってください。

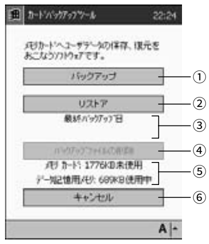
- バックアップ／リストアの作業には10分以上かかる場合があります。実行途中で電池が消耗すると、正常に動作しません。バックアップ／リストアを行う場合は、AC アダプタをご使用ください。
- バックアップ／リストアの実行中は、本機のボタンの操作、画面のタップ操作など、一切の操作を行わないでください。バックアップ／リストアの作業が開始されたら、終了するまで本機に触れないでください。

バックアップの所要時間について

データのバックアップ（およびバックアップデータからのリストア）には、データ量により数 10 秒〜数分かかります。例えば 4M バイトのデータをバックアップするには、約３〜４分程度かかります。データの使用量は、 → ［設定］ → ［システム］タブ→［メモリ］アイコンの順でタップすると表示される「メモリ」画面上で確認することができます。詳しくは 184 ページの「メモリの設定」をご覧ください。

画面構成について

本ソフトを起動すると、右のような画面が表示されます。



①メモリカードへのバックアップを開始します。
②メモリカードからのリストアを開始します。
③メモリカード上にバックアップファイルがある場合は、ここに最終バックアップ日が表示されます。
④メモリカード上のバックアップファイルを削除します。
⑤メモリカードの空き容量と、CASSIOPEIA本体のデータ記憶用メモリの使用量が表示されます。
⑥本ソフトを終了します。

バックアップするには

以下のバックアップ操作を行う前に、必ず前ページの「操作前のご注意」をお読みください。

1. CASSIOPEIAにACアダプタを接続し、CASSIOPEIAをリセットします。

2. カードスロットに、充分な空き容量のあるメモリカードを挿入します。

3. カードバックアップツールを起動し、[バックアップ]をタップします。
- バックアップ開始の確認ダイアログが表示されます。

4. バックアップを開始するには、[はい]をタップします。

- バックアップ中は、砂時計のアイコンが表示されます。バックアップが終了すると、「バックアップが終了しました」というメッセージが表示されます。

5. [OK]をタップします。
- カードバックアップツールが終了します。

リストアするには

「リストア」を実行すると、CASSIOPEIA 上のデータは次のようになります。

- CASSIOPEIA上とバックアップデータ上に同一のファイルおよびレジストリがある場合には、バックアップデータ上にあるファイルおよびレジストリによってCASSIOPEIA 上のデータが上書きされます。
- CASSIOPEIA上にあって、バックアップデータ上にないファイルおよびレジストリについては、CASSIOPEIA 上にそのまま残ります（削除されません）。
- 予定表、連絡先、仕事、受信トレイのデータは、すべてバックアップデータ上のデータベースにより CASSIOPEIA 上のデータが上書きされます。

CASSIOPEIAを、バックアップした時点とまったく同じ状態に戻したい場合は、一度 CASSIOPEIA をフルリセットしてください。フルリセットの操作については、192 ページを参照してください。

以下のリストア操作を行う前に、必ず 59 ページの「操作前のご注意」をお読みください。

1. CASSIOPEIAにACアダプタを接続し、CASSIOPEIAをリセットします。

2. カードスロットに、バックアップデータが保存されているメモリカードを挿入します。

3. カードバックアップツールを起動し、[リストア]をタップします。
- リストア開始の確認ダイアログが表示されます。

4. リストアを開始するには、[はい]をタップします。
- リストア中は、処理中を示すアイコンが表示されます。リストアが終了すると、「リストアが終了しました」というメッセージが表示されます。

5. [OK]をタップします。
- カードバックアップツールが終了しますので、再度リセット操作を実行してください。

第3章

インターネットの利用

3-1　ネットサーフィンするには

本機はインターネット上のホームページ閲覧を行うための Web ブラウザとして「Pocket Internet Explorer」を内蔵しています。本機を携帯電話などの電話回線と接続し、ご加入のインターネットサービスプロバイダ（以下「プロバイダ」と呼びます）への接続設定を行えば、すぐにネットサーフィンを始めることができます。

インターネット接続のための準備

本機をインターネットに接続するためには、以下のものが必要です。

携帯電話または PHS、および接続用ケーブル

本機と携帯電話 / PHS との接続については、27 ページをご覧ください。

プロバイダへの加入

すでにご加入のプロバイダがある場合は、本機のために新たに加入する必要はありません。ご加入のプロバイダの情報を、本機に設定します。以下の情報をご用意の上で、「インターネット接続のための設定」（66 ページ）の操作を行ってください。

電話番号 .... ダイヤルアップ接続（電話回線を通じて遠隔地のコンピューターに接続すること）を行うための電話番号です。接続に利用する機器（携帯電話／ PHS）に合ったアクセスポイントを選ぶことが必要です。

ネームサーバー .... 接続先のプロバイダのインターネット上の住所に相当する情報です。通常は「プライマリ DNS」と「セカンダリ DNS」の 2 つがあります。それぞれ「000.000.000.000」のように数値で指定します。

ユーザー名 .... プロバイダへのダイヤルアップ接続時に使うユーザー名です。プロバイダによって、「ログイン ID」、「接続 ID」、「ユーザーID」、「ログイン名」、「接続用ユーザ名」などの、さまざまな呼び方があります。メールサーバーへの接続のためのユーザー名ではありませんので、ご注意ください。

パスワード .... プロバイダへのダイヤルアップ接続時に使うパスワードです。プロバイダによって、「認証パスワード」、「ログインパスワード」、「接続パスワード」などの、さまざまな呼び方があります。メールサーバーへの接続のためのパスワードではありませんので、ご注意ください。

MEMO

- 上記の情報は、プロバイダ経由でインターネットに接続し、ネットサーフィンを行う際に、一般的に必要となる最低限の情報です。これら以外の情報が支給されている場合、特別な設定が必要かどうかについては、入会しているプロバイダにお問い合わせください。
- 「SMTP サーバー」や「POP サーバー」などの情報は、メールの送受信を行う際に必要な情報です。これらについては、84 ページの「3-2 メールの送受信を行うには」で説明します。
- 「ネームサーバー」や「ユーザー名」などの名称は、プロバイダによって若干異なります。

モペラについて

「モペラ」は株式会社 NTT ドコモが提供しているインターネットサービスです。このサービスを利用すると、加入手続きを行わなくても、本機に内蔵のプログラム「mopera」（69 ページ参照）を利用して、すぐにインターネットへの接続ができます（ドコモの携帯電話または PHS が必要です）。

@nifty でインターネット／通信設定について

@nifty は、ニフティ株式会社の提供するインターネット接続サービスです。本機には@niftyへの入会申し込みを電話回線を通じて直接行うことができる「@niftyでインターネット」と、入会後（あるいはすでに @nifty に入会されている方）が簡単にインターネットへの接続設定を行うことができる「通信設定」が付属しています（71 ページ参照）。

@niftyへの入会を希望する方や、すでに@niftyに入会されている方は、これらのプログラムをご利用ください。

インターネット接続のための設定

一般的な設定の手順

1. 本機の電源を入れ、[スタート] →［設定］→［接続］タブ→［モデム］アイコンの順にタップします。

- 「モデム接続」画面が表示されます。



2.「新しい接続」をタップします。



- 「接続名」欄に、設定する接続先のプロバイダ名などを入力します。どこに接続するかがわかる名前であれば、どんな名前を付けても構いません。
- 「モデムの選択」欄は、本機に携帯電話を接続する場合は「PDC Plug-In Modem」を、PHS を接続する場合は「PHS Plug-In Modem」を選んでください。

3. ［詳細設定］ボタンをタップし、［ネームサーバー］タブをタップします。



- 「指定されたサーバーアドレス」ボタンをタップした上で、「プライマリDNS」および必要に応じて「セカンダリDNS」をそれぞれ入力します。
- 入力が済んだらⓀをタップして画面を閉じてください。

※ ［ポートの設定］タブ、および［TCP/IP］タブの内容は、通常は変更の必要はありません。インターネット接続時に固定IPアドレスを使うなど、プロバイダと特別な契約をしている場合のみ必要となります。詳しくはヘルプをご覧ください。

4. ［次へ］をタップします。



- 「市外局番」および「電話番号」欄に、接続先プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

※ アクセスポイントが、本機に接続する機器（携帯電話／PHS）に対応しているかどうかをご確認ください。詳しくは入会しているプロバイダにお問い合わせください。

5. ［次へ］をタップします。



PHSの利用時は、ここを50〜56秒の間に設定してください。

※ この設定画面の各項目は、基本的には変更の必要はありません。各項目について詳しくはヘルプをご覧ください。

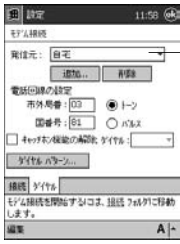
6. ［終了］をタップします。

- 元の「モデム接続」画面が表示されます。



今作成した接続名の項目が追加されているのをご確認ください。

7. ［ダイヤル］タブをタップし、「発信元」欄で「自宅」を選択します。



ここをタップして「自宅」を選択します。

8. Ⓚをタップします。

- 「モデム接続」画面が閉じます。

moperaを使った接続について

NTTドコモの携帯電話（またはPHS）をお持ちの場合は、「mopera」を使うことで簡単にインターネットへの接続を行うことができます。以下の説明では、「携帯電話」とはドコモの携帯電話またはPHSを指します。

1. 携帯電話の発信者番号通知機能をONに設定します。

- 設定のしかたについては、お持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2. 携帯電話を本機に接続します。

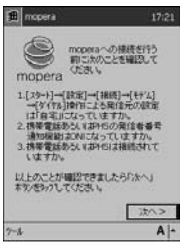
- 27ページの「携帯電話／PHSの接続」をご覧ください。

3. 本機の「発信元」の設定を「自宅」にします。

- → ［設定］→［接続］タブ→［モデム］アイコン→［ダイヤル］タブの順にタップし、「発信元」欄で「自宅」を選択します。
- 設定が済んだらⓀをタップして画面を閉じてください。

4. → ［プログラム］→［mopera］の順にタップします。

- 初めてmoperaを使う際は、初期画面（左下）が表示されます。初期画面で［次へ］ボタンをタップすると、右下のような画面が表示されます。





5. ご使用の電話の種類を選択して［接続］ボタンをタップします。

- タップすると、自動的にPocket Internet Explorerが起動し、インターネットへの接続が開始されます。
- 接続中は、携帯電話の通信料（発信地から東京までの通話料と同等です）がかかります。

6. 接続が完了すると、「mopera情報サービス」のトップページが表示されます。

- この後は、そのままmopera情報サービスを利用したり、見たいホームページに自由に移動したりすることができます。75ページの「Pocket Internet Explorerの基本操作」をご覧ください。

7. 接続を終了する（電話を切る）には、Pocket Internet Explorerの画面上で［ツール］→［切断］をタップします。

- → ［Today］の順にタップして、画面右下の アイコンをタップすると表示されるダイアログで［切断］をタップして切断することもできます。

MEMO

- 接続が終了したかどうかは、携帯電話の表示上でもご確認ください。
- 接続の終了後は、携帯電話を本機から取り外してください。
- 「mopera」についての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

@nifty 用サインアップ・設定プログラムについて

@niftyは、ニフティ株式会社の提供するインターネット接続サービスです。「@niftyでインターネット」を使うと、サービスへの入会申し込みを、電話回線を通じて直接行うことができます。入会後（あるいはすでに@niftyに入会されている方）は、「通信設定」を使って簡単に接続設定を行うことができます。

@nifty でインターネット（ご入会手続き）

CASSIOPEIA を携帯電話などを使って電話回線に接続した上で、→［プログラム］→［@niftyでインターネット］フォルダ の順にタップします。左下の画面が表示されます。さらに［@nifty でインターネット］アイコンをタップすると、右下の画面となりますので、画面の指示に従って操作を行ってください。



「@nifty でインターネット」フォルダの中身



「@nifty でインターネット」初期画面

@nifty への接続設定（すでにご入会の方）

すでに @nifty にご入会いただいている場合は、左上の画面の［通信設定］アイコンをタップしてください。@nifty でインターネット接続を行うための設定を、簡単に作成することができます。また、［アクセスポイント設定］アイコンをタップして、アクセスポイントの設定や変更を行うことができます。

MEMO

- 「@niftyでインターネット」、「通信設定」、「アクセスポイント設定」についての詳細は、「@nifty でインターネット」フォルダ内の「お読みください」および「使い方」をご覧ください。
- 「@nifty設定」では、@niftyを利用したメールの送受信のための設定も行います。メールの送受信について詳しくは、84 ページの「3-2 メールの送受信を行うには」をご覧ください。

インターネットへの接続テスト

設定が済んだら、Pocket Internet Explorerを使って、実際にインターネットへの接続テストを行ってみます。以下の手順で操作してください。

- 以下の説明では、「携帯電話」とは携帯電話または PHS を指します。

1. 携帯電話を本機に接続します。

- 27 ページの「携帯電話／ PHS の接続」をご覧ください。

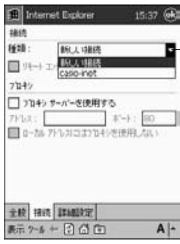
2. →［Internet Explorer］の順にタップします。

- Pocket Internet Explorer が起動します。



3.［ツール］→［接続］をタップします。

- 確認ダイアログが表示されるので［はい］をタップします。以下の画面が表示されます。



4. okをタップします。以下の画面が表示されます。



5.［接続］をタップします。

- 以下のダイアログが表示されインターネットへの接続が開始されます。



- 接続中は、携帯電話の通信料がかかります。
- 接続が完了するとダイアログが以下のようになった後、ダイアログは閉じます。



6. 試しにカシオペアのホームページ（テキスト版）を表示してみましょう。

- ［表示］→［アドレスバー］をタップして、アドレスバーを表示します。
- アドレスバーに「http://www.casio.co.jp/ppc/index_ppc.html」と入力し、［移動］をタップします。



- ホームページの閲覧について詳しくは、75 ページの「Pocket Internet Explorer の基本操作」をご覧ください。

7. 接続を終了する（電話を切る）には、Pocket Internet Explorer の画面上で［ツール］→［切断］をタップします。

- →［Today］の順にタップして、画面右下の アイコンをタップすると表示されるダイアログで［切断］をタップして切断することもできます。



MEMO

- 接続が終了したかどうかは、携帯電話の表示上でもご確認ください。
- 接続の終了後は、携帯電話を本機から取り外してください。

Pocket Internet Explorerの基本操作

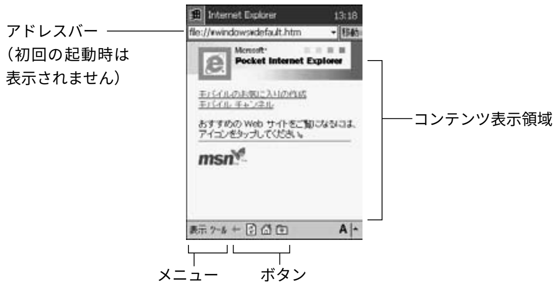
Pocket Internet Explorerは、Webページを表示するためのブラウザソフトです。本機をインターネットに接続してネットサーフィンするには、Pocket Internet Explorerを使います。

Pocket Internet Explorerを起動するには

→［Internet Explorer］をタップします。

Pocket Internet Explorerの画面構成

Pocket Internet Explorer画面は、以下のようになっています。



●ボタンについて

コマンドバーに表示されている各ボタンには、以下の働きがあります。

.....（戻る）ひとつ前に表示していたページ（アドレス）に戻ります。

.....（更新／中止）ページを読み込み中の場合は、読み込みを途中で中止します。読み込み中でない場合は、現在表示中のページを最新の状態に更新します。

.....（ホーム）［ツール］→［オプション］で設定されている「ホームページ」に移動します。オプション設定については81ページをご覧ください。

.....（お気に入り）「お気に入り」画面を表示します。お気に入りについては79ページをご覧ください。

●メニュー項目について

各メニュー項目には、以下の働きがあります。

［表示］メニュー

［次へ］........................ （戻る）ボタンで前ページに戻った後で、次のページに移動します。

［画面に合わせる］... この項目にチェックを付けると、本機の画面に合わせて表示中のページ幅が調整されます。

［アドレスバー］....... この項目にチェックを付けると、アドレスバーが表示されます。特定のURLにジャンプしたい場合は、アドレスバーを表示して、URLを入力します。画面を広く使いたい場合は、チェックを外してアドレスバーを非表示にします。

［文字のサイズ］....... コンテンツ表示領域に表示する文字のサイズを設定します。

［履歴］........................「履歴」画面を表示します。

［プロパティ］........... 現在表示中のページのプロパティを表示します。

［ツール］メニュー

［接続］（［切断］）..... インターネットに未接続の場合は［接続］、接続中の場合は［切断］と表示されます。「接続と切断について」（77ページ）をご覧ください。

［電子メールからリンクを送る］..... 現在表示中のページのURLを、電子メールで送信します。「電子メールからリンクを送るには」（78ページ）をご覧ください。

［切り取り］............... アドレスバーで選択した文字列を切り取ります。

［コピー］................... アドレスバーやコンテンツ表示領域で選択した文字列をコピーします。

［貼り付け］............... コピーまたは切り取りした文字列を、アドレスバーに貼り付けることができます。

［すべて選択］........... コンテンツ表示領域のすべてのテキストを選択します。

［オプション］........... オプション設定画面を表示します。オプション設定については81ページをご覧ください。

接続と切断について

以下の操作を行う前に、あらかじめ「インターネット接続のための準備」（64ページ）をお読みになり、必要な設定を済ませておいてください。

● Pocket Internet Explorerからインターネットに接続するには

1. 携帯電話（またはPHS）を本機に接続します。
2. ［ツール］→［接続］の順にタップします。
   - 現在設定されている接続先への接続画面が表示されます。
   - 接続先の設定については、81ページの「オプション設定について」をご覧ください。
3. ［接続］ボタンをタップします。
   - 接続が開始されます。接続中は、携帯電話（またはPHS）の通信料がかかります。
   - 接続後は、アドレスバーにURLを入力するなどして、インターネット上のWebページを表示することができます。

●切断するには

インターネットへの接続を切断するには、以下のいずれかの操作を行います。

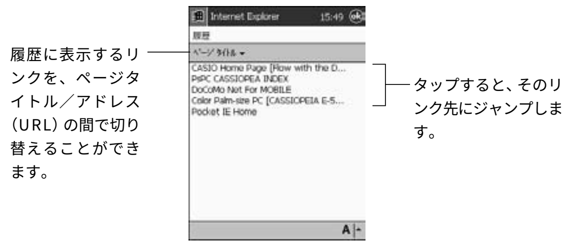
- ［ツール］→［切断］の順にタップします。
- →［Today］の順にタップしてToday画面を表示し、画面右下のアイコンをタップすると表示されるダイアログで［切断］をタップします。

MEMO

- 接続が終了したかどうかは、携帯電話（PHS）の表示上でもご確認ください。
- 接続の終了後は、携帯電話（PHS）を本機から取り外してください。

履歴について

［表示］→［履歴］をタップすると、以下のような履歴画面が表示されます。履歴画面上には、過去に表示したページのリンクが一覧表示されます。

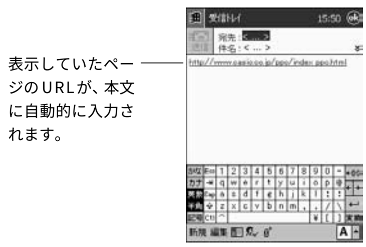


MEMO

何日以内に訪問したリンク先を履歴に表示するかを設定することができます。詳しくは81ページの「オプション設定について」をご覧ください。

電子メールからリンクを送るには

現在表示中のページのアドレス（URL）を人に知らせたい場合には、［ツール］→［電子メールからリンクを送る］をタップします。受信トレイが起動し、以下のような新規メッセージ作成画面が表示されます。



宛先、件名を入力し、本文を適宜追加した上で、すぐにメールを送信することができます。

MEMO

メールの送受信を行うために必要な設定や、受信トレイの使い方については、84ページの「3-2 メールの送受信を行うには」をご覧ください。

「お気に入り」の追加と削除

Pocket Internet Explorerで表示したインターネット上のページを「お気に入り」ページとして登録しておくと、再度そのページを訪問したいときに便利です。

表示中のページをお気に入りに追加するには

1. お気に入りに追加したいページを表示します。

2. （お気に入り）をタップします。

3. ［追加／削除］タブをタップします。

4. ［追加］をタップします。
- 以下のような画面が表示されます。



「名前」欄をタップして、名前を変更することができます。

5. ＯＫをタップします。
- お気に入りへの追加が行われ、手順1の画面に戻ります。

登録したお気に入りのページに移動するには

1. （お気に入り）をタップします。
- 以下のような画面が表示されます。



登録済みのお気に入りが一覧表示されます。

2. 移動したいお気に入りの項目をタップします。
- タップしたページに移動します。

お気に入りを削除するには

1. （お気に入り）をタップします。

2. ［追加／削除］タブをタップします。

3. 削除したいお気に入りの項目をタップして選択し、［削除］をタップします。
- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

4. 削除して良い場合は、［はい］をタップします。
- 削除するのをやめる場合は、［いいえ］をタップします。
- 元の画面に戻るには、ＯＫをタップしてください。

オプション設定について

［ツール］→［オプション］をタップすると表示されるオプション設定画面を使うと、Pocket Internet Explorerに関するさまざまな設定を行うことができます。

［全般］タブの各項目

ホームページ .... コマンドバーの ボタンをタップしたときに表示される「ホームページ」を設定します。［現在のページ］をタップすると、現在表示されているページがホームページに設定されます。初期設定に戻すには［標準設定］をタップします。

履歴 .... 過去に表示したページのリンク情報を保存しておく期間を、1～99日の間で設定できます。保存されている履歴情報を消去したい場合は、［履歴のクリア］をタップします。

インターネット一時ファイル .... 最近表示したページのデータや、パソコンとの同期によって本機に転送されたデータのことを、「インターネット一時ファイル」と呼びます。本機のデータ記憶用メモリの残り容量が不足しているような場合には、［ファイルを削除］をタップすることで、インターネット一時ファイルをすべて削除すれば、メモリを節約することができます。

［接続］タブの各項目

接続 .... ［ツール］→［接続］をタップしたときに使われる接続先を［種類］欄で選択します。「リモートコンテンツに自動的にアクセスする」にチェックを付けておくと、必要な場合に自動的に［種類］欄で選択されている接続先への接続が行われます。

プロキシ .... プロキシサーバーを利用する場合にチェックを付けます。モペラを利用して接続している場合は、チェックを付けないでください。プロキシサーバーの利用については、入会しているプロバイダにお問い合わせください。

［詳細設定］タブの各項目

Cookie .... 一部のWebサイトは、アクセスしたユーザーの識別情報と設定を保存するための「Cookie」と呼ばれるファイルを発行します。Cookieは本機のメモリ上に保存されます。Cookieの受け入れを許可しない場合は、「Cookieを許可する」のチェックを外してください。

メディア .... ページ上の画像の表示／非表示、サウンド再生の有効／無効を切り替えます。表示を高速にしたい場合は、「画像を表示する」、「サウンドを再生する」の両方のチェックを外してください。

セキュリティ設定 ... 通常は「セキュリティ保護のないページに移動するときに警告する」のチェックを外さないでください。

言語 .... ページの表示に使われる言語（文字コード）を選択します。通常は「日本語（自動選択）」に設定しておいてください。

オプション設定画面で設定を行った後は、ＯＫをタップしてください。設定が保存され、元の画面に戻ります。

Pocket Internet Explorerで閲覧可能なページについて

Pocket Internet Explorerは、パソコン用のブラウザ（Internet Explorer Ver.5.0など）と比べると、機能が限定されています。このため、パソコン用のブラウザを使って閲覧することを前提に作られている一部のWebページは、Pocket Internet Explorerでは表示することができない場合があります。

本機に内蔵のPocket Internet Explorerは、以下の規格に対応しています。
- HTML Ver. 3.2
- SSL 2.0／3.0

各種のホームトレードのページや、特定のプラグインを必要とするページなどは、Pocket Internet Explorerからは利用できない場合があります。

パソコン上の Internet Explorer との連携利用について

本機をパソコンと接続することで、パソコン上の Internet Explorer との間で、特定のフォルダを経由して、以下のようなデータの同期を行うことが可能となります。

- パソコン上のInternet Explorer（Ver.4.0 以上）と本機の Pocket Internet Explorer の間で、お気に入りを同期することができます。
- パソコン上のInternet Explorer（Ver.4.0 以上）で購読した「モバイルチャンネル」を、本機の Pocket Internet Explorer で閲覧することができます。
- パソコン上のInternet Explorer（Ver.5.0 以上）で作成した「モバイルのお気に入り」を、本機の Pocket Internet Explorer で閲覧することができます。ただし、一部表示などに制約がある場合があります（前ページの「Pocket Internet Explorer で閲覧可能なページについて」をご覧ください）。

MEMO

- 本機とパソコンとの接続については、19 ページの「1-4 パソコンとの接続について」をご覧ください。
- 本機とパソコンとの間での各種データの同期については、ActiveSync のオンラインヘルプをご覧ください。
- モバイルチャンネル、およびモバイルのお気に入りについては、Pocket Internet Explorer のヘルプをご覧ください。

3-2 メールの送受信を行うには

本機でメールの送受信を行うには、内蔵の「受信トレイ」または「Mobile E-mailer」を利用する方法があります。

メールの送受信を行うための準備

メールの送受信を行うためには、以下のものが必要です。

携帯電話または PHS、および接続用ケーブル
本機と携帯電話 /PHS との接続については、27 ページをご覧ください。

プロバイダへの加入（メールアドレスの取得）
すでにプロバイダに加入しており、メールアドレスをお持ちの場合は、本機のために新たにプロバイダに加入してメールアドレスを取得する必要はありません。ご加入のプロバイダの情報を、本機に設定します。プロバイダから支給される以下の情報をご用意の上で、「メール送受信のための設定」（88 ページ）の操作を行ってください。

サービスの種類 ....「POP3」または「IMAP4」のいずれかです。

サーバー .... メールの受信に使われるサーバー名です（例：popn.@abc.or.jp）。

ユーザー .... メールサーバーに接続するためのユーザー名です。通常はメールアドレスの「@」の前までがユーザー名となります。

パスワード .... メールサーバーに接続するためのパスワードです。

SMTP ホスト .... メールの送信に使われるサーバー名です（例：smtpn.@abc.or.jp）。

MEMO

ユーザー、パスワードなどの入力時は、必ず半角英数字をご使用ください。

メール送受信のためのさまざまな設定方法について

メールの送受信を行うための設定方法として、本機では以下の選択肢が用意されています。

(1) インターネットへの接続設定と受信トレイの設定をそれぞれ行う方法

- まず「3-1 ネットサーフィンするには」の「インターネット接続のための設定」（66 ページ）によって、プロバイダへの接続設定を行います。
- 次に「受信トレイの設定」（88 ページ）によって、受信トレイを使ったメールの送受信の設定を行います。

(2)「メール接続設定」を使う方法（91 ページ）
「メール接続設定」は、上記の(1)の設定をすべて一括して、より簡単に行うことができるプログラムです。

(3)「mopera クイックスタート」を使う方法（92 ページ）
「mopera クイックスタート」は、株式会社NTTドコモの「mopera メールサービス」の利用を簡単に開始することができるプログラムです。利用にはドコモの携帯電話または PHS が必要です。自分のメールアドレスをお持ちでない方でも、申し込んだ翌日からメールの送受信を行うことができるようになります。

(4)「@nifty でインターネット」を使う方法（71 ページ）
@nifty は、ニフティ株式会社の提供するインターネット接続サービスです。「@nifty でインターネット」を使うと、@nifty へのオンラインサインアップを行った上で、インターネットへの接続設定とメール送受信のための設定を簡単に行うことができます。

MEMO

「メール接続設定」、「mopera クイックスタート」、「@nifty でインターネット」についての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントまたはヘルプをご覧ください。

「受信トレイ」について

受信トレイは、複数のメールアドレスの利用や、パソコン上の Microsoft Outlook（または Microsoft Exchange）と同期して利用することが可能なメールプログラムです。また、受信トレイは一般に広く利用されている POP3 メールに加えて、IMAP4 メールサービスにも対応しています。

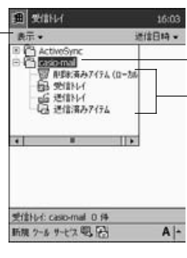
「サービス」について

電子メールの送受信を行うためには、「サービス」の設定が必要です。
受信トレイでは、メールの送受信を行うための設定情報（接続先のメールホストやユーザー ID、パスワード、メールの送受信のしかたなど）の 1 セット分を「サービス」と呼びます。「サービス」＝「接続先のメールホスト」と思えば良いでしょう。
受信トレイには、複数の「サービス」を登録することができるので、メールアドレスを 2 つ以上持っているような人は、アドレスごとの設定を「サービス」として登録し、メールの送受信時に切り替えて使用することができます。

初期設定では、受信トレイには「ActiveSync」というサービスが登録されています。「ActiveSync」は、パソコン上の Microsoft Outlook（または Microsoft Exchange）と同期して利用するためのものです。

サービスとフォルダについて

受信トレイではサービスごとに「受信トレイ」「送信トレイ」「送信済みアイテム」「削除済みアイテム」という 4 つの標準フォルダが自動的に作成されます。



MEMO

プログラム名の「受信トレイ」と、フォルダ名の「受信トレイ」を混同しないようにご注意ください。本マニュアル中では、フォルダ名の場合は『「受信トレイ」フォルダ』と表記します。

「Mobile E-mailer」について

Mobile E-mailerは、受信トレイに対してカシオが独自に機能強化を図ったメールプログラムです。Mobile E-Mailerは、電子メールの送受信をはじめ、ファイルの添付や受信したメールの振り分け（フィルタ機能）、検索なども可能で、以下のような特長があります。

- 宛先、件名、本文などのキーワードを指定して、メールを検索することが可能です。
- 利用するプロバイダごとに10個までの振り分け設定（フィルタ）が可能です。これにより、受信したメールを、目的別や用途別などによって、自動的に整理保管することができます。
- ５通りまでの署名が設定可能です。「仕事用」や「個人用」など、メールを送信する相手によって署名を変更することができます。
- 送信メッセージを作成する際に、連絡先／モバイル住所録（第４章を参照）に登録してある電子メールアドレスを宛先に入力することが可能です。また、それとは別に、よく使うメールアドレスにニックネームを付けて登録しておく「個人アドレス帳」機能もあり、より簡単に宛先を入力することができます。
- 作成するメールの内容（宛先・件名・本文など）をテンプレートとして登録しておき、いつでも呼び出して使うことができます。
- 短いフレーズを定型メッセージとして登録しておき、件名や本文を入力する際に利用することができます。

MEMO

- Mobile E-mailerは、POP3のみに対応しています。IMAP4の場合は、受信トレイをご利用ください。
- Mobile E-mailerの使い方について詳しくは、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

◆ご注意◆

Mobile E-mailerと受信トレイを併用して、同一のPOP3アカウントによるメールの送受信やメールの削除、移動、フォルダの作成、フォルダ名の変更、フォルダの削除などの操作を行なわないでください。両方のメールソフトを併用することは、システムの整合性を損ない、お勧めできません。

メール送受信のための設定

受信トレイの設定

1. [スタート] → ［受信トレイ］の順にタップし、受信トレイを起動します。

2. ［ツール］→［オプション］をタップします。

- 「オプション」画面の「サービス」タブが表示されます。

3. ［追加］をタップします。



POP3またはIMAP4のいずれかのサービスを選択します。

サービス名を入力します（例：「cassiopeia-mail」など）。

4. ［次へ］をタップします。



- 「接続」欄で、インターネットへの接続に利用する接続名を選択します。「インターネット接続のための設定」（66ページ）で作成した接続名を選択してください。
- 「サーバー」欄には、POPサーバー（またはIMAPサーバー）を入力します（例：pop.cassiopeia.ne.jpなど）。
- 「ユーザー」および「パスワード」の各欄には、それぞれユーザー名とパスワードを入力します。

※ プロバイダによっては、接続用とメールサービス用のユーザー名／パスワードが異なる場合があります。ここではメールサービス用のユーザー名／パスワードを入力してください。

- 入力したパスワードを保存しておきたい場合は、「パスワードの保存」にチェックを付けておきます。

5. ［次へ］をタップします。



- 「ドメイン」欄は、通常は空欄のままで構いません。
- 「SMTP ホスト」欄には、SMTP サーバー名を入力します（例：smtp.cassiopeia.ne.jpなど）。プロバイダから特に指定がない場合は、空欄のままで構いません。
- 「リターンアドレス」欄には、自分宛の返信メールの送付先となるメールアドレス（設定中のサービスのメールアドレス）を入力してください。

6. ［次へ］をタップします。



- 画面上で、各項目を必要に応じて設定してください。各設定項目についてはヘルプを参照してください。

7. ［次へ］をタップします。



- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択すると、メールのヘッダー（タイトル部分）と、メール本文の一部（指定した行数まで）のみを受信します。一度接続を終了した後でメールを確認し、必要なものだけを全文受信し直すことができます。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択すると、常にメールの全文を受信します。

- 画面上で、各項目を必要に応じて設定してください。各設定項目についてはヘルプを参照してください。

8. ［完了］をタップします。

- 元の「オプション」画面の「サービス」タブが表示されます。



今作成したサービスが追加されているのをご確認ください。

9. ok をタップします。

- 受信トレイの画面に戻ります。

以上で設定は完了です。93ページの「メールの送受信」をお読みになり、メールの送受信のテストを行ってみてください。

「メール接続設定」を使う

「メール接続設定」は、CASSIOPEIAでメールの送受信を行うための煩雑な設定を、より簡単に一括して行うための専用プログラムです。「メール接続設定」を使えば、画面に順次表示される指示に従ってプロバイダに関する情報を入力していくことで、設定作業を一括して行うことができます。

新規のメール接続設定を行うには

接続先のプロバイダから支給されている情報をお手元にご用意の上で、以下の操作を行ってください。

1. 実行中のプログラムをすべて終了した上で、CASSIOPEIAをリセットします。
- 実行中のプログラムの終了のしかたは、「実行中のプログラムを終了するには」（185 ページ）をご覧ください。
- リセットのしかたは、「リセットについて」（190 ページ）をご覧ください。

2. [スタート]→[プログラム]→[メール接続設定]の順でタップします。メール接続設定の画面が表示されます。

3. [新規にサービスを登録する] をタップします。プロバイダの選択画面が表示されます。

4. 接続先のプロバイダがリストの中にある場合は、そのプロバイダ名をタップして [OK] をタップします。リストにないプロバイダへの接続設定を行う場合は、［リストにないプロバイダに接続する］をタップします。

5. 画面の指示に従って、必要な項目を順次入力してください。

MEMO
- パスワードの設定は、受信トレイで実際にメールを送受信するときに行う必要があります。
- 「メール接続設定」についての詳細は、付属の CASSIOPEIA CD-ROM に含まれるドキュメントをご覧ください。

「mopera クイックスタート」を使う

「mopera クイックスタート」を使えば、株式会社 NTT ドコモの「mopera メールサービス」の利用を簡単に開始することができます。利用にはドコモの携帯電話またはPHSが必要です。自分のメールアドレスをお持ちでない方でも、申し込んだ翌日からメールの送受信を行うことができるようになります。

平成 12 年 9 月現在

■ mopera メールサービスへのお申し込みについて

①ドコモの営業窓口、ドコモショップ、またはお電話でのお申し込みが必要です。

携帯電話・DoPa でのお申し込み：0120-177-360
PHS でのお申し込み：0120-898956

受付時間など、ご確認のうえおかけください。
お申し込みの際には、4 ケタの暗証番号をお申し出ください。この暗証番号は、「クイックスタート」でメール送受信のための各種情報を入手する際に必要です。

② mopera メールサービスのクイックスタートを行います。
お申し込みの翌日以降に「mopera クイックスタート」を使って ID、パスワード、メールアドレスを入手し、すぐにメールの送受信を開始することができます。mopera クイックスタートは、以下の手順で行います。

1. ドコモの携帯電話（または PHS）を本機に接続します。
- 27 ページの「携帯電話／ PHS の接続」をご覧ください。
- 必ずmoperaメールサービスへのお申し込み時の携帯電話またはPHSを接続してください。

2. 受信トレイがすでに起動している場合は、受信トレイを「実行中のプログラムの終了」の操作を使って終了してください。
- 「実行中のプログラムの終了」（185 ページ）をご覧ください。

3. [スタート] → [プログラム] → [moperaクイックスタート] の順にタップします。
- この後は画面の指示に従って操作を行ってください。

◆ご注意◆
回線が未接続の状態で接続を行おうとすると、エラーとなります。この場合はエラーメッセージを閉じて、[ツール] → [中止] をタップし、はじめからやり直してください。

MEMO
「mopera クイックスタート」についての詳細は、付属の CASSIOPEIA CD-ROM に含まれるドキュメントをご覧ください。

メールの送受信

ここでは、新規の送信メールの作成のしかたと、メールの送受信のしかた、受信したメールの扱い方などについて説明します。

新規に送信メッセージを作成するには

1. 送信に利用するサービスを選択します。



※「ActiveSync」は、本機と接続したパソコンからメールを送信する場合に選択します。詳しくは第 7 章をご覧ください。

2. [新規] をタップします。
- 新規メッセージの作成画面が表示されます。

3. [宛先] と [件名] をそれぞれ入力します。

※ 設定終了後の初回の送信時は、ここで [宛先] に自分のメールアドレスを指定して、送受信のテストを行うと良いでしょう。



- コマンドバーの各ボタンには、次のような働きがあります。

… [宛先]、[CC]、[BCC] をタップしてカーソルを表示させた上でこのボタンをタップすると、連絡先（112 ページ参照）に登録してあるメールアドレスの一覧表が表示され、一覧表の中から入力したいメールアドレスを選択することができます。

… タップすると、[宛先]、[CC]、[BCC] に入力した名前を、連絡先やオンラインアドレス帳に登録されている名前と照合して、確認することができます。詳しくはヘルプを参照してください。

… 送信メッセージにファイルを添付する際にタップします。詳しくはヘルプを参照してください。

4. メッセージの本文を入力します。

5. 必要な項目への入力が済んだら、[送信] をタップします。
- 作成したメッセージが保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
- メールサーバーへの接続中に [送信] をタップした場合は、タップすると同時にすぐに送信が行われます。

MEMO
- 「送信トレイ」フォルダに入った送信メッセージは、次回の接続時にまとめて送信されます。
- 送信が行われると、送信メッセージは「削除済みアイテム（ローカル）」フォルダに移され、自動的に削除されます。送信メッセージのコピーを保存しておきたい場合は、[ツール] → [オプション] の [メッセージ] タブ内の「送信済みアイテムフォルダにコピーを保存する」にチェックを付けておきます。詳しくはヘルプを参照してください。
- 上記の手順 5 で [送信] をタップする代わりに ok をタップすると、そのメッセージは一時的に「受信トレイ」フォルダに入り、送信されません。一度「受信トレイ」フォルダに入ったメッセージを送信する場合は、そのメッセージを開いた上で [送信] をタップしてください。

メールの送受信（メールサーバーへの接続）を行うには

メールサーバーへの接続を行うと、送信トレイに入っているメールの送信、およびメールサーバー上の未読メールの受信が行われます。メールサーバーへの接続は、以下の手順で行います。

1. 携帯電話（または PHS）を本機に接続します。

2. 接続に利用するサービスを選択します。
- ［サービス］をタップし、接続に利用するサービス名をタップします。



登録されているサービスがここにリストされ、接続時に選択できます。現在選択されているサービスに「●」印が付きます。

※ サービスを一つしか登録していない場合は、この操作は不要です。

3. （接続）をタップします。
- 選択したサービスに対して設定されている接続先への接続画面が表示されます。

4. ［接続］ボタンをタップします。接続が開始されます。
- 接続中は、携帯電話（または PHS）の通信料がかかります。
- メールサーバーへの接続が完了すると、メールの送受信が実行されます。画面上には、現在の送受信の進行状況が表示されますので、しばらくお待ちください。

5. メールの送受信が完了したら、［サービス］→［切断］をタップします。

◆ご注意◆
- 受信トレイ上で をタップする前に、Pocket Internet Explorerなどを使ってすでにインターネットに接続していた場合は、次の操作で接続を切断してください：→［Today］の順にタップしてToday画面を表示し、画面右下の アイコンをタップすると表示されるダイアログで［切断］をタップします。
- 接続が終了したかどうかは、携帯電話（PHS）の表示上でもご確認ください。
- 接続の終了後は、携帯電話（PHS）を本機から取り外してください。

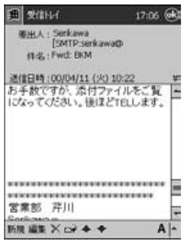
受信したメールの内容を見るには

1. 内容を確認したいサービスの「受信トレイ」フォルダを選択し、メッセージリスト画面を表示します。



ここをタップしてサービス／フォルダの一覧を表示します。
- サービス名の前の［+］をタップすると、サービス内のフォルダを表示することができます。
- メッセージリスト画面を表示したいフォルダをタップします。

2. メッセージリスト画面上で、内容を見たいメッセージをタップします。
- タップしたメッセージの内容が表示されます。



3. メッセージの内容画面を閉じるには、ok をタップします。

受信したメールに返信するには

1. 「受信したメールの内容を見るには」の操作に従って、受信したメールの内容画面を表示します。

2. → ［返信］（または［全員へ返信］）をタップします。
- ［全員へ返信］をタップすると、元のメッセージの差出人およびCCに含まれているすべてのメールアドレス宛てに返信が行われます。差出人のみに返信したい場合は、［返信］をタップしてください。

3. 返信メッセージを作成します。
- 「新規に送信メッセージを作成するには」（93ページ）と同じ要領で行ってください。

4. 必要な項目への入力が済んだら、［送信］をタップします。
- 作成したメッセージが保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
- メールサーバーへの接続中に［送信］をタップした場合は、タップすると同時にすぐに送信が行われます。

受信したメールを転送するには

1. 「受信したメールの内容を見るには」の操作に従って、受信したメールの内容画面を表示します。

2. → ［転送］をタップします。

3. 転送先（宛先）などを指定します。
- 必要に応じて、本文の追加なども行います。宛先や本文の入力などの操作は、「新規に送信メッセージを作成するには」（93ページ）と同じ要領で行ってください。

4. 必要な項目への入力が済んだら、［送信］をタップします。
- 作成したメッセージが保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
- メールサーバーへの接続中に［送信］をタップした場合は、タップすると同時にすぐに送信が行われます。

MEMO

メッセージリスト画面でメッセージをタップしたまま押さえると、ポップアップメニューが表示されます。メニューから［返信］／［全員に返信］／［転送］をタップすると、メールの内容画面を表示しなくても、返信／転送メッセージを作成することができます。

メッセージの管理

ここでは、受信トレイ上でのメッセージの削除やフォルダ間での移動／コピー、フォルダの作成／削除の操作について説明します。

◆ご注意◆

本機の受信トレイ上でメッセージの削除や移動、フォルダの作成などの操作を行った後でメールサーバーへの接続を行った場合の動作は、利用しているメールサービス（POP3またはIMAP4）や受信トレイの設定によって異なります。詳しくは、受信トレイのヘルプをご覧ください。

メッセージを削除するには

1. メッセージリスト画面上で、削除したいメッセージをタップしたまま押さえます。

2. ポップアップメニューの［削除］をタップします。
- メッセージが「削除済みアイテム（ローカル）」フォルダに移動されます。
- 「削除済みアイテム（ローカル）」フォルダに移されたメッセージを完全に削除するには、以下の手順にて行ってください。

  本機側で作成したメッセージ ：

  ［ツール］→［削除済みアイテムを空にする］

  メールサーバーからダウンロードしたメッセージ ：

  メールサーバーに接続し、［ツール］→［削除済みアイテムを空にする］

MEMO

メールサーバーに接続していない時に上記作業を行うと、メールサーバーからダウンロードしたメッセージがある場合には、「いくつかのアイテムを削除できませんでした。サービスアイテムを完全に削除できるのは、サービスに接続されている間だけです。」というメッセージが出ます。その場合には、メールサーバーに接続してから再度作業を行うようにしてください。

メッセージを他のフォルダに移動／コピーするには

1. メッセージリスト画面上で、移動またはコピーしたいメッセージをタップしたまま押さえます。

2. ポップアップメニューの［移動］（または［コピー］）をタップします。
- 移動先のフォルダを指定するダイアログが表示されます。

3. 移動先のフォルダをタップして選択し、okをタップします。
- 選択したフォルダにメッセージが移動（コピー）されます。

MEMO
移動（コピー）先として指定できるのは、移動（コピー）元のメッセージがあるサービス内のフォルダのみです。

新規フォルダを作成するには

標準のフォルダ以外に、メッセージを管理するためのフォルダを作成することができます。フォルダは、サービスの直下（標準のフォルダと同じ階層）、または標準のフォルダ内に作成することができます。

1. フォルダを作成したい階層を選択します。
- 標準のフォルダと同じ階層に新規フォルダを作成したい場合は、サービス／フォルダの一覧からサービス名をタップして選択します。
- フォルダ内に新規フォルダを作成したい場合は、そのフォルダをサービス／フォルダの一覧からタップして選択します。

2. ［ツール］→［新しいフォルダ］をタップします。
- フォルダ名を入力するダイアログが表示されます。

3. フォルダ名を入力し、okをタップします。
- フォルダが作成され、元の画面に戻ります。

MEMO
「削除済みアイテム（ローカル）」フォルダ内に新規フォルダを作成することはできません。

フォルダの編集

新規に作成したフォルダの名前を変更したり、削除することができます。編集したいフォルダを、サービス／フォルダの一覧からタップして選択した上で以下の操作を行ってください。

●フォルダ名を変更するには

1. ［ツール］→［フォルダ名の変更］をタップします。
- フォルダ名を入力するダイアログが表示されます。

2. 新しいフォルダ名を入力し、okをタップします。
- フォルダ名が変更され、元の画面に戻ります。

●フォルダを削除するには

1. ［ツール］→［フォルダの削除］をタップします。
- フォルダを削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。

2. 削除するには、［はい］をタップします。
- フォルダが削除され、同時にフォルダ内のすべてのメッセージが削除されます。

パソコン上の受信トレイとの同期について

本機をパソコンと接続することで、パソコン上の Microsoft Outlook（または Microsoft Exchange）の受信トレイと、本機の受信トレイとの間で、メッセージの同期を行うことが可能となります。パソコン上の受信トレイと本機の受信トレイの間で同期を行うと、具体的には次のように動作します。

- パソコン上に新着メッセージがある場合は、同期によって、そのメッセージが本機側にコピーされます。
- 本機側でメッセージを削除すると、同期によって、そのメッセージがパソコン側でも削除されます。
- 本機側で新規の送信メッセージや返信メッセージを作成し、ActiveSync サービスの「送信トレイ」フォルダに入れておくと、同期によってそのメッセージがパソコン側の「送信トレイ」フォルダにコピーされ、パソコン上での次回のメールの送受信時に同時に送信されます。

MEMO
- 本機とパソコンとの接続については、19 ページの「1-4 パソコンとの接続について」をご覧ください。
- 本機とパソコンとの間での各種データの同期については、パソコン上のMicrosoft Outlook のヘルプや ActiveSync のヘルプをご覧ください。

第 4 章

PIM 機能の利用

4-1 PIM 機能の概要

PIM（ピム）とは「Personal Information Manager」の略で、さまざまな個人情報を管理するプログラムのことを指します。本機には、パソコン用の PIM として代表的な「Microsoft Outlook 2000」（以下「Outlook」）のポケット版である「Microsoft Pocket Outlook」（以下「Pocket Outlook」）が内蔵されています。Pocket Outlook は、本機の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」の 5 つのプログラムの総称です。

MEMO
パソコン用のOutlookでは、一つのプログラムの中に「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」および「Outlook Today」（本機の「Today」に相当）の各機能が含まれています。本機の Pocket Outlookは、パソコン用の Outlookと連携して利用できるように設計されています。

Pocket Outlook について

Pocket Outlook は、本機の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」の 5 つのプログラムの総称です。各プログラムは以下のような機能を備えています。

予定表 .... スケジュールを管理するためのプログラムです。予定表に予定や会議を登録しておくと、さまざまな形式で表示したり、予定の時刻前にアラームを鳴らすことなどができます。

連絡先 .... 友人や仕事の同僚、取引先の人々などの住所・氏名・電話番号・電子メールアドレスといった各種の情報を登録し、管理するためのプログラムです。

仕事 .... しなければならない仕事や作業を管理することができます。

メモ .... 思いついたアイデアをさっと書き取ったり、口述の録音を行ったりすることができるプログラムです。

受信トレイ ... 電子メールの送受信や、送受信したメールの整理を行うことができます。

本章では、これら 5 つのプログラムのうち、「受信トレイ」を除く各プログラムの使い方を説明します。受信トレイについては、第 3 章をご覧ください。

モバイルスケジュールとモバイル住所録について

Pocket Outlookに含まれる「予定表」、「連絡先」の各プログラムの機能の強化版として、本機には「モバイルスケジュール」、「モバイル住所録」というプログラムが内蔵されています。

モバイルスケジュール　（4-3 を参照）

……………1ヶ月カレンダーと一緒に表示される日単位スケジュールやタイムテーブル表示など、「予定表」にはない便利な表示形式と、より簡単な予定の入力方法を提供する、カシオ独自のプログラムです。

モバイル住所録　（4-5 を参照）

……………「連絡先」にはない便利な各種の表示と入力機能、検索機能などを提供する、カシオ独自の住所録管理プログラムです。

これらのプログラムは、それぞれ「予定表」、「連絡先」とデータベースを共有しているため、パソコン上のOutlookとの同期（下記参照）も問題なく行うことができます。

パソコンとの連携利用について

本機をパソコンと接続すると、本機のPocket Outlookの各プログラムと、パソコン上のOutlook（またはSchedule+）との間でデータの「同期」を行うことが可能となります。

- 本機とパソコンの接続については、19 ページの「パソコンとの接続」をご覧ください。
- 接続後に、実際にパソコンと本機の間でデータのやりとりを行うためには、パソコン側にActiveSyncをインストールする必要があります。ActiveSyncのインストール方法については、ActiveSync CD-ROMに付属の冊子をご覧ください。
- ActiveSyncの使い方については、ActiveSyncのオンラインヘルプをご覧ください。
- Outlook（またはSchedule+）のオンラインヘルプも併せてご覧ください。

4-2　予定表

「予定表」は、スケジュールを管理するためのプログラムです。予定表に予定や会議を登録しておくと、さまざまな形式で表示したり、予定の時刻にアラームを鳴らすことなどができます。

MEMO

予定表の各種操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

予定表の各種表示

予定表の表示は、コマンドバーのボタンを使って切り替えることができます。

……「計画表表示」へ
……「日単位表示」へ
……「週単位表示」へ
31 ……「月間カレンダー」へ
12 ……「年間カレンダー」へ

計画表表示／日単位表示

「計画表表示」と「日単位表示」は、いずれも一日の予定を表示する画面です。「計画表表示」では予定だけを一覧で表示することができ、「日単位表示」はタイムテーブル上に予定が配置されます。

タップすると今日の予定に移動します。

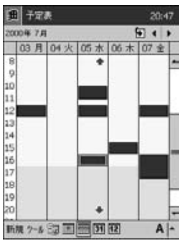


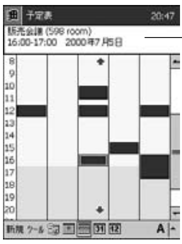


予定項目をタップすると、予定の「概要画面」（107 ページ参照）が表示されます。

週単位表示

1 週間分の予定を表示します。





タップした予定の内容がこのように表示されます。

月間カレンダー／年間カレンダー

1ヶ月分／1年分のカレンダーを表示します。月間カレンダー上には、予定の有無が表示されます。





午前中の予定があることを示します。

午後に予定があることを示します。

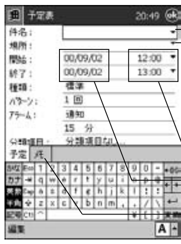
終日予定があることを示します。

予定の新規入力と編集

新規の予定を入力するには

1. 日単位表示または週単位表示画面で、予定を入力したい日付／時刻をタップします。

2. ［新規］ボタンをタップします。



ここをタップすると、「待ち合わせ」「会議」など入力する予定を選ぶことができます。

ここをタップすると、今まで入力したことがある場所の一覧が表示されます。

時刻を変更したい場合はここをタップします。

日付を変更したい場合はここをタップします。

メモを入力したい場合はここをタップします。

3. 画面上で、必要な項目を順次入力します。
- 各項目に入力するには、まず入力したい欄をタップしてください。
- 入力パネルで隠れている項目に入力するには、一度入力パネルを非表示にしてください。

4. 入力が済んだらokをタップしてください。
- 予定が保存され、元の画面に戻ります。

※メモ画面への入力と録音について

［メモ］タブをタップすると、手書きのメモや音声の入力を行うことができます。入力のしかたについては、121 ページの「4-7 メモ」をご覧ください。

概要画面を使うには

計画表表示または日単位表示で予定をタップすると、タップした予定の「概要画面」が表示されます。

予定の入力時に［予定］タブで入力した項目が表示されます。ここをタップすると、予定の入力画面が表示され、予定を編集することができます。



メモを入力してある場合は、メモの内容が縮小表示されます。タップすると、メモの入力画面が表示されます。

概要画面を閉じて元の画面に戻るには、okをタップします。

予定を編集するには

入力済みの予定の編集は、以下の手順で行います。

1. 編集したい予定の概要画面を表示します。

2. 概要画面で、編集したい項目をタップします。
- 新規入力時と同様の、予定の入力画面が表示されます。

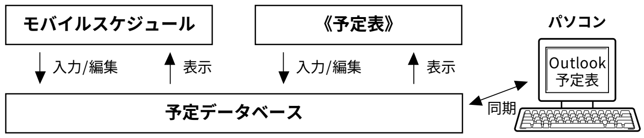
3. 新規入力の場合と同じ要領で、必要な項目を入力（変更）します。

4. 入力が済んだらokをタップします。
- 予定が保存され、元の画面に戻ります。

4-3 モバイルスケジュール

モバイルスケジュールは、Pocket Outlookのスケジュール管理プログラムである「予定表」（104ページ参照）にはない便利な表示形式と、より簡単な予定の入力方法を提供する、カシオ独自のプログラムです。

モバイルスケジュールと予定表は、下図に示すように一つの予定データベースを共有しています。共通のデータベースを利用しているため、モバイルスケジュール上で入力／編集した予定データは、予定表上にも反映されます。また、逆の場合も同様となります。

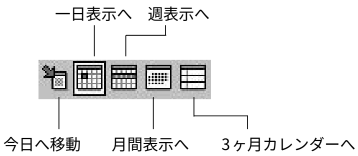


MEMO
- 本機とパソコンとの接続については、19ページの「1-4　パソコンとの接続について」をご覧ください。
- モバイルスケジュールの各種操作について詳しくは、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

データのバックアップ／復元について
カードバックアップツールやActiveSyncを使ってバックアップを行っても、モバイルスケジュールの「予定の色分け」情報は保存されません。バックアップデータからデータの復元を行うと、「予定の色分け」情報は初期状態となります。必要な場合は、［ツール］→［予定の色分け］で分類項目ごとの色を再設定してください。

予定データの表示

モバイルスケジュールは、一日表示、週表示、月間表示、3ヶ月カレンダーの4種類の表示画面を備えています。各表示画面への移動は、コマンドバーのボタンで行うことができます。



また、一日表示および週表示からは、それぞれ一日タイムテーブル表示、週タイムテーブル表示に切り換えることができ、よりグラフィカルに予定データを確認することができます。また、分類項目ごとに、予定を色分けして表示することもできます。

一日表示： 画面上部には当月のカレンダーを、下部には当日の用件を表示します。

- このボタンをタップすると、予定データがタイムテーブルで表示されます。
- 休日（設定可能）は赤で表示されます。
- 現在選択されている予定がグレーで表示されます（タップすると選択できます）。
- タップすると、予定の編集画面を開くことができます。



- このボタンをタップすると、前後の月に移動します。
- 予定データを含む日付はカレンダー上で太字で表示されます。
- カレンダー上で現在選択されている日付の予定データが、画面下部に表示されます。

一日タイムテーブル表示： 一日表示で をタップすると、画面下部の予定データがタイムテーブルで表示されます。タイムテーブル表示では、一日の予定をグラフィカルに一覧することができます。

- カレンダー部の表示は、1日表示と同様です。



- このボタンをタップすると、通常の1日表示に戻ります。
- タイムテーブル表示にした際は、時間軸は午前8時～午後8時が表示されています。横スクロールバーを使って、時間軸をスクロールさせることができます。

週タイムテーブル表示／月表示： それぞれ週間予定／月間予定を概略表示します。

このボタンをタップすると、前後の週に移動します。





このボタンをタップすると、六曜表示に切り替わります。

このボタンをタップすると、前後の月に移動します。

- 月表示では、午前に予定データがある日にはAM、午後に予定データがある日にはPMと表示されます。
- 月表示で[六曜]をタップすると六曜表示に切り替えることができます（1998～2010年）。

週表示： 週タイムテーブル表示で をタップすると、一週間の予定が一覧表示されます。

3ヶ月カレンダー： 3ヶ月分のカレンダーを表示することができます。カレンダー上で、スケジュールデータが含まれている日を確認することができます。

新規予定データの入力

新規の予定データの入力は、次の手順で行います。

1. コマンドバーの［新規］をタップします。予定の入力画面の「予定」タブが表示されます。

2. 予定の日時と内容などを、「予定」タブ上で順次入力します。

日時..................... 上側が予定の開始日時、下側が終了日時です。
内容..................... 予定の内容を入力します。
場所..................... 予定の場所を入力します。
アラーム............. 予定の時間の15分前（時間は設定可能）にアラームを鳴らしたい場合はここにチェックを付けます。
終日イベント..... 時間を指定しない予定の場合は、ここにチェックを付けます。

3. 必要に応じて、繰り返し、アラーム詳細、その他の各タブ内の項目の設定を行います。

- これらの項目が設定不要の場合は、この手順はスキップして手順4に進んでください。
- 設定を行いたい場合は、対象のタブをタップします。

繰り返し............. 週に1度や月に1度といった、繰り返し発生する予定を設定することができます。
アラーム詳細..... 手順3で「アラーム」にチェックを付けた場合、アラームが鳴る時間やアラーム音の種類などを設定することができます。
その他................. 予定への手書きメモの追加、分類項目設定、予定の公開方法設定、およびプライベート設定を行うことができます。

4. 入力した予定データを保存するには、okをタップします。

予定データの訂正／削除

- 予定データを訂正するには、一日表示画面で予定データをタップします。予定データの入力画面が開き、そのデータの編集を行うことができます。予定の編集のしかたは、新規の入力時と同様です。
- 予定データを削除するには、予定の一日表示画面で予定データをタップしたまま押さえ、表示されるメニューから［削除］をタップします。データを削除して良いかを確認するメッセージが表示されます。削除して良い場合は[OK]をタップします（削除するのをやめる場合は［キャンセル］をタップします）。

4-4　連絡先

「連絡先」は、友人や仕事の同僚、取引先の人々などの住所・氏名・電話番号・電子メールアドレスといった各種の情報を登録し、管理するためのプログラムです。

MEMO
連絡先の各種操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

連絡先の表示画面

「連絡先」の表示画面には、以下のように人名と電話番号がリスト表示されます。リストの1行が、1件の「連絡先データ」を表します。

ここに入力すると、入力した文字が含まれる人名をすばやく探すことができます。

ここをタップして、画面上にリストする人名の分類（会社関係、個人用など）を選択することができます。



右端の1文字（「社」、「家」、「携」など）は、現在表示されている連絡先（電話番号など）を表します。どの連絡先を一覧に表示するかを、ここをタップすると表示されるリストから選んで切り替えることができます。

タップしたまま押さえるとポップアップメニューが表示され、データに対する操作を行うことができます。

タップすると、新規の連絡先データを入力できます。

連絡先の新規入力と編集

新規の連絡先データを入力するには

1. ［新規］ボタンをタップします。

- はじめに名字と名前を入力する画面が表示されますので、名字・名前とそれぞれのフリガナを入力します。



「名字」「名前」の欄にひらがなで入力してから変換すると、「フリガナ」の欄には自動的にフリガナが入力されます。

2. 引き続き、画面上で必要な項目を順次入力します。

- 各項目に入力するには、まず入力したい欄をタップしてください。
- 隠れている項目に入力するには、スクロールバーを使って画面をスクロールさせてください。

3. 入力が済んだらokをタップしてください。

- 予定が保存され、元の画面に戻ります。

※メモ画面への入力と録音について
［メモ］タブをタップすると、手書きのメモや音声の入力を行うことができます。入力のしかたについては、121ページの「4-7 メモ」をご覧ください。

概要画面を使うには

連絡先のリスト表示で人名をタップすると、タップした人名に対応した連絡先データの「概要画面」が表示されます。

氏名、会社名、部署名、役職が表示されます。

入力されているその他のデータが一覧表示されます。



タップすると、連絡先データの編集画面が表示されます。

タップすると、メモの入力画面が表示されます。

概要画面を閉じて元の画面に戻るには、okをタップします。

連絡先データを編集するには

入力済みの連絡先データの編集は、以下の手順で行います。

1. 編集したい連絡先データの概要画面を表示します。

2. 概要画面で、編集したい項目をタップします。

- 連絡先データの入力画面が表示され、タップした項目が編集できる状態になります。

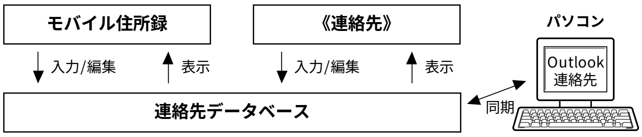
3. 新規入力の場合と同じ要領で、必要な項目を入力（変更）します。

4. 入力が済んだらokをタップします。

- 連絡先データが保存され、元の画面に戻ります。

4-5　モバイル住所録

モバイル住所録は、Pocket Outlookに含まれている「連絡先」（112ページ参照）にはない便利な各種の表示と機能を提供する、カシオ独自のプログラムです。
モバイル住所録と連絡先は、下図に示すように一つの連絡先データベースを共有しています。共通のデータベースを利用しているため、モバイル住所録上で入力／編集したデータは、連絡先上にも反映されます。また、逆の場合も同様となります。



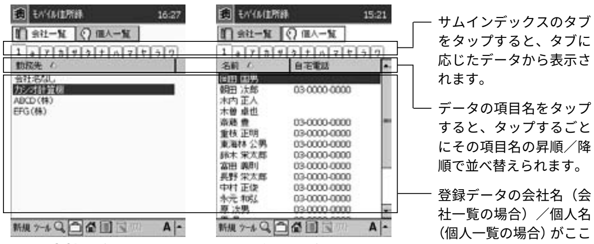
MEMO

- 本機とパソコンとの接続については、19ページの「1-4　パソコンとの接続について」をご覧ください。
- モバイル住所録の各種操作について詳しくは、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

データの表示

本ソフトの起動時には「会社一覧」画面が表示されます。この画面から、個別データの表示画面に移動することができます。

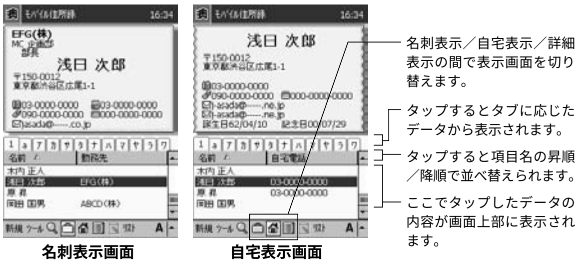
一覧表示： 登録データの会社一覧／個人一覧の2種類があります。[会社一覧]、[個人一覧] のボタンをタップすると、それぞれの一覧表示に切り替わります。



会社一覧画面　　個人一覧画面

- （名刺表示）、（自宅表示）、（詳細表示）の各ボタンをタップすると、タップしたボタンが選択された状態になりますが、画面表示そのものは変化しません。これらのボタンは、リスト上の会社名／個人名をダブルタップして個別のデータを表示する際に、どの表示にするかの切り替えボタンとして機能します。
- リスト上の会社名／個人名をダブルタップすると、 ／ ／ のうちで、現在選択されているボタンに応じた表示に切り替わります。

名刺表示／自宅表示： 名刺表示では登録データの「勤務先」カテゴリー内で入力した各項目が、自宅表示では登録データの「個人情報」カテゴリー内で入力した各項目が、それぞれ表示されます。



名刺表示画面　　自宅表示画面

詳細表示： 詳細表示では、登録データの全項目が一覧表示されます。



※ 詳細表示画面上で行うことができる各種操作は、名刺表示／自宅表示の場合と同様です。

メモ表示： 登録データに対してメモが付いている場合は、名刺表示／自宅表示／詳細表示の各画面で ボタンをタップすることで、そのメモを表示することができます。ただし、表示のみで編集／保存を行うことはできません。

新規データの入力

新規データの入力は、以下の手順で行います。

1. [新規] をタップします。住所録の入力画面の「勤務先」タブが表示されます。



2.「勤務先」タブ上の各項目を順次入力します。

3.「自宅」タブをタップし、各項目を順次入力します。
- 「自宅電話」以下の各項目は、項目名の右側の ボタンをタップして入力項目を選択した上で、右側のテキストボックスに入力します。

4.「住所」タブをタップし、住所を入力します。
- 入力することができる住所は、勤務先住所、自宅住所、その他住所の3種類です。入力したい住所のラジオボタン（「勤務先」「自宅住所」「その他」のいずれか）をタップした上で、画面上の各項目を順次入力してください。

5.「その他」タブをタップし、各項目を順次入力します。
- 「Webページ」から「秘書の電話」までの3つの項目については、項目名の右側の ボタンをタップして入力項目を選択することができます。入力したい項目を選択した上で右側のテキストボックスをタッチし、必要な項目への入力を行ってください。
- 入力中のデータに対してメモを追加したい場合は、「ここをタップしてメモを追加」と表示されているボックスをタップします。メモの入力画面が表示され、メモ（121ページ参照）と同じ要領でメモの手書き、または文字入力を行うことができます。

4 PIM機能の利用

- ［分類項目設定］ボタンをタップすると分類項目一覧画面が表示され、入力中のデータの分類を設定することができます。

6. 必要な項目への入力がすべて済んだら、okをタップします。

データの検索

名刺表示／自宅表示／詳細表示の各画面では、 ボタンをタップすると検索語入力ダイアログが表示されます。検索したい文字列を入力して[OK]をタップすると、一致した文字列を含むデータのみが抽出表示されます。検索を解除するには、 をタップします。

データの訂正／削除

- データを訂正するには、名刺／自宅／詳細表示画面の下半分に表示されているデータ一覧で、訂正したいデータをタップします。データの入力画面が開き、そのデータの編集を行うことができます。新規入力の場合と同じ要領で、訂正したい部分を入力し直します。
- データを削除するには、名刺表示／自宅表示／詳細表示画面の下半分に表示されているデータ一覧で、削除したいデータをタップしたまま押さえ、表示されるメニューから [削除] をタップします。データを削除して良いかを確認するメッセージが表示されるので、削除して良い場合は[OK]をタップします（削除するのをやめる場合は[キャンセル] をタップします）。

4-6　仕事

「仕事」を使うと、しなければならない仕事や作業を管理することができます。仕事を起動すると、はじめに以下のようなリスト画面が表示されます。



画面上にリストする仕事の分類（「作業中の仕事」「完了した仕事」など）を選ぶことができます。

優先度の高い仕事を表します。

タップすると、新規の仕事データを入力できます。

画面上の仕事リストの表示順を「優先度」や「期限」などから選択することができます。

タップしたまま押さえるとポップアップメニューが表示され、データに対する操作を行うことができます。

MEMO
仕事の各種操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

仕事の新規入力と編集

新規の仕事データを入力するには

1. ［新規］ボタンをタップします。



ここをタップすると、「作業」「買い物」「電話」など入力する仕事項目を選ぶことができます。

2. 画面上で必要な項目を順次入力します。
- 各項目に入力するには、まず入力したい欄をタップしてください。

- 入力パネルで隠れている項目に入力するには、一度入力パネルを非表示にしてください。

3. 入力が済んだらokをタップしてください。
- 仕事データが保存され、元の画面に戻ります。

※メモ画面への入力と録音について
［メモ］タブをタップすると、手書きのメモや音声の入力を行うことができます。入力のしかたについては、121ページの「4-7 メモ」をご覧ください。

概要画面を使うには

リスト表示で仕事データをタップすると、そのデータの「概要画面」が表示されます。



仕事データの入力時に［仕事］タブで入力した項目が表示されます。ここをタップすると入力画面が表示され、仕事データを編集することができます。

メモを入力してある場合は、メモの内容が縮小表示されます。タップすると、メモの入力画面が表示されます。

概要画面を閉じて元の画面に戻るには、okをタップします。

仕事データを編集するには

入力済みの仕事データの編集は、以下の手順で行います。

1. 編集したい仕事データの概要画面を表示します。

2. 概要画面で、編集したい項目をタップします。
- 新規入力時と同様の、仕事の入力画面が表示されます。

3. 新規入力の場合と同じ要領で、必要な項目を入力（変更）します。

4. 入力が済んだらokをタップします。
- 仕事データが保存され、元の画面に戻ります。

4-7　メモ

「メモ」は、思いついたアイデアをさっと書き取ったり、口述の録音を行ったりすることができるプログラムです。メモを起動すると、はじめに以下のようなリスト画面が表示されます。



メモファイル
タップすると、そのメモファイルが開きます。

音声ファイル
タップすると、その音声ファイルが再生されます。

録音ツールバー

画面上のメモファイルのリスト表示順を「名前」や「サイズ」などから選択することができます。

タップしたまま押さえるとポップアップメニューが表示され、データに対する操作を行うことができます。

「録音ツールバー」の表示／非表示を切り替えます。

MEMO
- メモの各種操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。
- メモから開くことが可能なのは、本機のメインメモリ上の「My Documents」フォルダ内のファイル、およびメモリカード上の「My Documents」フォルダ内のファイルです。「My Documents」フォルダ外に置いてあるファイルは、リスト画面に表示されず、開くことはできません。57ページの「メモリカード上のファイルの利用について」もご覧ください。

録音するには（単独の音声ファイルの作成）

メモを使って録音を行い、独立した音声ファイル（WAVファイル）を作成することができます。

1. リスト画面で［録音ツールバー］ボタンをタップし、録音ツールバーを表示させます。

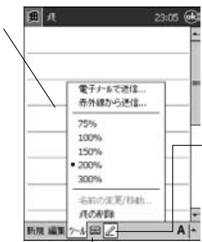
2. ［●］ボタンをタップします。
- 録音が開始され、本機の内蔵マイクによる録音が行われます。

3. 録音を終了するには、［■］ボタンをタップします。
- 「録音X」（Xは数字）というファイルが自動的に作成されます。

MEMO
上記の操作の代わりに、本機の録音ボタンを押して録音を行うこともできます。録音ボタンを押している間録音が行われ、録音ボタンを離すと録音が終了します。

メモの新規入力

メモには、文字や図形を手書きすることができる「手書き入力モード」と、文字を入力するための「文字入力モード」があります。また、メモの中に音声を差し挟むことができます。メモの入力画面は以下のようになっています。



画面の表示サイズを75%～300%の間で切り替えることができます。「手書き入力モード」では200%、「文字入力モード」では100%が初期設定です。

タップすると、「手書き入力モード」と「文字入力モード」の間で切り替わります。

「録音ツールバー」の表示／非表示を切り替えます。

新規のメモを入力するには

1. ［新規］ボタンをタップします。
- はじめに「手書き入力モード」の画面が表示されます。メモを手書きしたい場合は、このまま画面上にスタイラスで手書きすることができます。



罫線に沿って手書きした部分は、タイプした文字のようにドラッグして選択し、コピー／切り取り／貼り付けなどの編集を行うことができます。

3本以上の罫線にまたがって図を描くと「描画」として認識され、破線で描画の境界線が表示されます。

- 入力パネルを使って文字を入力したい場合は、をタップして「文字入力モード」に切り替えます。文字入力モードに切り替えると、表示サイズが100%に切り替わります。



タップしてカーソルを表示させ、カーソルの位置から文字入力を開始することができます。

- をタップして録音ツールバーを表示させた上で［●］をタップすると、メモの中に音声を差し挟むことができます。



［●］をタップして録音を開始した後、［■］をタップして録音を完了すると、スピーカーのアイコンが表示されます。このアイコンをタップすると、録音した音声が再生されます。

2. 入力がすんだらokをタップします。

- メモが保存され、元のリスト画面に戻ります。
- メモのファイル名は、メモ中に入力した最初の数文字、または「メモX」（Xは数字）という名前が自動的に付けられます。必要な場合は、後からリスト画面上でメモのファイル名の変更を行ってください。リスト画面上でファイル名を変更したいメモをタップしたまま押さえて、ポップアップメニューから［名前の変更/移動］を選択すると、名前を変更できます。

MEMO
文字サイズや表示サイズの変更によって、画面が見にくくなることがあります。このような場合は、適当な位置に改行を入力したり、画面の再表示（画面を前後にスクロールしてから元に戻す、などの操作によって再表示ができます）をお試しください。

第5章

各種プログラムの利用

5-1　各種プログラムについて

本章で説明するプログラムについて

「受信トレイ」などのインターネット利用のためのプログラムや、「予定表」などのPIMプログラム以外にも、以下のようなプログラムが本機に付属しています。
本章では、これらのプログラムの使い方について説明します。

Pocket Word
パソコン用ワープロソフト「Microsoft Word」のポケット版です。

Pocket Excel
パソコン用表計算ソフト「Microsoft Excel」のポケット版です。

Windows Media Player
音楽再生を行うプログラムです。MP3形式、またはWindows Media Audio形式のオーディオファイルを再生できます。

モバイルビデオプレーヤー
カシオのオリジナルフォーマット「CMF」形式の動画ファイルの再生を行うことができる、動画再生プログラムです。

モバイルビデオプレーヤー for PC 《CD-ROM》《PC》
CMF形式の動画ファイルを、パソコン上で再生するためのプログラムです。

モバイルビデオコンバータ 《CD-ROM》《PC》
AVIやMPEG1などの一般的なフォーマットの動画ファイルを、CMF形式に変換する、パソコン用のプログラムです。

Mobile Picture & Video Player
静止画データや動画データ（CMF形式）の表示、再生を行うことができます。また、ファイルの移動／削除の一括処理やアルバム機能など、画像データを管理するための各種機能を備えています。

辞書
国語・漢和・英和・和英の辞書です。

JRトラベルナビゲータ 《CD-ROM》
日本全国に対応した、鉄道、航空機などの最適乗り継ぎ検索システムです。

携帯ほいほい 《CD-ROM》
本機と接続した携帯電話の電話番号データを、本機上で編集／管理することができるプログラムです。

MEMO

- プログラム名の後に《CD-ROM》と付いているものは、本機に付属の CASSIOPEIA CD-ROM に入っています。これらのプログラムの利用については、以下の「プログラムの追加について」をご覧ください。
- プログラム名の後に《PC》と付いているものは、パソコン上で動作するプログラムです。本機用のプログラムではありませんので、ご注意ください。

プログラムの追加について

本機は OS として Microsoft Windows CE が搭載されており、この OS に対応したプログラムを追加インストールして利用することができます。例えば、本機に付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれている各種のプログラムが追加可能です。プログラムを追加するには、本機にパソコンを接続する必要があります。

- 本機とパソコンの接続については、19 ページの「パソコンとの接続」をご覧ください。
- 本機にプログラムを追加インストールするためには、本機と接続するパソコンに ActiveSync をインストールする必要があります。ActiveSync のインストール方法については、ActiveSync CD-ROMに付属の冊子をご覧ください。また、ActiveSync の使い方については、ActiveSync のオンラインヘルプをご覧ください。
- 市販プログラムなどのサポートは、カシオサポートセンターでは行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

5-2 Pocket Word

「Pocket Word」を使うと、タイプ打ちした文字やスタイラスによる描画、および音声を、ひとつのファイルの中に混在した形で保存しておくことができます。文字や描画に対してさまざまな書式を加えることができるほか、検索／置換などの機能も備えています。また、パソコン上の Word ファイルやテキストファイルを本機に転送して Pocket Word で開いたり、逆に Pocket Word で作成したファイルをパソコンに転送して Word で開くことができます。

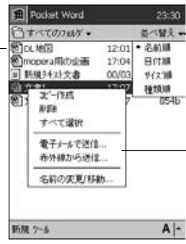
MEMO

- 本節では、Pocket Word の使い方の基本的な部分のみを説明します。Pocket Word の各種操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。
- Pocket Word から開くことが可能なのは、本機のメインメモリ上の「My Documents」フォルダ内のファイル、およびメモリカード上の「My Documents」フォルダ内のファイルです。「My Documents」フォルダ外に置いてあるファイルは、リスト画面に表示されず、開くことはできません。57ページの「メモリカード上のファイルの利用について」もご覧ください。

ファイルリスト画面について

→［プログラム］→［Pocket Word］をタップして Pocket Word を起動すると、はじめに以下のようなファイルリスト画面が表示されます。この画面では、ファイル名の変更やファイルの複製、削除などの操作を行うことができます。

- ファイルリストに表示されているファイルを開くには、そのファイル名をタップしてください。
- 新規のファイルを作成するには、［新規］をタップしてください。



MEMO

はじめて Pocket Word を起動したときや、Pocket Word の文書が一つもない場合は、Pocket Word を起動するとすぐに新規ファイルの画面が表示されます。

Pocket Word の 4 つのモードについて

Pocket Word には以下の 4 つのモードがあります。ひとつの文書の中で、これらのモードを切り替えながら、入力を行うことができます。

文字入力モード ... 入力パネルを使って文字を入力／編集するモードです。ボールドやイタリック、文字色、箇条書きなどの書式が利用できます。

手書きモード .... 画面上の罫線に沿って、スタイラスで文字などを手書きするためのモードです。すばやくメモを取るときなどに便利です。入力パネルから入力した文字のように後から編集したり、線の太さや色などの書式を変更することもできます。

描画モード .... スタイラスを使って、自由に図形を描画するためのモードです。描画時の線の色、太さ、塗りつぶしの色を指定できるほか、描画後にこれらの指定を変更したり、移動、変形などを行うこともできます。

録音モード .... 文書の中に音声を差し挟むことができます。

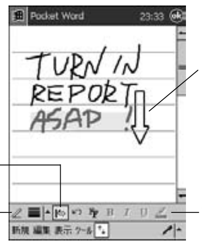
文字入力モードを使う

［表示］→［入力］をタップすると、「文字入力モード」に切り替わります。このモードでは、入力パネルを使って文字を入力することができます。以下の画面例のように、さまざまな書式を文字に付加しながら、文書を作成することが可能です。



手書きモードを使う

［表示］→［手書き］をタップすると、「手書きモード」に切り替わります。手書きモードでは、スタイラスを使って直接画面上に文字を手書きすることができます。
手書きモードに切り替えた際には、まずペンボタンが選択された状態になります。



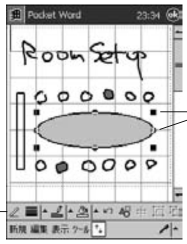
- ペンボタンをタップするごとに、「ペン」モード（...ペンボタンが枠囲いの状態）と「選択」モード（...ペンボタンの枠囲いがない状態）の間で状態が切り替わります。「ペン」モードでは、スタイラスを使って画面上に手書きができます。「選択」モードでは、ペンをドラッグして、手書き済みの文字を選択することができます（選択範囲は反転表示になります）。
- 選択範囲の文字に対しては、ツールバーの各ボタンを使って書式を変更することが可能です。例えば、手書きした文字が選択された状態で （蛍光ペンボタン）をタップすると、選択範囲を蛍光ペンでマークしたようになります。
- スペースボタンをタップして選択（...スペースボタンが枠囲いの状態）すると、画面上をドラッグしてスペース（空白）の挿入や削除を行うことができます。ドラッグすると画面上に矢印が表示されるので、矢印を見ながらスペースを入れる方向と、どのくらいスペースを作るかを確認することができます。

MEMO

手書きモードで 3 本以上の罫線にまたがって手書きすると「描画」として認識され、破線で描画の境界線が表示されます。描画として認識された図形は、描画モードで編集することができます。

描画モードを使う

［表示］→［描画］をタップすると、「描画モード」に切り替わり、画面上に格子状のガイドラインが表示されます。描画モードでは、スタイラスを使って画面上に自由に描画することができます。また、描いた後で図形の移動や変形、書式の変更を行ったり、四角形や円などの図形に変換することもできます。



- ペンボタンをタップするごとに、「ペン」モード（…ペンボタンが枠囲いの状態）と「選択」モード（…ペンボタンの枠囲いがない状態）の間で状態が切り替わります。「ペン」モードでは、スタイラスを使って画面上に描画することができます。「選択」モードでは、タップして図形を選択したり、ドラッグして複数の図形をまとめて選択することができます。
- 選択された図形の端の■部分をドラッグして変形することができます。また●部分をドラッグして回転させることができます。図形の内側をドラッグすると、移動することができます。

録音モードを使う

［表示］→［録音］をタップすると、「録音モード」に切り替わります。録音モードでの操作は、メモの場合と同様です。122ページの「メモの新規入力」をご覧ください。

Pocket Word ファイルの交換について

Pocket Wordで作成したファイルをメールで送信したり、本機とパソコンを接続してパソコンに転送することができます。

Pocket Word ファイルの電子メールでの送信について

ファイルリスト画面で送信したいファイルをタップしたまま押さえ、ポップアップメニューから［電子メールで送信］を選択すると、受信トレイが起動して、そのファイルを添付ファイルとする新規の送信メッセージが作成されます。
ファイルを電子メールに添付して送信する場合は、次のことにご注意ください。

- 送信する相手の環境に応じて、ファイルを適切な形式で保存した上で送信してください。Pocket Wordでファイルを保存する際に、okをタップせずに［ツール］→［文書に名前を付けて保存］を選ぶと、必要に応じてWord形式（.doc）やリッチテキスト形式（.rtf）、テキスト形式（.txt）などで保存することができます。okをタップして保存した場合はPocket Word形式（.psw）で自動的に保存されますが、この形式はパソコン上のWordではバージョンによって読み込むことができない場合があります。
- Pocket Wordのファイルリスト上では、保存形式に応じて各ファイルは以下のように表示されます。

  …….. Pocket Word形式（.psw）、Word 97/98J/2000形式（.doc）、Word 6.0/95形式（.doc）
  …….. テキスト形式（.txt）
  …….. Word 97/98J/2000テンプレート形式（.dot）、Word 6.0/95テンプレート形式（.dot）

  ファイル形式を確認したい場合は、一度そのファイルを開いた上で、［ツール］→［文書に名前を付けて保存］をタップしてください。［名前を付けて保存］ダイアログの［種類］欄に表示されている形式が、そのファイルの保存形式です。

- 電子メールの送信を行うためには、自分用のメールアドレスの取得や、本機の受信トレイの設定などが必要です。詳しくは、84ページの「3-2 メールの送受信を行うには」をご覧ください。

パソコンとの間でのファイル交換について

Pocket Wordで作成した文書は、標準ではPocket Word形式（.psw）で保存されます。本機とパソコンを接続し、ActiveSyncを使ってPocket Word形式の文書をパソコンに転送すると、自動的にWord形式（.doc）に変換されます。逆にパソコン上のWord文書は、本機に転送するとPocket Word形式に変換されます。

MEMO

- 本機で作成したPocket Word文書をパソコンに転送した場合は、すべての書式情報は変換後も維持されます。ただし、パソコン上で作成したWord文書を本機に転送した場合は、以下のような制約があります。
  - フォントや文字種（ボールド、イタリックなど）の主な書式情報は維持されますが、ページ設定情報や脚注、罫線などの情報は変換時に削除されます。
  - Word文書に保存されているマクロやハイパーリンクは、変換時に削除されます。
  - Word文書に挿入してあったExcelワークシートなどのオブジェクトは、図に変換されます。
- 本機とパソコン間でのデータ交換について詳しくは、ActiveSyncのオンラインヘルプをご覧ください。

5-3 Pocket Excel

「Pocket Excel」は、基本的な四則演算から豊富な内蔵関数を利用した高度な計算まで行うことができる表計算プログラムです。出張時の旅費／経費レポートを作ったり、商品情報のデータベースを作っておいて持ち歩くなど、さまざまな利用法が考えられます。また、パソコン上のExcelファイルとの間でデータを交換することもできます。

MEMO

- Pocket Excelで作成したファイルは「ブック」とも呼びます。
- 本節では、Pocket Excelの使い方の基本的な部分のみを説明します。Pocket Excelの各種操作について詳しくは、ヘルプをご覧ください。
- Pocket Excelから開くことが可能なのは、本機のメインメモリ上の「My Documents」フォルダ内のファイル、およびメモリカード上の「My Documents」フォルダ内のファイルです。「My Documents」フォルダ外に置いてあるファイルは、リスト画面に表示されず、開くことはできません。57ページの「メモリカード上のファイルの利用について」もご覧ください。

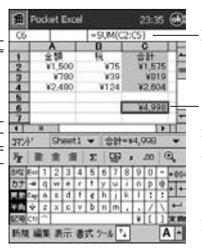
Pocket Excelの概要

ファイルリスト画面について

→［プログラム］→［Pocket Excel］をタップしてPocket Excelを起動すると、はじめにファイルリスト画面が表示されます。ファイルリスト画面では、ファイル名の変更やファイルの複製、削除などの操作を行うことができます。
※ファイルリスト画面上での操作は、基本的にPocket Wordの場合と同様です。

Pocket Excelの画面構成

Pocket Excelのファイル（ブック）は、以下のような画面構成になっています。



- ツールバーの各ボタンを使うと、現在選択されているセルに対する書式設定などを行うことができます。
- ステータスバーの「Sheet1」という部分をタップすると表示されるメニューで、シートの切り替えができます。

テンプレートの利用について

Pocket Excelで新規のファイルを作成する際には、あらかじめ用意されている「出張メモ」や「走行距離記録」、「家計簿」などのテンプレートを利用することができます。例えば「出張メモ」のテンプレートを使いたい場合は、次のように操作します。

1. Pocket Excelのファイルリスト画面で［ツール］→［オプション］をタップします。
   - オプション画面が表示されます。

2. ［新しいブックのテンプレート］欄の▼をタップし、「出張メモ」を選択します。
   - 選択したらokをタップして、オプション画面を閉じます。

3. ［新規］をタップします。
   - 「出張メモ」のテンプレートが開きます。



4. ［ツール］→［ブックに名前を付けて保存］をタップします。
   - 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されますので、名前を入力したうえで［OK］をタップします。入力した名前で、ファイルが保存されます。

5. 画面上で、日程や目的地、宿泊先などを入力します。
   - 入力が済んだらokをタップして、画面を閉じます。手順4で名前を付けたファイルに対して上書き保存され、ファイルリスト画面に戻ります。

MEMO

次回以降は、［新規］をタップするごとに、「出張メモ」のテンプレートが開きます。元に戻したい場合は、オプション画面の［新しいブックのテンプレート］欄で「空白のブック」を選択しなおしてください。

Pocket Excel利用上のヒント

画面の表示について

- できるだけ画面を広く使いたい場合は、［表示］→［全画面表示］をタップします。ツールバーやスクロールバーなどがすべて隠れた状態となり、以下の画面のように画面全体を使って表を表示することができます。なお、元の表示に戻すには、画面右上の［元に戻す］をタップします。



- 全画面表示以外にも、画面上の各要素の表示／非表示を個別に切り替えることもできます。［表示］メニューの［ツールバー］から［行列番号］までの各項目は、タップするごとに各項目の表示／非表示を切り替えます。
- ［表示］→［ウィンドウ枠の固定］を使うと、画面をスクロールしても行／列の一部を固定しておくことができます。例えば右上の画面の1行目だけを固定して、下スクロールしても常に表示させておくといったことが可能です。

ファイルへのパスワード設定について

［編集］→［パスワード］をタップしてパスワードを設定すると、次回そのファイルを開く際にパスワード入力が必要となり、ファイルを保護することができます。他人の閲覧を制限したいファイルには、パスワードを設定しておくと良いでしょう。

Pocket Excelファイルの交換について

Pocket Excelで作成したファイルをメールで送信したり、本機とパソコンを接続してパソコンに転送することができます。

Pocket Excelファイルの電子メールでの送信について

ファイルリスト画面で送信したいファイルをタップしたまま押さえ、ポップアップメニューから［電子メールで送信］を選択すると、受信トレイが起動して、そのファイルを添付ファイルとする新規の送信メッセージが作成されます。
ファイルを電子メールに添付して送信する場合は、次のことにご注意ください。

- 送信する相手の環境に応じて、ファイルを適切な形式で保存した上で送信してください。Pocket Excelでファイルを保存する際に、okをタップせずに［ツール］→［ブックに名前を付けて保存］を選ぶと、必要に応じてExcel形式（.xls）などで保存することができます。okをタップして保存した場合はPocket Excel形式（.pxl）で自動的に保存されますが、この形式はパソコン上のExcelではバージョンによって読み込むことができない場合があります。

- Pocket Excelのファイルリスト上では、保存形式に応じて各ファイルは以下のように表示されます。

  .... Pocket Excel形式（.pxl）、Excel 97/2000形式（.xls）、Excel 5.0/95形式（.xls）

  .... Pocket Excelテンプレート形式（.pxt）、Excel 97/2000テンプレート形式（.xlt）、Excel 5.0/95テンプレート形式（.xlt）

  ファイル形式を確認したい場合は、一度そのファイルを開いた上で、［ツール］→［ブックに名前を付けて保存］をタップしてください。［名前を付けて保存］ダイアログの［種類］欄に表示されている形式が、そのファイルの保存形式です。

- 電子メールの送信を行うためには、自分用のメールアドレスの取得や、本機の受信トレイの設定などが必要です。詳しくは、84ページの「3-2 メールの送受信を行うには」をご覧ください。

パソコンとの間でのファイル交換について

Pocket Excelで作成したファイルは、標準ではPocket Excel形式（.pxl）で保存されます。本機とパソコンを接続し、ActiveSyncを使ってPocket Excel形式のファイルをパソコンに転送すると、自動的にExcel形式（.xls）に変換されます。逆にパソコン上のExcelファイルは、本機に転送するとPocket Excel形式に変換されます。

MEMO

- 本機で作成したPocket Excelファイルをパソコンに転送した場合は、すべての書式情報は変換後も維持されます。ただし、パソコン上で作成したExcelファイルを本機に転送した場合は、以下のような制約があります。
  - 罫線は、すべて標準の罫線（1本線）に変換されます。
  - グラフやマクロシート、VBAモジュール、ダイアログシートはすべて空白のワークシートに置き換えられます。
  - Pocket Excelでサポートされていない式は、値に変換されます。
  - アドイン、描画オブジェクトやOLEオブジェクト、グラフ、シートやブックの保護、ハイパーリンク、オートフィルタなどの情報は、変換時にすべて削除されます。
- 本機とパソコン間でのデータ交換について詳しくは、ActiveSyncのオンラインヘルプをご覧ください。

5-4 Windows Media Player

Windows Media Playerは、音楽再生を行うためのプログラムです。一般的なMP3形式、またはWindows Media Audio形式のオーディオファイルを再生できます。本機にこれらの形式のファイルを転送するためには、Windows 98,Windows 2000, Windows Meがインストールされているパソコンに Windows Media Player 7.0 以降をインストールした上で、本機とパソコンを接続する必要があります。

MEMO

- Windows Media Playerは、下記の場所より、入手して頂くことが可能です。
  - ■マイクロソフト Windows Media ホームページ(平成12年11月現在)
    ※ Windows Media Playerの詳細についてもこちらをご覧ください。
    ※ 最新の機能をお楽しみいただくためにバージョンは更新される可能性があります。
    http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/
  - ■各種コンピュータ関連雑誌媒体 付録添付
    ※ 詳細については、各雑誌媒体をご確認ください。
  - ■Windows Me に標準機能として搭載
- Windows Media Playerの各種操作については、本機のヘルプもご覧ください。
- Windows Media Playerから開くことが可能なのは、本機のメインメモリ上の「My Documents」フォルダ内のファイル、およびメモリカード上の「My Documents」フォルダ内のファイルです。「My Documents」フォルダ外に置いてあるファイルは、リスト画面に表示されず、開くことはできません。57ページの「メモリカード上のファイルの利用について」もご覧ください。

プレーヤー画面の操作

→［Windows Media Player］をタップしてWindows Media Playerを起動すると、以下のようなプレーヤー画面が表示されます。画面上の各ボタンを使って、CDプレーヤーなどと同じ要領で操作できます。



MEMO

Windows Media Playerで曲の再生を開始すると、他のプログラムに切り替えても、再生は継続されます。

再生リストを使う

再生リストを使うと、再生する曲のセットを作ったり、セットの中の曲の順番を変えたりすることができます。

新規の再生リストを作成するには

1. プレーヤー画面で［再生リスト］をタップします。



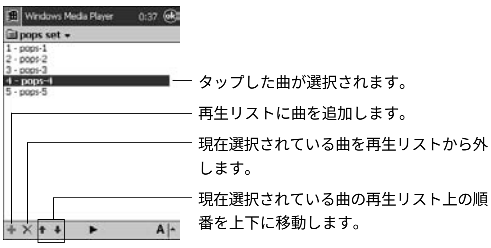
2. 画面左上の［再生リスト選択］ボタンをタップし、［すべての再生リスト］をタップします。
- 「すべての再生リスト」画面が表示されます。

3. ［新規作成］ボタンをタップします。

4. 再生リストの名前を入力した上で、［↵］をタップします。
- 「トラックの追加」画面が表示されます。

5. 再生リストに追加したい曲にチェックを付けた上で、ok をタップします。

6. 必要に応じて曲の順番の変更などを行います。

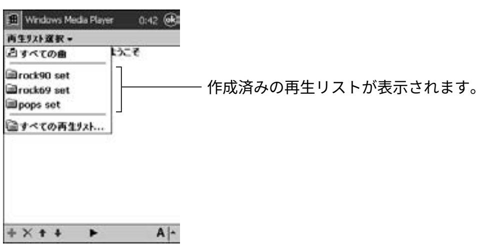


7. ok をタップすると、元のプレーヤー画面に戻ります。
- 新規に作成した再生リストが、プレーヤー画面の左上に表示されます。
- ok の代わりにコマンドバーの ▶ をタップすると、プレーヤー画面に戻り、現在選択されている曲の再生が開始されます。

再生リストを選ぶには

1. プレーヤー画面で［再生リスト］をタップします。

2. 画面左上の［再生リスト選択］ボタンをタップし、使いたい再生リスト名をタップします。



- すべての曲を再生したい場合は、［すべての曲］をタップします。

3. ok をタップして元のプレーヤー画面に戻ります。
- 選択した再生リストが、プレーヤー画面の左上に表示されます。

5-5 ビデオ再生関連プログラム

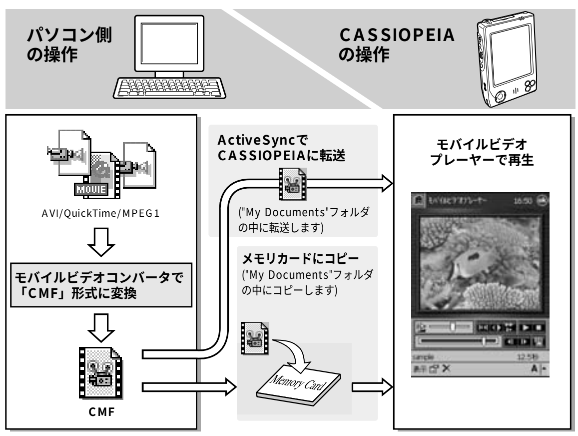
ここでは、本機でCMF形式の動画を再生することができる「モバイルビデオプレーヤー」、パソコン上でCMF形式の動画を再生できる「モバイルビデオプレーヤー for PC」、およびパソコン上でAVIなどの一般的な動画ファイルをCMF形式に変換する「モバイルビデオコンバータ」について簡単に説明します。

MEMO

- モバイルビデオプレーヤー、モバイルビデオプレーヤー for PC、モバイルビデオコンバータの各プログラムについての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。
- モバイルビデオプレーヤーから開くことが可能なのは、本機のメインメモリ上の「My Documents」フォルダ内のファイル、およびメモリカード上の「My Documents」フォルダ内のファイルです。「My Documents」フォルダ外に置いてあるファイルは、リスト画面に表示されず、開くことはできません。57ページの「メモリカード上のファイルの利用について」もご覧ください。

モバイルビデオプレーヤー

このソフトは、オリジナルフォーマット「CMF」形式の動画ファイルの再生を行うことができるビデオプレーヤーソフトです。

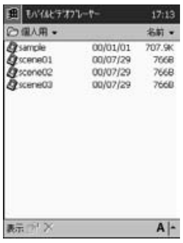


- ActiveSync については、第 7 章をご覧ください。
- メモリカード（マルチメディアカード）については、57 ページをご覧ください。
- メモリカード（マルチメディアカード）は、市販品を別途ご購入ください。また、パソコンでのメモリカードの利用については、お持ちのパソコンに付属の説明書をご覧ください。

◆ご注意◆
個人で楽しむ場合などのほかは、画像／動画フォーマットファイル、音声／音楽フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。　また、これらのファイルを有償・無償に係わらず権利者に無断でネット上に掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁じられています。

動画ファイルを再生するには

本ソフトを起動すると、ファイルリスト画面が表示され、本ソフトで再生することができる動画ファイル（CMFファイル）が一覧表示されます。ファイルリスト上で再生したいファイルをタップするとファイルが開き、再生画面が表示されます。


ファイルリスト画面

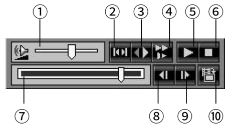

再生画面

- 再生を開始するには ▶ ボタンをタップするか、アクションコントロールを押します。
- 再生を途中で停止するには、■ ボタンをタップするか、アクションコントロールを押してください。

ファイルリスト画面に戻るには、ok ボタンをタップしてください。

再生画面上での各種操作

再生画面では、画面下部の操作パネルを使った各種の再生操作を行うことができます。再生音の音量調節や、動画ファイルからの静止画のキャプチャも可能です。



① つまみをドラッグして音量を調節します。
② 動画ファイルの先頭または末尾にジャンプします。順再生中は先頭に、逆再生中は末尾にジャンプします。
③ 再生する方向を切り替えます。逆再生ができない動画ファイルの場合は、このボタンは動作しません。
④ 高速再生や、スロー再生などの変速再生を行います。再生スピードは、［表示］メニューの［オプション］をタップすると表示されるダイアログ上で行います。変速再生ができない動画ファイルの場合は、このボタンは動作しません。
⑤ 標準スピードでの再生が開始されます。
⑥ 再生を停止します。
⑦ 再生中の動画の現在の位置を表示します。また、つまみをドラッグすることで、再生位置を移動することができます。
⑧ 再生位置を前へ戻します。
⑨ 再生位置を先へ進めます。
⑩ 現在表示している動画のフレーム画像を、静止画として保存します。

モバイルビデオコンバータ　《CD-ROM》《PC 用》

モバイルビデオコンバータは、一般的な動画フォーマットのファイルを CASSIOPEIA上のモバイルビデオプレーヤーで再生できる形式のファイルに変換する、パソコン用のプログラムです。変換可能な動画フォーマットは、MPEG1、AVI、QuickTime™ の一部のファイルです。



変換できる動画フォーマット

本アプリケーションは下記の形式のファイル変換をサポートしていますが、動画の大きさや、データのタイプによっては下記の形式でも変換できないことがあります。
- ビデオタイプ：QuickTime、AVI、MPEG1
- Quicktime の CODEC：シネパック、Intel Indeo 3.2
- AVI の CODEC：シネパック、Intel Indeo 3.2、Microsoft RLE Codec、Microsoft Video 1

モバイルビデオプレーヤー for PC　《CD-ROM》《PC 用》

パソコン上で CMF ファイルを再生するプログラムです。このプログラムをインストールしておけば、CMFファイルをダブルクリックするだけで再生することができます。

［ファイル］メニューによる操作

開く .... CMF ファイルを開きます
再生 .... 再生を開始します
停止 .... 再生を停止します
先頭に戻る . ファイルの先頭に戻ります
すぐに再生 . ファイルを開くと同時に再生するようにします
繰り返し ..... 先頭から繰り返し再生するようにします
終了 .... プログラムを終了します

キーボードによる操作

SPACE .... 再生／停止
HOME .... 先頭へ戻る
END .... 最後へ移る
← .... 巻き戻し
→ .... 早送り



MEMO
モバイルビデオコンバータ、モバイルビデオプレーヤーfor PCのパソコンへのインストール方法などについて詳しくは、CASSIOPEIA CD-ROM 内のマニュアル（Readme.txt、PDF 書類など）をご覧ください。

5-6　Mobile Picture & Video Player

Mobile Picture & Video Playerを使うと、画像や動画の表示、管理を容易に行うことができます。

- 画像や動画をサムネイル付きのインデックス表示で一覧することができます。
- ファイル名や保存場所の変更、ファイルの一括移動など、各種のファイル操作を行うことができます。
- 静止画の 1 画像表示、動画再生、および静止画のスライドショー表示が可能です。
- 画像や動画をアルバム形式で管理し、ファイルごとにコメントを付けることもできるアルバム機能を備えています。

MEMO
- Mobile Picture & Video Playerについての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROM に含まれるドキュメントをご覧ください。
- Mobile Picture & Video Player から開くことが可能なのは、本機のメインメモリ上の「My Documents」フォルダ内のファイル、およびメモリカード上の「My Documents」フォルダ内のファイルです。「My Documents」フォルダ外に置いてあるファイルは、インデックス表示上に現れず、開くことはできません。57 ページの「メモリカード上のファイルの利用について」もご覧ください。

インデックス表示について

Mobile Picture & Video Player を起動すると、はじめにインデックス画面が表示されます。
インデックス画面では、［表示］メニューの［静止画］をタップすると静止画の、［動画］をタップすると動画のインデックス画面が表示されます。



静止画の場合は縮小画像が、動画の場合は最初のフレームの縮小画像が表示されます（この縮小画像を「サムネイル画像」と呼びます）。

ファイル名が表示されます。ファイル名の前の は メインメモリ上に、 はメモリカード上にあるファイルを表します。

インデックス画面上で表示したい静止画／動画のサムネイル画像をタップすると、その画像を表示することができます。

ここをタップすると、表示するフォルダを選択することができます。

静止画の表示

静止画インデックス画面でサムネイル画像をタップすると、その画像の「1 画像表示」に移行します。1 画像表示画面では、以下の操作を行うことができます。



1 画像表示画面

画像の表示サイズを変更できます。[表示] メニューの [表示画像サイズ] をタップし、[縮小] ／ [縮小なし] ／ [全画面] のいずれかをタップします。

縮小 .... 左の画面のように、画像全体を縮小して表示します。

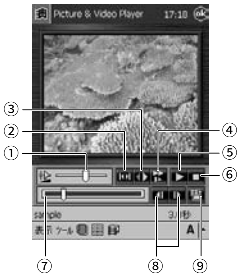
縮小なし .. 画像を原寸で表示します。画面上に表示しきれない部分は、スクロールして表示できます。

全画面 ...... タッチスクリーン全体を横位置に使って画像を表示します。

インデックス画面に戻るには、ok をタップします。

動画の表示

動画インデックス画面でサムネイル画像をタップすると、その動画の「動画再生画面」に移行します。動画再生画面では、以下の操作を行うことができます。



動画再生画面

① つまみをドラッグして音量を調節します。
② 動画ファイルの先頭または末尾にジャンプします。
③ 再生する方向を切り替えます。
④ 高速再生、スロー再生などの変速再生を行います。
⑤ 標準スピードでの再生が開始されます。
⑥ 再生を停止します。
⑦ つまみをドラッグして再生位置の移動ができます。
⑧ 再生位置を前後に移動します。
⑨ 現在表示している動画のフレーム画像を、静止画として保存します。

インデックス画面に戻るには、ok をタップします。

5-7 辞書

「辞書」は、三省堂監修の国語（50,000 語）・漢和（6,355 字）・英和（40,000 語）・和英（27,000 語）の 4 種類の辞書が利用できる、複合辞書ソフトです。電子辞書ならではの検索のすばやさをはじめ、さまざまな機能を備えています。



国語辞書



漢和辞書



英和辞書



和英辞書

→ [プログラム] → [辞書] をタップすると、辞書を起動することができます。

MEMO

辞書についての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

辞書を引くには

1. 辞書を起動します。
- 辞書の起動時には、まず辞書の「表紙画面」が表示されます。表紙をタップすると、「リスト画面」が表示されます（表紙画面のままでも検索を行うことはできます）。



リスト画面

2. 国 漢 英 和 のいずれかのボタンをタップして、辞書を選びます。

3. <検索文字>ボックスに、検索したい言葉を入力します。

<検索文字>ボックス
- 国語辞書〜ひらがなまたはカタカナを入力して、見出し語の読みで検索※するか、漢字を入力して検索できます。
- 漢和辞書〜漢字を入力して漢字項目から検索するか、ひらがな／カタカナを入力して音読み／訓読み項目から検索できます。数字を入力すると該当画数の漢字を検索できます。
- 英和辞書〜アルファベットを入力して見出し語で検索※します。
- 和英辞書〜ひらがなまたはカタカナを入力して見出し語で検索※します。



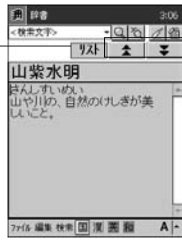
※ ワイルドカード
見出し語で検索する場合には、ワイルドカード（「?」および「*」）が利用できます。
- 「?」（半角クエスチョンマーク）は、任意の 1 文字を表します。例えば「まえ??」と入力した場合、「まえ」で始まる 4 文字の語句（「まえあし」、「まえがみ」など）を検索します。
- 「*」（半角アスタリスク）は任意の文字列を表します。例えば「まえ*」と入力した場合、文字数に関係なく「まえ」で始まる語句すべてを検索します。
- ワイルドカードは、文字列の先頭には使えません。

4. をタップします。
- 検索結果が表示されます。検索画面では、[検索中] タブが表示されます。検索で該当したデータが 1 件しかない場合は、詳細画面（手順 5 参照）になります。



検索画面

5. 検索画面に表示された語の詳細を表示するには、その語をタップしてください。
- その語に対応した詳細画面が表示されます。



詳細画面

6. 詳細画面を閉じるには、[リスト] をタップします。
- 元の画面（ここでは検索画面）に戻ります。

7. 検索状態を解除してリスト画面に戻るには、 をタップします。

MEMO

各辞書の「表紙画面」は、辞書を切り替えるたびに表示されます。「リスト画面」を表示するには、表紙をタップしてください。なお、検索は表紙画面のままでも行うことはできます。

出典について

1. 国語辞書は、「三省堂 現代国語辞典(市川孝・見坊豪紀・金田弘・進藤咲子・西尾寅弥編)」(株式会社三省堂発行・初版第４刷)に基づいて編集してあります。

2. 漢和辞書は、「三省堂ワープロ漢字辞典」(株式会社三省堂発行・初版第一刷)の意味と熟語に、「必携漢字辞典」(株式会社三省堂発行・初版第一刷)の内容を組み合わせて作成してあります。

3. 英和辞書は、「三省堂 ニューセンチュリー英和辞典(木原研三他編)初版」に基づいて編集してあります。ただし、以下の点が異なります。
   - ● 省略
     - •用例 ・見出し語中の重要語表示の記号(＊)、音節の区切りの記号(･)
     - •語形変化・説明的な記述の一部 ・語義内容の一部
   - ● 変更
     - •記号の一部・書体

4. 和英辞書は、「三省堂 新クラウン和英辞典(山田和男編)第５版」に基づいて編集してあります。ただし、以下の点が異なります。
   - ● 省略
     - •見出し語の用語の一部・成句の一部
   - ● 変更
     - •記号の一部・書体

収録してあります辞書は、株式会社三省堂の著作物であり、本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
なお、作成にあたっては株式会社三省堂のご協力を得て編集してあります。

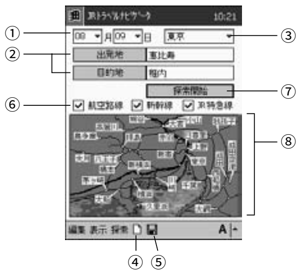
5-8 JRトラベルナビゲータ《CD-ROM》

「JRトラベルナビゲータ」は、交通機関の出発地と目的地を設定して、目的地までの最適乗継ルートを時刻表データに当てはめて検索するシステムです。

MEMO
JRトラベルナビゲータについての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

探索画面（入力画面）

JRトラベルナビゲータを起動すると、以下のような探索画面（初期画面）が表示されます。

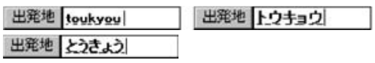


①出発日を指定します（JRのシーズン別特急料金の算出に使用します）。
②出発地・目的地を入力します。
③出発地・目的地を路線一覧から選択する場合には、地図を切り替えます。
④出発地、目的地をクリアします。
⑤現在の設定を既定値として保存します。
⑥利用する希望路線を選択します。
⑦探索を開始します。
⑧出発地・目的地を地図の駅をタップして選択したり、ブロック毎の周辺の交通機関からの駅を選択することがきます。

検索するには

1. 出発地を入力し、キーボードのEnterキーを押します。
- 出発地、目的地の入力には次のような方法があります。

①直接キーボードから入力
ローマ字、かな、カナのいずれかで入力し、Enterキーで文字を確定します。さらにもう一度Enterキーをタップすると、駅名が入力されます。



※ 駅名の先頭文字や、同じ読み方をする駅が複数ある場合は、候補の駅名が「駅選択」画面に表示されるので、目的の駅名をタップして選択します。

②路線一覧より駅を選択する
探索画面右側にある地域別のボタンをタップし、地図を切り替えます。切り替えた地図の駅以外の場所をタップすると、その周辺の路線一覧が表示されます。
表示された路線一覧より目的の駅名をタップして選択します。

③「かな入力」を使う
［探索］→［かな入力］をタップすると表示されるキーボードで駅名をひらがなで入力し、［検索］をタップします。表示される「駅選択」画面から、目的の駅名をタップして選択します。

2. 手順１と同じ要領で目的地を入力します。

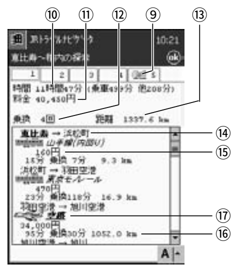
3. 希望する交通手段[航空路線、新幹線、ＪＲ特急線]を指定します。

4. 内容を確認し、［検索開始］をタップします。

5. 探索が開始され、「探索結果」が表示されます。

探索結果（出力画面）

探索を開始すると、以下のような探索結果画面が表示されます。



⑨探索結果：出発日時（あるいは到着日時）と時刻表を考慮した最適経路が順に表示されます。タブ表示の数 ＝ 探索数（1～5）は、探索画面の［表示］→［オプション］で設定します。
タブのマーク → ¥…料金が一番安いもの　…乗り換えが一番少ないもの
⑩所要時間：全体の所用時間です。実際に乗車している時間が「乗車」、乗り換え時間＋待ち時間が「他」に、それぞれ分単位で表示されます表示されます。
⑪総費用：探索された経路にかかる運賃の合計が表示されます。
⑫乗換え回数：乗車する交通機関の乗換え回数が表示されます。
ご注意：乗入れなどの場合により、正しく表示されない場合があります。
⑬合計距離：経路全体の合計距離が表示されます。
ご注意：経路により正しく表示されない場合があります。
⑭出発時刻変更：出発地のアンダーラインをタップすると、検索時に設定した時刻を変更することができ、変更すると再度時刻等を算出し、検索結果を表示します。
⑮区間所要時間・区間距離・区間料金：各区間ごとの所要時間、距離、料金が表示されます。
ご注意：経路により正しく表示されない場合があります。
⑯時刻表・途中駅：航空路線や新幹線、JR特急などのアンダーラインをタップすると、時刻表と途中駅を参照することができます。その時刻表から、別の列車名をダブルタップで選択すると、その列車で再度時刻等を算出し、検索結果を表示します。また、「途中駅」ボタンをタップすると、その列車の途中駅を参照することができます。
⑰到着時刻変更：目的地のアンダーラインをタップすると、検索時に設定した時刻を変更することができ、変更すると再度時刻等を算出し、検索結果を表示します。

ok をタップすると、検索結果画面を終了し、検索画面に戻ります。

5-9　携帯ほいほい《CD-ROM》

「携帯ほいほい」は、デジタル携帯電話（PDC方式）に登録してある電話番号データ（メモリダイヤル）を本機にバックアップしたり、本機で編集することができるプログラムです。また、本機と携帯電話との間で電話番号データを同期したり、本機でショートメッセージを作成して携帯電話から送信することができます。

MEMO
- 「携帯ほいほい」をご使用になるには、デジタル携帯電話接続ケーブルJK-530CAが必要です（JK-510CAで接続しても、「携帯ほいほい」を使用することはできません）。
- 「携帯ほいほい」についての詳細は、付属のCASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

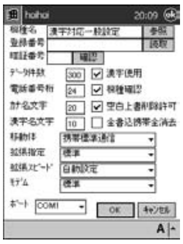
携帯ほいほいの初期設定

はじめて携帯ほいほいを利用する際には、以下の手順で初期設定を行います。操作を始める前に、本機と携帯電話のバッテリー残量が十分なことをご確認ください。

1. 本機と携帯電話を接続します。
- 携帯電話と本機の接続については、27ページをご覧ください。
- 接続したら、携帯電話と本機の電源を入れます。携帯電話は待ち受け状態にしてください。

2. [スタート] →［プログラム］→［携帯ほいほい］の順にタップし、携帯ほいほいを起動します。

3. ［設定］メニューから［環境設定］を選びます。
- 以下のような画面が表示されます。



4. 画面上の各項目を、本機と接続している携帯電話に合わせて設定します。
- 各設定項目についての詳細は、CASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

メモリダイヤルの読み取り（バックアップ）と書き戻し

携帯電話に登録したメモリダイヤルを本機に読み取り（バックアップ）したり、バックアップしたデータから携帯電話に書き戻すことができます。

◆ご注意◆
本機と携帯電話の間でデータの転送を行う際には、以下の点にご注意ください。
- データの転送を行う前に、本機と携帯電話のバッテリー残量が十分なことをご確認ください。
- データの転送中は、携帯電話は必ず待ち受け状態としてください。
- データの転送中は、携帯電話のボタンやスイッチ類の操作は一切行わないでください。

携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み取るには

1. 本機と携帯電話を接続した上で、携帯ほいほいを起動します。

2. ［接続］メニューから［全読取（←携帯）］を選びます。

3. ［全読取］ダイアログが表示されたら、内容を確認し［OK］をタップします。
- 携帯電話から本機への読み取りが開始されます。データの読み取り中は、読み取り状況を示すダイアログが表示されます。
- 読み取りが完了すると、読み取ったメモリダイヤルが画面上に一覧表示されます。最後までデータが読み込めたかをご確認ください。

4. ［ツール］メニューから［名前を付けて保存］を選びます。
- ［名前を付けて保存］ダイアログが表示されますので、ファイル名と保存場所を指定した上で［OK］をタップしてください。
- 操作が済んだ後は、必要がない場合は携帯電話を本機から取り外してください。

MEMO
- 読みとったデータは、「携帯ほいほい」ファイル（.pb3）として保存されます。

- 「携帯ほいほい」ファイルは、そのまま携帯電話への書き戻しができるだけでなく、メモリダイヤルデータの追加や編集、削除などを行うことも可能です。これらの操作については、CASSIOPEIA CD-ROMに含まれるドキュメントをご覧ください。

本機に読み取ったメモリダイヤルを携帯電話に書き戻すには

1. 本機と携帯電話を接続した上で、携帯ほいほいを起動します。

2. 携帯電話に書き戻したい携帯ほいほいファイル（.pb3）を開きます。
- ［ツール］メニューから［開く］を選び、携帯電話に書き戻したいファイルを選択してください。

3. ［接続］メニューから［全書込（→携帯）］を選びます。

4. ［全書込］ダイアログが表示されたら、内容を確認し［OK］をタップします。
- 本機から携帯電話へのデータの書き込みが実行されます。
- 操作が済んだ後は、必要がない場合は携帯電話を本機から取り外してください。

◆ご注意◆
- 携帯電話の機種によっては、上記の操作によってデータの書き戻しができない場合があります。携帯電話の画面表示もご確認ください。

第 6 章

ファイル操作と赤外線通信

6-1　ファイルの操作

ファイルの操作について

本機には、メインメモリやメモリカード上のファイルに対する各種操作を行うための「ファイルエクスプローラ」が内蔵されています。ファイルエクスプローラを使うと、以下のようなことができます。

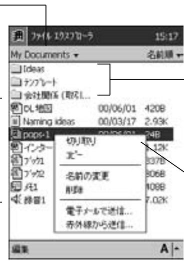
- 新規フォルダの作成
- ファイル／フォルダの削除、移動、コピー
- ファイル／フォルダ名の変更
- 受信トレイを使ったファイルの送信
- 赤外線通信を使ったファイルの送信

MEMO
- ファイルエクスプローラの操作については、ヘルプもご覧ください。

ファイルエクスプローラの使い方

→［プログラム］→［ファイルエクスプローラ］をタップしてファイルエクスプローラを起動すると、はじめに本機のメインメモリのMy Documentsフォルダ内のファイル／フォルダが一覧表示されます。

ここをタップして、現在表示中の階層より上の階層に移動することができます。



フォルダをタップすると、そのフォルダ内が表示されます。

ファイルをタップすると、そのファイルと関連付けられているアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

ファイル／フォルダをタップしたまま押さえるとポップアップメニューが表示され、そのファイル／フォルダに対する各種操作を行うことができます。

MEMO
- 一部のシステムファイルなどは、ファイルエクスプローラ上には表示されません。こうしたファイルは、ActiveSyncを使ってパソコン上から見ることができます。
- ファイルエクスプローラ上では、ファイルの拡張子を見ることはできません。またサイズの大きいファイルでは、ファイルサイズが表示しきれない場合があります。
  - ファイルの拡張子や、ファイルエクスプローラ上で表示できないファイルサイズを確認したい場合は、本機をパソコンと接続し、ActiveSyncのエクスプローラをご利用ください。ActiveSyncの操作については、ActiveSyncのオンラインヘルプをご覧ください。
  - また、本機上で確認したい場合は、受信トレイのメッセージ作成画面で をタップすると表示されるファイルリスト上の「サイズ」と「種類」で見ることができます。受信トレイの操作については、ヘルプをご覧ください。

新規フォルダを作成するには

1. フォルダを作成したい階層を表示します。

2. ［編集］→［新しいフォルダ］の順にタップします。



- 新規フォルダが作成され、フォルダ名の入力待機状態になります。

3. フォルダ名を入力し、［↵］をタップします。

ファイル／フォルダを複製するには

複製の操作は、ファイル、フォルダのいずれの場合も同じです。以下の手順中ではファイルの場合で説明します。

1. 複製したいファイルをタップしたまま押さえます。
- ポップアップメニューが表示されます。

2. ポップアップメニューから［コピー］をタップします。
- ファイルが複製元として指定されます。

3. 複製先の階層を表示します。

4. ［編集］→［貼り付け］をタップします。



- 複製元として指定したファイルが、現在表示中の階層に複製されます。

MEMO
- 複製元のファイルがあった階層で［貼り付け］の操作を行った場合は、同じ階層に元のファイルの複製が作成されます。このとき、複製のファイル名には、元の名前に「コピー～」が付加されます。
- ファイルの［コピー］の操作後、他のファイルの［コピー］または［切り取り］の操作を行うまでは、何度でも繰り返し［貼り付け］の操作による同一ファイルの複製を行うことができます。

ファイル／フォルダを移動するには

移動の操作は、ファイル、フォルダのいずれの場合も同じです。以下の手順中ではファイルの場合で説明します。

1. 移動したいファイルをタップしたまま押さえます。
- ポップアップメニューが表示されます。

2. ポップアップメニューから［切り取り］をタップします。
- ファイルのアイコン表示が淡くなります。

3. 移動先の階層を表示します。

4. ［編集］→［貼り付け］をタップします。
- 元の階層から、現在表示中の階層へ、ファイルの移動が実行されます。

MEMO
- フォルダを移動した場合は、フォルダ内のすべてのファイル／フォルダも同時に移動されます。
- ファイルの［切り取り］の操作後、［貼り付け］の操作は1度だけ行うことができます。コピーの場合のように、繰り返し［貼り付け］の操作を行うことはできません。

ファイル名／フォルダ名を変更するには

1. 名前を変更したいファイルまたはフォルダをタップしたまま押さえます。
- ポップアップメニューが表示されます。

2. ポップアップメニューから［名前の変更］をタップします。
- 名前の入力ができる状態になります。

3. 新しい名前を入力し、［↵］をタップします。

ファイル／フォルダを削除するには

1. 削除したいファイルまたはフォルダをタップしたまま押さえます。
- ポップアップメニューが表示されます。

2. ポップアップメニューから［削除］をタップします。
- 削除して良いかを確認するダイアログが表示されます。
- フォルダの削除の場合は、フォルダ内のすべてのファイル／フォルダが削除されますのでご注意ください。

3. 削除して良い場合は、［はい］をタップします。
- 削除をキャンセルする場合は、［いいえ］をタップしてください。

◆ご注意◆
一度ファイルやフォルダの削除を実行した後で、削除を取り消すことはできません。

ファイルを電子メールで送信するには
電子メールに添付するファイルをファイルエクスプローラからの操作で指定し、受信トレイから送信するための送信メッセージを作成することができます。

MEMO
電子メールを利用するには、あらかじめ各種の設定が必要です。詳しくは「3-2 メールの送受信を行うには」（84 ページ）をご覧ください。

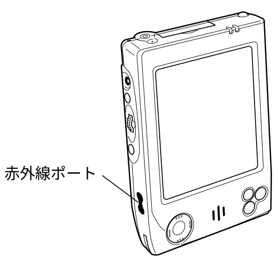
1. 電子メールで送信したいファイルをタップしたまま押さえます。
- ポップアップメニューが表示されます。

2. ポップアップメニューから［電子メールで送信］をタップします。
- 受信トレイが起動し、指定したファイルを添付ファイルとした送信メッセージの新規作成画面が表示されます。
- この後の操作については、「メールの送受信」（93 ページ）をご覧ください。

ファイルを赤外線通信で送信するには
ファイルエクスプローラからの操作で、赤外線通信を利用した本機からもう一台の本機または他の Pocket PC へのファイルの送信を行うことができます。
赤外線通信を使ったファイルの送受信については、次ページの「6-2 赤外線通信」をご覧ください。

6-2　赤外線通信

赤外線通信について
本機は赤外線ポートを備えており、本機同士、または本機と本機以外のPocket PCの間で、赤外線通信によるデータ（連絡先や予定表などに登録した個々の項目や、Pocket Word などで作成し保存したファイル）の転送を行うことができます。また、本機とパソコンの間での赤外線通信を利用したデータの転送や同期を行うことも可能です。



MEMO
本節では、本機同士の間での赤外線通信の操作について説明します。
赤外線通信を利用した本機とパソコン間でのデータの転送や同期のしかたについては、ActiveSyncのオンラインヘルプをご覧ください。ActiveSync については、第7 章の「パソコンとの接続」をご覧ください。

データ転送の操作について
ここでは、2台の本機を使った場合の赤外線通信によるデータ転送について説明します。データの転送を行うには、送信側の本機と、受信側の本機で、それぞれ異なる操作を行います。

◆ご注意◆
本機に携帯電話やPHSを接続して通信中の場合や、本機をパソコンにケーブル接続している場合は、赤外線通信を行うことはできません。赤外線通信を行う際は、あらかじめ本機のシリアルコネクタに接続しているケーブルを外しておいてください。

データを転送するには
データの転送は、次の手順で行います。

1. 2 台の本機の赤外線ポートを向かい合わせます。
- 2 台の間隔が 20cm 以内になるようにしてください。

2. 送信側の本機で、送信したいデータ項目またはファイルをタップしたまま押さえ、ポップアップメニューから［赤外線から送信］をタップします。
- データの送信操作は、データを作成したプログラム、またはファイルエクスプローラから行うことができます。送信の操作について詳しくは、次ページの「データの送信操作について」をご覧ください。

3. 受信側の本機で、 →［プログラム］→［赤外線受信］をタップします。
- データの転送が開始されます。転送中は、画面に転送中の表示が出ます。
- 受信の操作について詳しくは、167 ページの「データの受信操作について」をご覧ください。

4. 転送が完了すると、送信側、受信側の両方の画面に、転送完了を示す画面が表示されます。
- 画面上の［閉じる］をタップしてください。

データの送信操作について
赤外線通信を使ったデータの送信は、以下のいずれかの方法で行います。

- 送信したいデータ／ファイルを作成したプログラムから送信する方法。
  予定表、連絡先、仕事の各データ、およびメモ、Pocket Word、Pocket Excel で作成したファイルの送信を、各プログラムから行うことができます。

- ファイルエクスプローラから送信する方法。
  本機のメインメモリやメモリカード上に保存されているファイルを送信することができます。

●各プログラムから送信する場合の操作

1. 送信を行いたいプログラムを起動します。
- 例えば連絡先のデータを送信したい場合は、 →［連絡先］をタップして連絡先を起動します。

2. 送信したいデータをタップしたまま押さえます。

画面は連絡先の
場合の例です。



3. ポップアップメニューから［赤外線から送信］をタップします。

●ファイルエクスプローラから送信する場合の操作

1. ファイルエクスプローラを起動します。

2. 送信したいファイルをタップしたまま押さえます。

3. ポップアップメニューから［赤外線から送信］をタップします。

◆ご注意◆
- フォルダを赤外線から送信することはできません。
- ファイルエクスプローラから送信できるのは、ファイルのみです。連絡先、予定表、仕事の各データを送信したい場合は、それぞれのプログラムから行ってください。

データの受信操作について

赤外線通信を使ったデータの受信は、以下のいずれかの操作によって行うことができます。

- [スタートアイコン] →［プログラム］→［赤外線受信］をタップする。
- 赤外線通信を使ったデータ（またはファイル）の送信が可能なプログラム上で、［ツール］→［赤外線から受信］をタップする。

MEMO
上記のどちらの操作でも、受信するデータ／ファイルの種類に関係なく受信を行うことができます。

第 7 章

ActiveSync について

7-1　ActiveSync とは

Microsoft ActiveSync は、本機（Pocket PC）とパソコンを接続して連携利用するための、パソコン用のプログラムです。ActiveSync は、付属の ActiveSync CD-ROM に収録されています。

MEMO
本章では、ActiveSync の概要を説明します。ActiveSync の使い方などについては、ActiveSync をパソコンにインストールした上で、ActiveSync のヘルプをご覧ください。

ActiveSync でできること

ActiveSync をインストールしたパソコンに本機を接続することによって、次のようなことが可能となります。

- 本機の Pocket Outlook（102 ページ）のデータと、パソコン上の Microsoft Outlook（または Microsoft Schedule +）のデータの同期を行うことができます。同期を行うことによって、本機とパソコンの両方のデータを、常に最新の状態に保っておくことが可能となります。
- 本機で作成した Pocket Word や Pocket Excel のファイルも、パソコンとの間で同期できます（パソコン上では Word、Excel のファイルになります）。ファイルの変換は、ActiveSync によって自動的に行われます。どのファイルを同期するかは、簡単に指定することができます。
- 本機の全データのバックアップをパソコン上に作成することができます。また、バックアップしたデータから、本機にリストアすることができます。
- パソコン側から本機のファイルやフォルダの操作を行ったり、各種のファイルを本機とパソコンの間でコピーすることができます。
- 同期をいつ、どのように行うかを設定することができます。例えば、パソコンと接続すると常に自動的に同期が行われるように設定したり、自分で意図的に同期を実行するときにだけ同期が行われる、といった設定が可能です。また、予定表のデータは最近 1ヶ月分だけを同期する、と言った指定もできます。

MEMO
初期設定では、ActiveSync はすべてのタイプ／すべての期間のデータを同期するようには設定されていません（例えば電子メールのデータは、初期設定では同期されるようになっていません）。どのデータを同期するかは、ActiveSync のオプション設定を使って指定してください。

ActiveSync のインストールについて

ActiveSyncは、Windowsが稼働しているパソコンにインストールすることができます。

- ActiveSyncをインストールすることができるパソコンの条件について詳しくは、19 ページの「接続の可能なパソコンについて」をご覧ください。
- ActiveSyncのインストール方法については、ActiveSync CD-ROMに付属の小冊子をご覧ください。

7-2　本書中の ActiveSync 関連事項について

ここでは、本書中での ActiveSync に関連した事項の掲載場所をまとめました。

第 1 章
- パソコンとの接続について（19 ページ）
  本機とパソコンのさまざまな接続方法について説明しています。

第 3 章
- パソコン上の Internet Explorer との連携利用について（83 ページ）
  パソコン上の Internet Explorer を使ってダウンロードしたホームページのデータなどを、本機に内蔵されている Pocket Internet Explorer で閲覧するためのさまざまな方法を紹介しています。
- パソコン上の受信トレイとの同期について（100 ページ）
  パソコン上の（Outlook や Microsoft Exchange などの）受信トレイと、本機の受信トレイの間での、メッセージの同期について紹介しています。

第 4 章
- PIM 機能の概要（102 ページ）
  本機の Pocket Outlook（予定表、連絡先、仕事、受信トレイ）のデータと、パソコン上の Microsoft Outlook（または Microsoft Schedule ＋）のデータの同期について紹介しています。

第 5 章
- プログラムの追加について（127 ページ）
  本機へのプログラムの追加に関する概要説明があります。
- Pocket Word ファイルの交換について（132 ページ）
  本機の Pocket Word とパソコン上の Word の間でのファイルの互換性などについて説明しています。

- Pocket Excel ファイルの交換について（137 ページ）
  本機の Pocket Excel とパソコン上の Excel の間でのファイルの互換性などについて説明しています。

第 8 章
- ［接続］タブ内の各設定項目について（176 ページ）
  本機をパソコンと接続して通信を行う際の本機上の設定は、ここで説明されている［PC］アイコンを利用します。

補足情報
- パームサイズ PC のデータを本機に転送するには（188 ページ）
  現在パームサイズ PC を使っていて、そのデータを本機（Pocket PC）に転送したい場合の手順について説明しています。転送には ActiveSync の利用が必要です。

第 8 章

使用環境の設定

8-1　設定の概要

本機を利用する上での基本的な使用環境の設定や、本機のハードウェア、システムなどに関する各種の調節を行うことができます。
→［設定］をタップすると、以下のような画面が表示されます。



［個人］タブ内の各設定項目について

［個人］タブ内には、本機を自分の使い勝手に合わせてカスタマイズするための設定項目が含まれています。

項目名	概要	設定方法は
Today	［Today］画面に表示したい情報を選択します。	177 ページを参照
入力	手書き入力のためのオプション設定や、録音時に適用される音質／録音フォーマットの設定などを行います。	ヘルプを参照
オーナー情報	自分の個人情報を入力します。入力した情報は、本機の電源を入れたときに画面に表示させるように設定することもできます。	177 ページを参照
サウンド＆アラーム	本機の音量の調節や、さまざまなイベントごとに鳴らす音のカスタマイズを行います。	ヘルプを参照
パスワード	本機に数字 4 桁のパスワードを設定し、電源を入れたときにパスワードを入力しないと本機の情報にアクセスできないようにすることができます。	178 ページを参照

ボタン	本機の前面や側面のプログラムボタンを押したときに起動するプログラムを設定することができます。	178 ページを参照
メニュー	スタートメニューに表示するプログラム、および Today 画面の［新規］ボタンのポップアップメニューに表示する項目を設定できます。	180 ページを参照

［システム］タブ内の各設定項目について

［システム］タブ内には、本機のハードウェアやシステムに関する各種の設定項目が含まれています。

項目名	概要	設定方法は
地域	本機を使用する地域を指定することで、その地域に合った日付／時刻や数値、通貨の表示形式を設定することができます。必要に応じて、それぞれの表示形式を個別に設定することもできます。	ヘルプを参照
時計	現在地を都市で指定した上で、日付／時刻の設定を行います。海外への出張時などのために、必要に応じて「訪問先」の都市をひとつ指定することもできます。	181 ページを参照
画面の補正	タッチスクリーンの表示に対するスタイラスのタップ位置が微妙に食い違っているような場合に、タッチスクリーンの調整を行います。	ヘルプを参照
アプリケーションの削除	本機に追加インストールしたプログラムを削除します。	ヘルプを参照
コントラスト＆明るさ	画面のコントラスト、明るさ、および自動減光するまでの時間の設定を行います。	182 ページを参照
バージョン情報	本機に搭載されているシステムのバージョン情報や著作権情報を表示します。また、本機を他の端末と識別するためのデバイス ID を設定することができます。	ヘルプを参照

パワーマネジメント	メインバッテリ、およびバックアップバッテリの現在の残量を確認できます。また、本機を操作せずに放置した場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます。	183 ページを参照
メモリ	メインメモリのデータ記憶用／プログラム実行用の割り当てを変更したり、実行中のプログラムの終了の操作を行うことができます。また、メモリカードの利用中は、メモリカードの空き容量の確認ができます。	184 ページを参照

［接続］タブ内の各設定項目について

［接続］タブ内には、本機をケーブルやモデムを使ってインターネットや外部のコンピュータに接続するための設定項目が含まれています。

項目名	概要	設定方法は
PC	パソコンへの接続方法を設定します。	ヘルプを参照
ネットワーク	ネットワークアダプタを使ったネットワーク接続の設定を行います。	ヘルプを参照
モデム	ダイヤルアップ接続の設定を行います。電話回線を経由して、インターネットや遠隔地のコンピュータに接続するための設定は、すべてここで行います。	ヘルプを参照

MEMO

- PC 接続については、ActiveSync のヘルプもご覧ください。
- 「mopera」（69 ページ）、「mopera クイックスタート」（92 ページ）を使うと、上記の［モデム］アイコンによるダイヤルアップ接続設定が自動的に行われます。
- ［モデム］アイコンを使った一般的なインターネット接続の設定については、66 ページの「インターネット接続のための設定」をご覧ください。

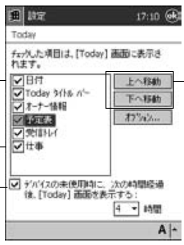
8-2　個別の設定項目について

Today 画面の設定

→［設定］→［個人］タブの［Today］アイコンをタップすると以下の画面が表示され、Today 画面に表示する項目や表示順序を設定することができます。

表示したい項目にチェックを付けます。

一定時間本機を使用しないで、次に電源を入れたときに自動的に Today 画面を表示したい場合はここにチェックを付けてから、下の時間を指定します。



表示順を変更するには、項目をタップして選択し、［上へ移動］／［下へ移動］ボタンをタップします（日付および Today タイトルは移動できません）。

MEMO

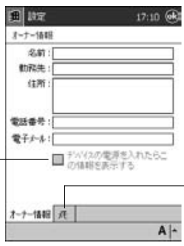
- 予定表（モバイルスケジュール）、仕事の各項目については、それぞれ Today 画面上にどこまでの情報を表示するかを設定することができます。設定したい項目をタップして選択し、［オプション］ボタンをタップしてください。
- Today 画面について詳しくは、30 ページをご覧ください。

オーナー情報の設定

→［設定］→［個人］タブの［オーナー情報］アイコンをタップすると以下の画面が表示され、本機のオーナーの個人情報を入力することができます。

入力したい項目欄をタップし、入力を行います。

入力した情報を、本機の電源を入れたときに表示したい場合は、ここにチェックを付けます。



その他のメモを入力したい場合は、ここをタップします。

パスワードの設定

本機の電源を入れたときに、ここで設定したパスワードを入力しないと、本機の情報にアクセスできないようにすることができます。→［設定］→［個人］タブの［パスワード］アイコンをタップすると以下の画面が表示されます。

本機の電源を入れたときに、ここで設定したパスワード入力を要求するようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。



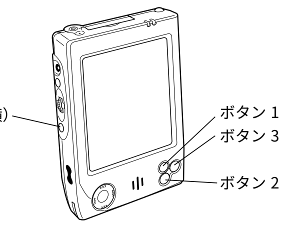
画面上のキーパッドを使って、4 桁のパスワードを設定します。いったん ok をタップしてこの変更を保存すると、設定したパスワードを入力しなければ、パスワード設定画面にアクセスできなくなります。

◆ご注意◆

パスワードを忘れた場合は、フルリセット（メモリの初期化）を行わないと、本機にアクセスできなくなります。フルリセットを行うと、本機のメインメモリに保存されているファイルやデータ、およびインストールしたプログラムはすべて消去されます。入力したパスワードを忘れないようにご注意ください。なおフルリセットについては、192 ページをご覧ください。

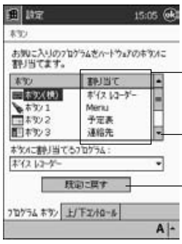
ボタンの設定

本機のプログラムボタン（以下の各ボタン）を押したときに、どのプログラムを起動するかを、自由に割り当てることができます。



各ボタンへのプログラムの割り当ては、[スタート] → [設定] → [個人] タブの [ボタン] アイコンをタップすると表示される以下の画面で行います。

ボタンへのプログラムの割り当てを変更するには、変更したいボタン名をタップして選択し、「ボタンの割り当て」ボックスから割り当てたいプログラムを選んでください。



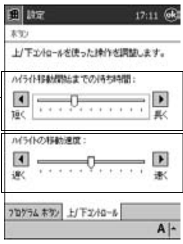
ここには現在のプログラムの割り当て状態が表示されます。

下スクロールすると、アクションコントロールとの組み合わせ時の割り当てを行うことができます。

割り当てを初期設定に戻したい場合は、ここをタップします。

[上/下コントロール] タブをタップすると以下の画面が表示され、アクションコントロールを上下に倒す操作を行った際の反応速度を調節することができます。

アクションコントロールを上（または下）に倒してから、ハイライト（画面上で選択されている項目）の移動が開始されるまでの時間を調節します。



アクションコントロールを上（または下）に倒したままの状態にしたときの、ハイライトの移動速度を調節します。

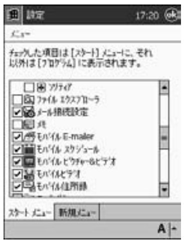
MEMO

アクションコントロールについては 5 ページをご覧ください。

メニューの設定

[スタート] → [設定] → [個人] タブの [メニュー] アイコンをタップすると以下の画面が表示されます。この画面では、[スタート] をタップしたときにメニューに表示されるプログラムを指定することができます。

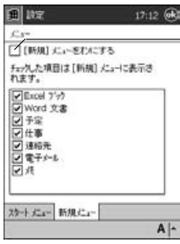
メニュー上に表示したいプログラムにチェックを付けます。



※チェックを付けていないプログラムは、[スタート] → [プログラム] をタップすると表示される画面上に表示されます。

[新規メニュー] タブをタップすると以下の画面が表示され、Today 画面で [新規] をタップしたときに表示されるポップアップメニュー（新規メニュー）への表示項目を指定することができます。

新規メニューに表示したい項目にチェックを付けます。



ここにチェックを付けると、予定表、連絡先、仕事、メモ、受信トレイ、Pocket Word、Pocket Excelの各プログラム上で、新規メニューが利用できるようになります。

MEMO

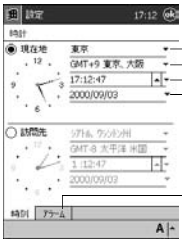
Today、プログラム、設定、検索、ヘルプの各項目は、[スタート] メニューから外すことはできません。

日付／時刻の設定

[スタート] → [設定] → [システム] タブの [時計] アイコンをタップすると以下の画面が表示され、本機の日付／時刻を設定することができます。

現在地（通常本機を利用する場所）の日付／時刻を設定します。

訪問先（海外）で本機を利用する際には、「訪問先」の左側のボタンをタップしたうえで、訪問先の都市を選択します。



①

②

③

④

ここをタップすると表示される画面では、決まった曜日／時刻に鳴るアラームを 4 つまで設定できます。

現在地の日付／時刻の設定は、上の画面を使って以下の手順で行います。

1. 「現在地」の左側のボタンが「◉」になっているのを確認します。「○」になっている場合は、タップして「◉」にします。

2. ①の欄をタップし、本機を利用する場所（都市）を選択します。
   - もし①の欄をタップして表示されるリスト中に該当する都市名がない場合は、②の欄をタップして、本機を利用する時間帯を選択します。

3. ③の欄で時、分、秒のいずれかの数字をタップして反転させ、▲／▼をタップして時刻を合わせます。
   - 時刻合わせは、左側の時計の針をドラッグして動かして行うこともできます。

4. ④の▼をタップすると表示されるカレンダー上で今日の日付をタップし、日付を合わせます。
   - 設定が済んだら ok をタップします。設定を保存するかを確認するダイアログが表示されるので、[はい] をタップしてください。

MEMO

- パソコンと同期させると、パソコンの地域設定や時刻が反映されます。
- アラームの設定についてはヘルプをご覧ください。

画面のコントラスト／明るさの設定

画面のコントラストの調節

画面の色が薄すぎたり濃すぎたりして見にくい場合は、[スタート] → [設定] → [システム] タブの [コントラスト＆明るさ] アイコンをタップすると表示される以下の画面を使って、コントラストの調節を行うことができます。

設定は、画面上の説明に従って行ってください。



画面の明るさの調節

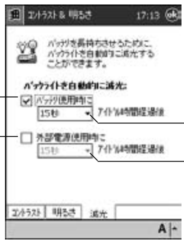
画面の明るさを調節するには、[明るさ] タブをタップすると表示される以下の画面を使います。画面の明るさは、バッテリの使用時と、外部電源（AC アダプター）の使用時のそれぞれについて個別に設定することができます。

設定は、画面上の説明に従って行ってください。



画面の明るさの自動減光について

バッテリを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると画面の明るさを自動的に減光するように設定することができます。自動減光の設定は、［減光］タブをタップすると表示される以下の画面で行います。



バッテリ使用時に自動減光するようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

外部電源使用時に自動減光するようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

自動減光するまでの時間を設定します。

パワーマネジメントの設定

→［設定］→［システム］タブの［パワーマネジメント］アイコンをタップすると以下の画面が表示され、メインバッテリおよびバックアップバッテリの現在の残量を確認できます。また、本機を操作せずに放置した場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます。



バッテリ使用時に自動的に電源が切れるようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

外部電源使用時に自動的に電源が切れるようにしたい場合は、ここにチェックを付けます。

自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

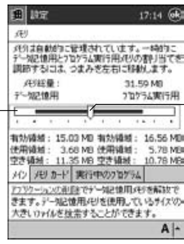
MEMO

バックアップバッテリの残量は、100%（十分な残量）と10%（残りわずか）のいずれかのみの表示となります。

メモリの設定

メモリの割り当てを変更するには

→［設定］→［システム］タブの［メモリ］アイコンをタップすると以下のメモリ画面（の［メイン］タブ）が表示されます。この画面では本機のメインメモリの使用状況を確認することができるほか、データ記憶用／プログラム実行用のそれぞれに利用するメモリサイズの割り当てを変更することができます。



この青いバーの部分が、現在の空きメモリを表しています。

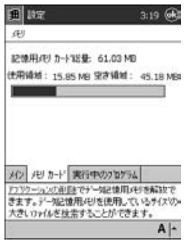
このツマミを左右にドラッグして、メモリサイズの割り当てを変更します。

MEMO

メインメモリの使用量が多すぎるため空き容量を増やしたいという場合は、次ページの「メモリを解放するには」をご覧ください。

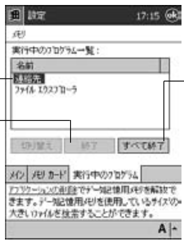
メモリカードの空き容量を確認するには

本機のカードスロットにメモリカードを挿入して使用している場合は、メモリ画面の［メモリカード］タブをタップすると表示される以下の画面で、メモリカードのサイズと空き容量を確認することができます。



実行中のプログラムを終了するには

メモリ画面の［実行中のプログラム］タブをタップすると表示される以下の画面で、実行中のプログラムを終了することができます。



「実行中のプログラム一覧」でプログラム名をタップして選択した上で［終了］をタップすると、そのプログラムだけを終了することができます。

実行中のプログラムをすべて一括して終了したい場合は、［すべて終了］をタップします。

MEMO

- 「実行中のプログラム一覧」でプログラム名をタップして選択した上で［有効］をタップすると、そのプログラムに切り替わります。
- 上の画面を使って終了しようとしたプログラムが入力待ちの場合などには、「このプログラムから応答がありません…」というメッセージが表示されることがあります。

メモリを解放するには

本機のメモリを解放するには、次の方法を試してみてください。

- メインメモリからメモリカードにファイルを移動します。→［プログラム］→［ファイルエクスプローラ］をタップします。目的のファイルをタップしたまま押さえ、［切り取り］をタップします。移動先のメモリカードフォルダを開き、［編集］→［貼り付け］をタップします。
- 不要なファイルを削除します。→［プログラム］→［ファイルエクスプローラ］をタップします。削除して構わないファイルをタップしたまま押さえ、［削除］をタップします。
- 大きなファイルを削除します。大きなファイルを見つけるには、→［検索］をタップします。［種類］のリストで「64KBより大きい」をタップし、続いて［開始］をタップします。
- Pocket Internet Explorerで、「ファイルの削除」と「履歴のクリア」を実行します。
- →［設定］→［システム］タブの［アプリケーションの削除］アイコンをタップし、使わなくなったプログラムを削除します。
- 現在使っていないプログラムを終了します。上記の「実行中のプログラムを終了するには」をご覧ください。
- 本機をリセットします。リセットの操作については、190ページをご覧ください。

Appendix

補足情報

A-1　パームサイズ PC のデータを本機に転送するには

現在パームサイズ PC を使っていて、そのデータを本機（Pocket PC）に転送したい場合は、以下の操作を行ってください。

1. お持ちのパソコンに Microsoft ActiveSync 3.1 をインストールします。ActiveSync のインストール方法については、ActiveSync CD-ROM に付属の小冊子をご覧ください。

2. パームサイズPCとパソコンの同期をとり、パソコンの情報を最新の状態にします。

3. パームサイズPC上に手書きメモやボイスレコーダーなどで作成したファイルがあり、これを本機に転送したい場合は、まず ActiveSync オプションのファイル変換をオフにします。次に ActiveSync エクスプローラを使ってパソコンにファイルをコピーします。具体的な方法については、ActiveSync のヘルプをご覧ください。

4. 本機をパソコンに接続し、本機とパソコンを同期します。これにより、本機はパソコン上の最新データ（手順 2）を使って更新されます。
- 本機とパソコンの同期については、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

5. パームサイズPCに追加インストールしてあったプログラムがある場合は、そのプログラムを本機にインストールします。
- インストールの前に、そのプログラムがPocket PCにインストールして利用できるバージョンかどうかをご確認ください。

6. ActiveSync エクスプローラを使って、手順 3 でパソコンにコピーしたファイルを Pocket PC にコピーします。
- コピーが済んだら、ActiveSyncオプションのファイル変換をオンに戻します。

MEMO
パームサイズ PC 上の各種設定（オーナー情報やパスワード、接続などの設定）は、Pocket PC に転送することはできません。必要な設定は、本機で再度行ってください。

パームサイズPCの受信トレイにメッセージの入ったオフラインフォルダがあって、これを本機に転送したい場合は、以下の操作を行ってください。

1. パームサイズPCをパソコンに接続した上で、Microsoft Outlookの［ツール］メニューから［Windows CE 受信トレイの転送］をクリックします。

2. 「選択したメッセージを PC にコピー / 移動する」を選択し、続いて［参照］ボタンをクリックします。

3. パソコンに転送したいメッセージの入ったオフラインフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

4. ［転送］ボタンをクリックし、メッセージの転送先にしたいフォルダを選択するか、［フォルダの作成］をクリックして新しいフォルダを作成します。［OK］をクリックすると、メッセージが転送されます。

続いて、パソコンから本機へメッセージを転送します。

5. 本機の受信トレイで［ツール］メニューから［フォルダの作成］をタップし、メッセージの転送先にするフォルダを作成します。

6. パソコンの Outlook で、転送したいメッセージを選択します。

7. 本機をパソコンに接続した上で、Outlook の［ツール］メニューから［Windows CE 受信トレイの転送］をクリックします。

8. 「選択したメッセージをモバイルデバイスにコピーする」を選択し、続いて［参照］ボタンをクリックします。

9. 本機上のメッセージの転送先にしたいフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

10. ［転送］ボタンをクリックします。選択したメッセージが本機に転送されます。

A-2　リセットとフルリセット

リセットについて

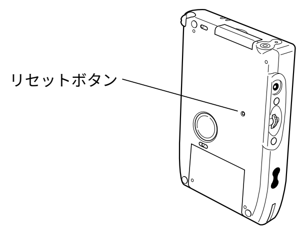
「リセット」は、パソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中などで、まだ保存していなかったデータは消去されますが、メモリ上にすでに保存されているデータや、各種設定などは基本的にそのまま残ります。
誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。リセットの操作は、例えば次のような現象が起きた場合に必要です。
- 画面をタップしたり、ボタンを押してもまったく反応しない
- 処理中を示すアイコンが回転したまま、いつまでたっても消えない

◆ご注意◆
通常はリセットの操作で保存済みのデータが失われることはありませんが、データ異常などによって、まれにすべてのデータがクリアされる場合があります。可能な場合は、リセットを行う前にメモリカードなどにデータのバックアップをしておくことをお勧めします。

リセットを実行するには

1. 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。

2. 本機背面のリセットボタンをスタイラスで押します。



- 押すと同時にリセット処理が開始されます。
- メモリに異常がない限りは、数秒間起動画面が表示された後で、すぐに Today 画面が表示されます。リセット前にメモリ上にすでに保存されていたデータや各種設定などに変化はありませんので、そのままご使用ください。

◆ご注意◆
もしリセットの操作を行った後も、本機が正常な状態に戻らない場合は、フルリセット（メモリの初期化）を行ってください（192ページ参照）。

メモリに異常がある場合について

リセットボタンをスタイラスで押したときに、起動画面が表示されずに、以下のメッセージが表示される場合があります。

メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました...
....

この画面が表示された場合は、メモリの修復はできません。アクションコントロールを押してください。フルリセット（メモリの初期化）が実行され、メモリに記憶されているすべてのデータが完全に消去されます。

- アクションコントロールを押すと、起動画面が表示されます。

※もしアクションコントロールを押しても起動画面にならずに通常の画面（Today画面やリセットボタンを押す前の画面など）に戻ってしまった場合は、次の「メモリ異常のメッセージが出たが通常の表示に戻った場合」をお読みください。

- この後の画面の推移は、付属の「クイックスタートガイド」の「本機のセットアップ」の手順と同様です。「本機のセットアップ」の手順に従ってください。

メモリ異常のメッセージが出たが通常の表示に戻った場合

「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました...」というメッセージが表示されてアクションコントロールを押したときに、フルリセットが行われずに通常の状態に戻ることがあります。この場合でも、メモリは不安定な状態にあるため、必ずフルリセットの操作を実行する必要があります。
ただしこの場合は、メモリ上にすでに保存されていたデータが残っており、パソコンにデータを転送することが可能な場合があります。データが残っているかどうかを確認し、もし残っている場合は、必要なデータをパソコンなどに転送した上で、フルリセットの操作を実行してください。

◆ご注意◆
転送にはActiveSyncのバックアップ機能は使わないでください。上記のような状態でデータのバックアップを行っても、そのデータを元にリストアしたときに、メモリの不安定な状態が再現する恐れがあります。

フルリセット（メモリの初期化）について

フルリセット（メモリの初期化）を実行すると、メモリ上に保存されていたすべてのデータが消去され、各種の設定はすべて初期状態に戻ります。
フルリセットは、次のような場合に実行します。

- メモリの内容を完全に消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合
- 「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました...」というメッセージが表示された場合
- 充電池パックを外した状態で本機を数週間放置した後、再び充電池パックを取り付けて使用する場合

フルリセットを実行するには

◆ご注意◆
- 本機にメモリカードを差してある場合は、フルリセットを行う前に抜いておいてください。
- 以下の操作を行うと、メモリに記憶されているすべてのデータが完全に消去されます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはメモリカードへバックアップしておいてください。

1. 本機の電源が入った状態で、電源ボタンを押しながら本機背面のリセットボタンをスタイラスで約2秒間押します。
- 以下のメッセージが表示されます。

メモリの初期化を行います。［アクション］を押すと実行します。
（解除する場合は、［録音］を押してください。）

2. アクションコントロールを押すと、以下のメッセージが表示されます。

メモリに保存されているすべてのデータは消去されます。
［アクション］を押すと実行します。
（解除する場合は［録音］を押してください。）

3. 再度アクションコントロールを押します。
- フルリセットが実行され、すべてのメモリ上のデータが消去されます。
- アクションコントロールを押すと、起動画面が表示されます。この後の画面の推移は、「初期セットアップ」（7ページ）の手順4以降と同様です。

MEMO
手順1、2でメッセージが表示されているときに録音ボタンを押すと、フルリセットの処理を中断します。

フルリセットを実行してもエラーが起こる場合

フルリセットを行ってもエラーが再発する場合は、本機の不具合と考えられますので、お買上げの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。

A-3　トラブルシューティング

一般的な操作に関するトラブルシューティング

故障と思われるような現象が起きた場合は、まず下記を参考にして対処してみてください。

画面をタップしたときの反応が極端に遅かったり、動作がおかしい

考えられる原因	対処	参照ページ
メモリの状態がひっ迫している。	本機をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときはフルリセットを行ってください（ただしデータは消去されます）。	190ページ

電源ボタンを押しても何も動かない

考えられる原因	対処	参照ページ
メイン電池が消耗している。	充電池パックを充電してください。	17ページ
何らかの異常が発生した。	本機をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときはフルリセットを行ってください（ただしデータは消去されます）。	190ページ

ACアダプタで動作させることができない

考えられる原因	対処	参照ページ
メイン電池が消耗している。	充電池パックを充電してください。	17ページ
クレードル経由でACアダプタを接続している場合で、本機がクレードルに正しく取り付けられていない。	本機をクレードルに正しく取り付けてください。	17ページ

メイン電池の交換後、動作しない、または異常に動作するようになった

考えられる原因	対処	参照ページ
メイン電池が消耗している。 電池が正しく取り付けられていない。	充電池パックを充電してください。 充電池パックを一度取り外し、再度取り付け直す（＋／－の向きに注意して正しく入れてください）。	17ページ
電池の取り付けが正しい手順で行われなかった。	フルリセットを行う（ただしデータは消去されます）。 フルリセットを行っても正常にならない場合は、メイン電池を取り外し、お買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。	192ページ

充電池パックを正しく充電しても使用時間が著しく短い

考えられる原因	対処	参照ページ
充電池パックの寿命、破壊。	新しい充電池パックをお買い求めください。	15 ページ

バックアップ電池を交換したのに「バックアップバッテリが残りわずかです…」というメッセージが表示された

考えられる原因	対処	参照ページ
バックアップ電池の極性（＋／ーの向き）が正しく取り付けられていない。	バックアップ電池を取り外した後、再度正しく取り付けてください。	14 ページ
バックアップ電池をメイン電池よりも先に入れて放置した。	メイン電池が正しく取り付けられていることを確認した後、新しいバックアップ電池に交換してください。	14 ページ
電源がオンのままバックアップ電池を交換し、そのまま使い続けた。	電源ボタンを押して一度電源を切り、再度オンにしてください。	ー

タッチスクリーンにタッチしても何も反応しない

考えられる原因	対処	参照ページ
タッチスクリーンの設定がずれている。	電源ボタンを押しながらアクションコントロールを押し、タッチスクリーンの補正を行ってください。	11 ページ
静電気などの影響などでタッチスクリーンの誤動作が起きている。	本機をリセットしてください。	190 ページ
タッチスクリーンが損傷している。	お買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理依頼してください。	ー

画面がロックして動かない

考えられる原因	対処	参照ページ
何らかの異常が発生した。	本機をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときは、フルリセットを行ってください（ただしデータは消去されます）。	190 ページ

「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました…」というメッセージが画面に現れた

考えられる原因	対処	参照ページ
何らかの異常が発生した。	画面の指示に従って操作してください。	191 ページ

※ **フルリセットを行っても、まだ画面がロックして動かないときは、次の操作を行ってください。**

◆ご注意◆
- 次の操作を行うと、メモリに記憶されているすべてのデータが消去されます。
- パソコンやメモリカードにデータのバックアップを作成したときでも、次の操作を行った後は、そのバックアップデータを本機に戻さないようにしてください。本機のシステムが不安定な状態のときに作成したバックアップデータは、内部に不安定な要素を持っており、パソコンやメモリカードから本機に戻すと、システムに不安定な状態が再現してしまうためです。
- システムに不安定な状態が再現することを防ぐためには、パソコンにデータのバックアップを作成するときに、以下の方法を採用してください。
  予定表や連絡先データなどは同期により、パソコンにデータを転送してください。その他の各ファイルは、ひとつひとつのファイルをドラッグ＆ドロップでパソコンに転送してください。

1. メイン電池とバックアップ電池の両方を取り外します。
2. 約 5 分間、そのまま放置します。
3. メイン電池を取り付けます。
   - 必ずメイン電池のみを先に取り付けてください。バックアップ電池を先に取り付けると、本機は正常に起動しません。もし正常に起動しない場合は、手順 1 からやり直してください。
4. AC アダプタを接続して充電します。
5. 充電完了後、バックアップ電池を取り付けます。
6. 電池フタ開閉スイッチが、「LOCK」の位置に合っていることを確認してください。
7. 電源ボタンを押します。
   - 画面が以下のように推移します。
     (1) 起動画面
     (2) タッチスクリーンの補正画面
8. 画面に表示されるガイドに従って、本機の初期設定を順次行ってください。
9. 設定が完了したら、電源ボタンを押して電源を OFF にします。

- パソコンやメモリカードにバックアップデータがある場合は、上記の作業の終了後に本機が正常に動作するのを確認した上で、バックアップデータを本機にリストアしてください。バックアップデータのリストアの方法については、ActiveSyncのヘルプを参照してください。メモリカードからのリストアの方法については CD-ROM に含まれるカードバックアップツールの説明書を参照してください。
- 以上の操作を行ったにもかかわらず正常に動作しない場合は、お買上げの販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（巻末参照）にお問い合わせください。

インターネット接続に関するトラブルシューティング

インターネット接続がうまくいかない場合は、まず下記を参考にして対処してみてください。ここでの各項目を確認してもうまく接続できない場合は、カシオサポートセンターにお問い合わせください。

ダイヤルできない

考えられる原因	対処	参照ページ
本機と携帯電話（またはPHS）が正しく接続されていない。	本機と携帯電話（またはPHS）が、指定のケーブルによって正しく接続されているかご確認ください。	27 ページ
本機と接続している携帯電話（またはPHS）の電源が入っていない。	携帯電話（または PHS）の電源を入れてください。	お持ちの携帯電話（または PHS）の説明書をご覧ください。
携帯電話（またはPHS）の電波状態が悪い。	接続に利用している携帯電話（または PHS）の電波状態が良好かどうかを、電話の画面上でご確認ください。電波状態が悪い場合は、電波状態の良い場所に移動して通信を行ってください。	
ダイヤルのオプション設定が正しくない。	・「発信元」が「自宅」になっているかをご確認ください。意図的に設定している場合を除き、他の設定になっている場合は、「自宅」に設定してください。 ・回線の種類として「トーン」が選択されているのをご確認ください。「パルス」になっている場合は、「トーン」に変更してください。	68 ページ（手順 7）
接続設定に何らかの問題がある。	・「モデムの選択」で、利用している電話に合ったモデムが選択されているかをご確認ください。 ・「発信音がしてからダイヤルする」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けます。 ・「待ち時間経過後に呼び出しをキャンセルする」にチェックを付け、携帯電話の場合は120秒、PHS の場合は 50 ～ 56 秒に設定します。また、国際電話でうまく接続できない場合は、少し長め（135～150秒程度）に設定してみてください。 ・ダイヤルアップ接続先のユーザーID ／パスワードが半角の英数字で正しく入力されているかをご確認ください。	66 ページ

ダイヤルできない（続き）

考えられる原因	対処	参照ページ
本機をパソコンと接続した状態になっている（本機とパソコンの接続中は、モデムを使った接続はできません）。	本機とパソコンをケーブル接続中の場合は、本機からケーブルを抜いてください。	27 ページ
本機とパソコン（または別の本機）の間で赤外線通信中である。	赤外線通信を中止してください。	165 ページ

ダイヤルはできるが、正しく接続できない

考えられる原因	対処	参照ページ
電話番号が間違っている。	正しい電話番号が設定されているかご確認ください。	66 ページ

接続が不安定

考えられる原因	対処	参照ページ
本機と携帯電話（または PHS）がしっかりと接続されていない。	本機と携帯電話（または PHS）がしっかりと接続されているかご確認ください。	27 ページ
接続に利用している電話回線でキャッチホン契約をしている。	接続中にキャッチホンを解除するように設定してください。ダイヤルのオプション設定で、「キャッチホン機能の解除」にチェックを付け、キャッチホンを解除するダイヤルを入力しておいてください。	68 ページ（手順 7）

「デジタル通信での発信番号が設定されていません」と表示され接続できない

考えられる原因	対処	参照ページ
電話をかけたアクセスポイントが混雑している。	しばらくしてから再度接続を試してください。	ー

「キャリアが検出できませんでした」と表示されて接続できない

考えられる原因	対処	参照ページ
mopera を利用して接続する場合で、携帯電話（または PHS）の発信者通知が OFF になっている。	mopera を利用して接続する場合は、接続に利用する携帯電話（または PHS）の発信者通知を ON に設定しなければ接続できません。発信者通知を ON に設定してください。	お持ちの携帯電話（または PHS）の説明書をご覧ください。

「話し中です」というメッセージが表示され接続できない

考えられる原因	対処	参照ページ
本機と接続している携帯電話（またはPHS）の電源が入っていない。	携帯電話（または PHS）の電源を入れてください。	ー
本機と携帯電話（または PHS）が正しく接続されていない。	本機と携帯電話（または PHS）が、指定のケーブルによって正しく接続されているかご確認ください。	27 ページ

A-4　ローマ字入力一覧

ローマ字／かなキーボード（43 ページ）でかな入力を行う場合の入力方法は、以下の通りです。

ア行	あ　い　う　え　お	A	I	U	E	O
	ぁ　ぃ　ぅ　ぇ　ぉ	XA LA	XI LI	XU LU	XE LE	XO LO
カ行	か　き　く　け　こ	KA	KI	KU	KE	KO
	ヵ　ヶ	XKA LKA			XKE LKE	
	きゃ　きぃ　きゅ　きぇ　きょ	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
	くぁ	KWA				
	くゃ　くぃ　くゅ　くぇ　くょ	QYA	QYI	QYU	QYE	QYO
サ行	さ　し　す　せ　そ	SA	SI SHI	SU	SE	SO
	しゃ　しぃ　しゅ　しぇ　しょ	SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
タ行	た　ち　つ　て　と	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
	っ			XTU LTU		
	ちゃ　ちぃ　ちゅ　ちぇ　ちょ	TYA CYA CHA	TYI CYI	TYU CYU CHU	TYE CYE CHE	TYO CYO CHO
	てゃ　てぃ　てゅ　てぇ　てょ	THA	THI	THU	THE	THO
	つぁ　つぃ　つぇ　つぉ	TSA	TSI		TSE	TSO
ナ行	な　に　ぬ　ね　の	NA	NI	NU	NE	NO
	にゃ　にぃ　にゅ　にぇ　にょ	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ハ行	は　ひ　ふ　へ　ほ	HA	HI	HU FU	HE	HO
	ひゃ　ひぃ　ひゅ　ひぇ　ひょ	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
	ふぁ　ふぃ　ふぇ　ふぉ	FA	FI		FE	FO
	ふゃ　ふぃ　ふゅ　ふぇ　ふょ	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
マ行	ま　み　む　め　も	MA	MI	MU	ME	MO
	みゃ　みぃ　みゅ　みぇ　みょ	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
ヤ行	や　ゆ　よ	YA		YU		YO
	ゃ　ゅ　ょ	XYA LYA		XYU LYU		XYO LYO
ラ行	ら　り　る　れ　ろ	RA	RI	RU	RE	RO
	りゃ　りぃ　りゅ　りぇ　りょ	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ワ行	わ　うぃ　うぇ　を	WA	WI		WE	WO
	ん	NN N				
ガ行	が　ぎ　ぐ　げ　ご	GA	GI	GU	GE	GO
	ぐぁ　ぐぃ　ぐぅ　ぐぇ　ぐぉ	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
	ぎゃ　ぎぃ　ぎゅ　ぎぇ　ぎょ	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ザ行	ざ　じ　ず　ぜ　ぞ	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
	じゃ　じぃ　じゅ　じぇ　じょ	ZYA JA	ZYI	ZYU JU	ZYE JE	ZYO JO
ダ行	だ　ぢ　づ　で　ど	DA	DI	DU	DE	DO
	ぢゃ　ぢぃ　ぢゅ　ぢぇ　ぢょ	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
	でゃ　でぃ　でゅ　でぇ　でょ	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
バ行	ば　び　ぶ　べ　ぼ	BA	BI	BU	BE	BO
	びゃ　びぃ　びゅ　びぇ　びょ	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
パ行	ぱ　ぴ　ぷ　ぺ　ぽ	PA	PI	PU	PE	PO
	ぴゃ　ぴぃ　ぴゅ　ぴぇ　ぴょ	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ヴ行	ヴァ　ヴィ　ヴ　ヴェ　ヴォ	VA	VI	VU	VE	VO

A-5　警告メッセージ／エラーメッセージ一覧

メッセージ	症状／対処	参照ページ
メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにメインバッテリを交換または充電してください。	メイン電池が消耗しています。すみやかに充電池パックを充電してください。	17 ページ
バックアップバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバックアップバッテリを交換または充電してください。	バックアップ電池が消耗しています。すみやかに本体に充電池パックを取り付けて充電してください。内部のバックアップ電池も同時に充電されます。	14 ページ
警告 システムはメモリ保護のため警告なしに緊急オフしました。これは、ハードウェアが大きな電流を必要としたためです。引き続きご使用になる場合は、画面の明るさを暗くするか、サウンド再生やカードなどの使用をやめて大きな電流を消費する要因を取り除くか、AC アダプタの使用もしくはバッテリの充電を行うことをお勧めします。	過電流により電源が自動的に切れた場合、再度電源を入れると表示されるメッセージです。	—
メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました。[アクション] を押すとリセット処理が続行され、システムは復旧を試みます。(システムは、ユーザーメモリの回復不能な状態を検出すると、ユーザーデータを全て消去します。) マニュアルを参照して、メモリの初期化を行ってください。	アクションコントロールを押して、フルリセット（メモリの初期化）を実行してください。	192 ページ

A-6　製品仕様

型式		E-700
表示		240 × 320 ドット
		TFT カラー液晶（65,536 色）
CPU		VR4122
メモリ		32MB
外部インタフェース		
	シリアルポート	RS-232C、最大 115.2kbps
	赤外線ポート	IrDA Ver.1.2 準拠、通信距離最大 20cm
	USB（クライアント）	
カードスロット		マルチメディアカード、SD メモリカード
ヘッドホンジャック		φ 3.5mm、モノラルタイプイヤホン、ステレオタイプイヤホン／ヘッドホン、専用リモコンイヤホンが使用可
電源		
	メイン電源	充電池パック（JK-211LT リチウムイオン充電池）
		AC アダプタ（AD-C59200）
	バックアップ電池	CR2032 リチウム電池
消費電力		2.0 W
電池の使用時間（常温時）		
	メイン電池	
	約 7 時間	連続入力とデータ表示を 1：10 の割合で繰り返したときで画面の明るさを最も暗めに設定した場合。ただし、充電条件などにより短くなる場合があります。 ※電源を切った状態でも、メモリ保持などのために微量の電流が必要なため、メイン電池は消耗します。 ※電池での駆動時間は使用状況や設定などによって記載されている時間と異なる場合があります。
	バックアップ電池	
	約 5 年	メイン電池の充電を促す警告メッセージが表示された後、すみやかに充電した場合
	約 1 週間	メイン電池の充電を促す警告メッセージが表示された後、本体の電源を切ってそのまま放置した場合
本体での充電時間（常温時）		4 ～ 5 時間（満充電までの時間）
	充電池パック	ただし、購入直後などの電池の状態や充電温度等によって長くなる場合があります。
使用温度		0℃～ 40℃（充電温度 10℃～ 35℃）
大きさ		幅 81.8 ×奥行 128 ×高さ 18.9mm
重さ		約 218g

本機標準のインターフェースについて

本機に標準に備え付けられているインターフェースは以下のようになっています。これらと互換性のない機器は基本的に動作しません。*

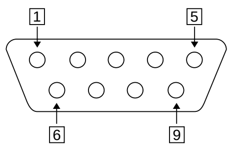
- シリアルポート：FIFO バッファを使用した 16550 互換 の UART が必要です（RS-232C、モデムなどが対象になります)。

* 動作させるには専用の開発ツールを使い、別途ドライバの開発を行う必要がある場合があります。

- 互換性のある機器でも、詳細部分で互換性を満たしていない場合があります。
- Microsoft 社の Readme ファイルもあわせてご参照ください。

9 ピンシリアルインターフェース

ピン	信号名	内容
1	DTR	データ端末レディ
2	SD	送信データ
3	RD	受信データ
4	DCD	キャリア検出
5	GND	信号グランド
6	DTR	データ端末レディ
7	CTS	送信可
8	RTS	送信要求
9	NC	未使用



RS-232C クレードル 9 ピン コネクタ

25 ピン－ 9 ピンコネクタ結線図

25 ピンコネクタ	9 ピンコネクタ
8	1（DTR）
3	2（TXD）
2	3（RXD）
20	4（DCD）
7	5（GND）
6	6（DTR）
4	7（CTS）
5	8（RTS）
1 ─ コネクタアース	コネクタアース *

* 9 ピンコネクタ側の 9 番ピンは使われていません。

Index

索引

本製品の譲渡に関するご注意

本製品を第三者に譲渡（売却）されるときは、1）の条件にしたがってください。
譲渡を受けられたときは、2）の条件にしたがってください。

1）製品を譲渡されるお客様へ

本製品を第三者へ譲渡されるときは、製品本体とともに本製品に付属するすべてのもの（CD-ROM、取扱説明書、エンドユーザー・使用許諾契約書、バックアップ用のコピーなどを含みます）を譲渡し、ソフトウェアの複製物など一切をお手元に残さないでください。

2）製品の譲渡を受けられるお客様へ

ソフトウェアに関わるエンドユーザー・使用許諾契約に同意された方のみが、本製品の譲渡を受けられます。本製品の譲渡を受けますと、この契約に同意したものとみなされますのでご注意ください。

CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

再生紙を使用しています。

PN411466-001　MO0102-006005E　Printed in Japan